

EPSON

CPS ソフトリッパー Plus2
ユーザーズガイド

PostScript® ソフトウェアインタープリタ



Adobe® PostScript® 3™

NPD0572-01

もくじ

Mac OS 8/9 での使用方法

EPSON PS Server の選択と設定	2
AppleTalk の場合	2
TCP/IP (LPR) の場合	6
印刷の手順	10
用紙設定の手順	10
印刷設定の手順	11
プリンタドライバの設定項目について	12
[用紙設定] ダイアログ	12
[プリント] ダイアログ	17
その他の印刷方法	36
ファイルへの出力	36
ドラッグ&ドロップによる印刷	38
[ファイル] メニューから印刷	38
カラーシミュレーション機能について	39
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは	39
設定と印刷の手順	41
フチなし印刷を行うには	43
EPSON PS Server の使用方法	49
ファイルの直接印刷	49
初期設定	50
共有フォルダ設定	51
プリンタ初期設定	52
カラーマネージャ設定	56
プリンタの再選択	61
メッセージのクリア	62
メインウィンドウの表示 / 非表示	62
EPSON PS Manager について	64

Mac OS X での使用方法

EPSON PS Server の選択と設定	66
AppleTalk の場合	66
Rendezvous の場合	71
TCP/IP (LPR) の場合	73
印刷の手順	75
用紙設定の手順	75
印刷設定の手順	76
プリンタドライバの設定項目について	77
[用紙設定] ダイアログ	77

[プリント] ダイアログ	80
その他の印刷方法	98
ファイルへの出力	98
ドラッグ&ドロップによる印刷	99
[ファイル] メニューから印刷	100
カラーシミュレーション機能について	101
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは	101
設定と印刷の手順	103
フチなし印刷を行うには	105
EPSON PS Server の使用方法	112
ファイルの直接印刷	112
環境設定	113
プリンタ初期設定	116
カラーマネージャ設定	119
プリンタの再選択	124
メッセージのクリア	125
メインウィンドウの表示 / 非表示	125

Windows での使用方法

サーバとクライアントの設定	128
プリンタ共有 (SMB) の場合	128
TCP/IP の場合	130
印刷の手順	131
プリンタドライバの設定項目について	133
[印刷設定] ダイアログ	133
[詳細オプション] ダイアログ	135
その他の印刷方法	151
ファイルへの出力	151
ドラッグ&ドロップによる印刷	153
[ファイル] メニューから印刷	153
カラーシミュレーション機能について	154
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは	154
設定と印刷の手順	156
フチなし印刷を行うには	158
EPSON PS Server の使用方法	164
ファイルの直接印刷	164
初期設定	165
共有フォルダ設定	166
プリンタ初期設定	167

カラーマネージャ設定.....	171
プリンタの再選択.....	176
メッセージのクリア.....	176
メインウィンドウ.....	177
EPSON PS Manager について.....	178

付録

特定ソフトウェアについて.....	180
Acrobat 4.0/ Acrobat Reader 4.0.....	180
PageMaker 6.0J以降.....	180
QuarkXPress 4.0J以降.....	180
Adobe Illustrator 7.0J以降.....	181
Adobe Photoshop.....	181
ソフトウェア上で カラーマネージメント機能を 設定する場合の注意.....	182
[2 カット] でのロール紙の 切れ端の長さについて (PX-6000/6000S).....	185
ブラックインク交換・ インクチェンジ実行後の インク情報更新について.....	186
インク情報の更新方法.....	186
インク情報更新時の注意.....	187
索引.....	188



Mac OS 8/9 での使用方法

ここでは、本製品を Mac OS 8/9 で使用する方法について説明します。

● EPSON PS Server の選択と設定	2
● 印刷の手順	10
● プリンタドライバの設定項目について	12
● その他の印刷方法	36
● カラーシミュレーション機能について	39
● フチなし印刷を行うには.....	43
● EPSON PS Server の使用方法	49
● EPSON PS Manager について.....	64

EPSON PS Server の選択と設定

印刷する前に、一度 EPSON PS Server を選択して使用するプリンタの機種を設定する必要があります。



ポイント

- EPSON PS Serverは印刷する前に必ず起動します。起動しているEPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順をくり返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数の EPSON PS Server を切り替えて印刷する場合は、EPSON PS Server の選択と設定を行ってください。

クライアントとサーバの OS により、下表のとおり接続に使用するプロトコルが異なります。

		サーバ		
		Mac OS 8/9	Mac OS X	Windows 2000/XP
クライアント	Mac OS 8/9	AppleTalk TCP/IP (LPR)	AppleTalk TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR)
	Mac OS X	AppleTalk TCP/IP (LPR)	AppleTalk TCP/IP (LPR) Rendezvous	TCP/IP (LPR)
	Windows 2000/XP	TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR)	SMB TCP/IP (LPR)



ポイント

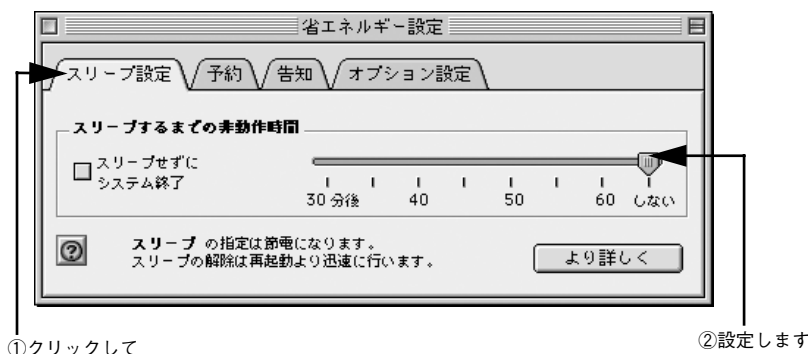
スタンドアローン環境で TCP/IP (LPR) を使用すると、印刷に時間がかかる場合があります。その場合は、AppleTalk を使用してください。

AppleTalk の場合

① プリンタの電源をオンにします。

EPSON PS Server を起動する前に必ずプリンタの電源をオンにし、プリンタの [印刷可] ランプ ([印刷可] ランプがない機種の場合は [電源] ランプ) が点灯している、またはディスプレイに「インサツカノウ」と表示されていることを確かめます。

② EPSON PS Server をインストールした Macintosh (プリントサーバ) では、Apple メニューの [コントロールパネル] から [省エネルギー設定] をクリックして、[スリープ設定] ダイアログでスリープしないように設定します。





ポイント

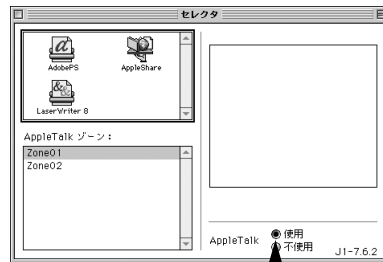
EPSON PS Server をインストールした Macintosh (プリントサーバ) がスリープすると、EPSON PS Server が動作せずネットワーク上のクライアントからも印刷できません。

3

アップルメニューから [セレクト] を開いて、[AppleTalk] を [使用] に設定します。

一度 [使用] に設定していれば、[セレクト] は設定を記憶しています。

- プリンタの接続形態にかかわらず、常に [使用] をクリックします。
- 設定を変更した場合は、警告ダイアログのメッセージを確認して [OK] ボタンをクリックします。



クリックします



ポイント

EPSON PS Server を起動するには、[セレクト] で必ず [AppleTalk] を [使用] に設定する必要があります。[不使用] に設定すると、EPSON PS Server が起動できないので印刷できません。

4

EPSON PS Server を起動します。

- スタンドアロン環境で使用する場合やネットワーク環境のプリントサーバでは EPSON PS Server をインストールした起動ディスク内の [CPS ソフトリッパー Plus2] フォルダにある [EPSON PS Server] アイコンをダブルクリックします。EPSON PS Server が起動するとメインウィンドウが開き、印刷の状態やエラー状況を確認できます。



ダブルクリックします

本書 62 ページ「メインウィンドウの表示 / 非表示」



ポイント

- 使用しているコンピュータに FTPサーバまたは LPRサーバが動作している場合は、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については、各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
- EPSON PS Server をインストール後初めて起動するときは、以下のページを参照してライセンス番号を入力してください。
 インストールガイド「ライセンス番号の入力」
- 本製品で頻繁に印刷する場合は、EPSON PS Server のエイリアスを作成して、デスクトップ上などに置いておくとう便利です。
- EPSON PS Server のエイリアスを [システムフォルダ] 内の [起動項目] フォルダの中に入れておくと、Macintosh の起動時に自動的に EPSON PS Server を起動させることができます。

- ネットワーク環境のクライアントコンピュータでは

EPSON PS Server を起動することはありません。プリントサーバ側で起動した EPSON PS Server をプリンタとして認識して、通常の方法で [セレクト] から選択できるようになります。そのまま次の ⑤へ進んでください。

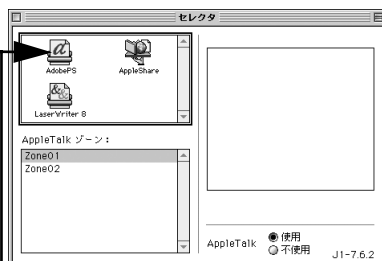


ポイント

ネットワーク環境のクライアントでこれ以降のステップに進めない場合は、プリントサーバコンピュータの EPSON PS Server が起動していないか、接続ケーブルが途切れています。EPSON PS Server の起動とケーブルの接続を確認してください。

⑤ [AdobePS] を選択します。

[セレクト] 左側のボックスに、インストールした [AdobePS] アイコンが現れます。そのアイコンをクリックします。

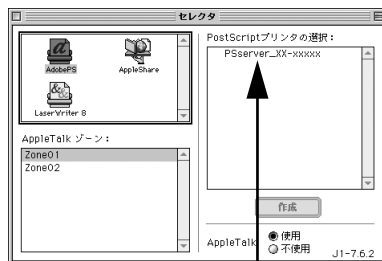


クリックします

⑥ [PSserver_XX-xxxx*] を選択します。

AppleTalk ゾーンを設定している場合は、EPSON PS Server を接続しているゾーンを最初にご選択してください。

* プリンタの機種名が表示されます。



クリックします

⑦ [作成] ボタンをクリックします。


プリンタとの接続状況を示すダイアログが表示されたあと、使用するプリンタ機種専用の PPD ファイルが自動的に選択されます。



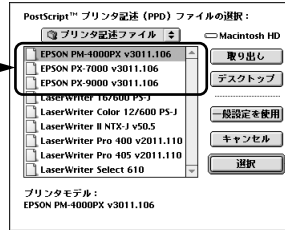
クリックします



ポイント

- サーバ名の左横に、PPD ファイルが選択されていることを示すマーク () が現れます。
- スタンドアローン環境で PPD の自動選択を実行すると、PPD が選択されるまで 20 秒ほど時間がかかります。
- 万一お使いのプリンタ専用の PPD ファイルが自動的に選択されない場合は、以下のダイアログが現れます。お使いのプリンタの機種名と同じ PPD ファイルをクリックして、[選択] ボタンをクリックしてください。

①機種専用PPD
ファイルをク
リックして

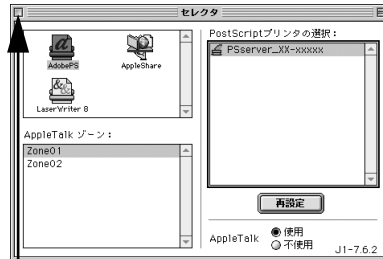


②クリックします

8

セレクトタを閉じます。

- クローズボックス (ダイアログ左上の□ボックス) をクリックして [セレクトタ] を閉じます。
- 用紙設定に関する警告ダイアログが現れたら、メッセージを確認して [OK] ボタンをクリックします。



クリックします



ポイント

プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、セレクトタで [PSserver_XX-xxxxx] を選択して [再設定] をクリックし、表示されるダイアログで [オプションの構成] ボタンをクリックします。[カートリッジオプション] で、プリンタにセットされているインクカートリッジに合わせて以下のように選択します。

PM-4000PX、PX-7000/9000：ブラックインクカートリッジの組み合わせを選択します。

PX-6000/6000S：8色モードの場合は「フォトインクセット」、4色モードの場合は「高速4色インクセット」を選択します。

プリンタの機種名が表示されます。

TCP/IP (LPR) の場合

ここでは、TCP/IP (LPR) を使用してサーバに接続しているプリンタに印刷する場合の、クライアント側のコンピュータでの設定について説明します。

サーバ側のコンピュータでは EPSON PS Server を起動しておいてください。

☞ Mac OS 8/9 : 本書 2 ページ「AppleTalk の場合」

☞ Mac OS X : 本書 66 ページ「AppleTalk の場合」

☞ Windows : 本書 128 ページ「プリンタ共有 (SMB) の場合」



ポイント

- Mac OS X サーバに接続しているプリンタに印刷する場合は、サーバの EPSON PS Server で、[環境設定] ダイアログの [LPR] タブの [LPR] チェックボックスをチェックしておいてください。
☞ 本書 115 ページ「[LPR] タブ」
- TCP/IP (LPR) を使用する場合、セレクトでプリンタ名は表示されません。セレクトでは [AdobePS] を選択してください。印刷時にプリンタ名が表示されます。

- 1 ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。



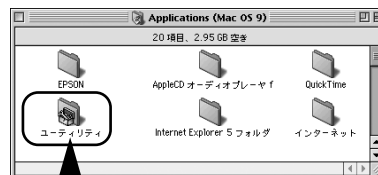
ダブルクリックします



ポイント

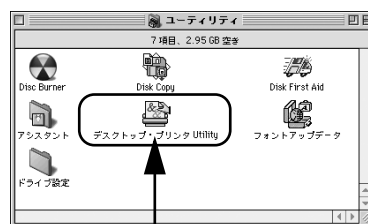
[Macintosh HD] というアイコン名は、ご利用の環境によって異なります。

- 2 [Applications] フォルダにある [ユーティリティ] フォルダをダブルクリックします。



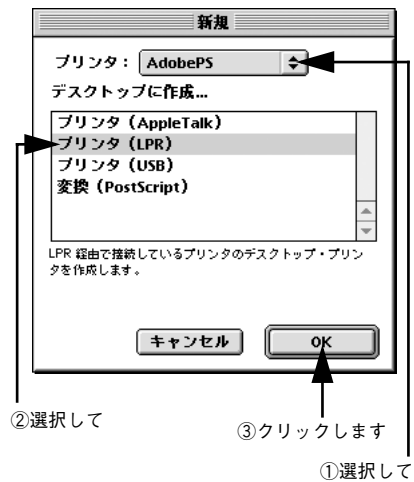
ダブルクリックします

- 3 [デスクトップ・プリンタUtility] をダブルクリックして起動します。

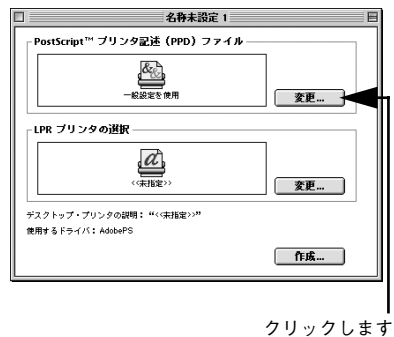


ダブルクリックします

- ④ [プリンタ] で [AdobePS] を選択し、[プリンタ (LPR)] を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

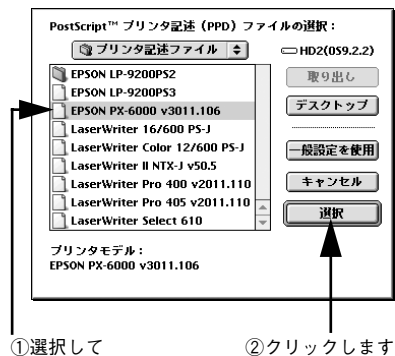


- ⑤ [PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル] の [変更] ボタンをクリックします。



- ⑥ 使用するプリンタの PostScript プリンタ記述ファイルを選択して、[選択] ボタンをクリックします。

- PostScript プリンタ記述ファイルはプリンタによって以下のように異なります。
PM-4000PX : [EPSON PM-4000PX v3011.106]
PX-7000 : [EPSON PX-7000 v3011.106]
PX-9000 : [EPSON PX-9000 v3011.106]
PX-6000/6000S : [EPSON PX-6000 v3011.106]
- [PostScript プリンタ記述 (PPD) ファイル] に選択した PostScript プリンタ記述ファイルが表示されます。



<例>画面は PX-6000 の場合

- 7 [LPRプリンタの選択] の [変更] ボタンをクリックします。



クリックします

<例>画面は PX-6000/6000S の場合

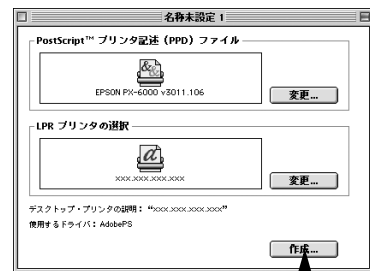
- 8 [プリンタアドレス] に EPSON PS Server が動作しているコンピュータの IP アドレスを入力して、[選択] ボタンをクリックします。[キュー] には入力する必要はありません。[LPR プリンタの選択] に入力した IP アドレスが表示されます。



②クリックします

①入力して

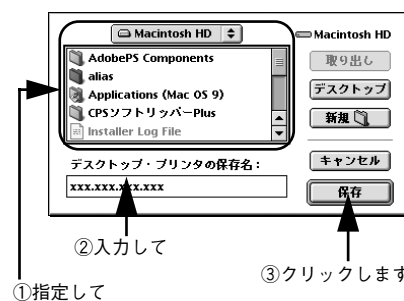
- 9 [作成] ボタンをクリックします。



クリックします

<例>画面は PX-6000/6000S の場合

- 10 右の画面が表示されます。保存先を指定し、[デスクトップ・プリンタの保存名] に任意の名前を入力して、[保存] ボタンをクリックします。指定した保存先に入力した名前のアイコンが表示されます。



②入力して

①指定して

③クリックします

11 [ファイル]メニューから[終了]を選択して、デスクトップ・プリンタ Utility を終了します。

プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、作成したデスクトッププリンタを選択し、[プリンタ]メニューから[設定の変更]を選択します。表示された画面の[変更内容]で[カートリッジオプション]を選択し、その下のリストボックスで、プリンタにセットされているインクカートリッジに合わせて以下のように選択します。

PM-4000PX、PX-7000/9000：ブラックインクカートリッジの組み合わせを選択します。

PX-6000/6000S：8色モードの場合は「フォトインクセット」、4色モードの場合は「高速4色インクセット」を選択します。

印刷の手順

起動している EPSON PS Server がセレクトで選択されていれば、印刷できます。ここでは、Macintosh アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。



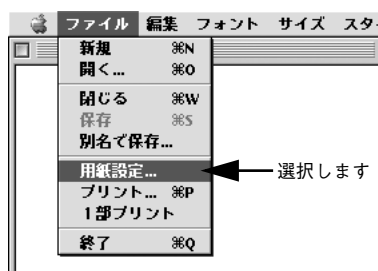
ポイント

- アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- AppleTalk でプリンタと接続している場合、用紙設定をする前に、使用する EPSON PS Server を [セレクト] で選択してください。
📖 本書 2 ページ「AppleTalk の場合」
- TCP/IP (LPR) でプリンタと接続している場合、はじめに [Adobe PS] をセレクトで選択し、用紙設定をする前に、使用する PostScript プリント記述ファイルと LPR プリントを [デスクトップ・プリンタ Utility] で選択してください。
📖 本書 6 ページ「TCP/IP (LPR) の場合」

1 アプリケーションソフトを起動します。

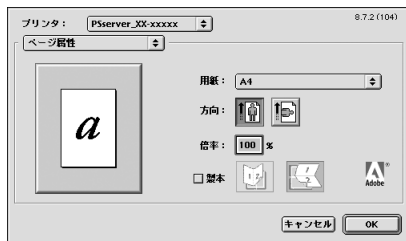
2 [ファイル] メニューから [用紙設定] を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります ([プリンタの設定] など)。



3 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。
📖 本書 12 ページ「[用紙設定] ダイアログ」



ポイント

設定項目の説明は、[ヘルプ] メニューから [バルーン表示] を選択してバルーンヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

4 [OK] ボタンをクリックして終了します。

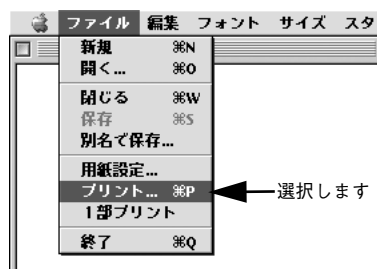
この後、印刷データを作成します。次へ進んでください。

印刷設定の手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は以下のダイアログボックスで設定します。

- 1 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[印刷] など）。



- 2 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。

📖 本書 17 ページ「[プリント] ダイアログ」



ポイント

- CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用したり、フチなし印刷を行うなどプリンタ固有の機能を利用するには、[プリンタのカラー調整] または [プリンタの固有機能] ダイアログで設定してください。
📖 26 ページ「[プリンタの固有機能] ダイアログ」
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 設定項目の説明は、[ヘルプ] メニューから [バルーン表示] を選択してバルーンヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

- 3 [プリント] ボタンをクリックして、印刷を実行します。

プリンタドライバの設定項目について

【用紙設定】ダイアログ

【用紙設定】ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

ダイアログをメニューから切り替えます



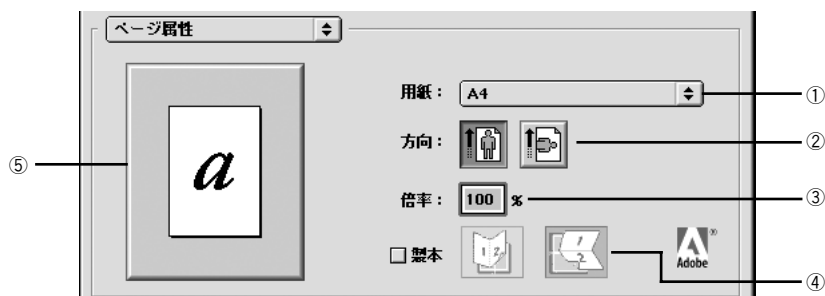
① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数台ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択します。

② 用紙設定メニュー

ポップアップメニューから設定画面を選択すると、以下の機能が設定できます。

【ページ属性】ダイアログ



① 用紙

ポップアップメニューから印刷する用紙サイズを選択します。選択できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。使用可能な用紙サイズと印刷可能領域については、お使いのプリンタの取扱説明書をお読みください。



ポイント

- カスタム用紙サイズを作成して選択することができます。
📖 本書 16 ページ 「[カスタムページ設定] ダイアログ」
- PX-6000/6000S でフチなし印刷を行う場合は、[xxx (フチなし)] を選択してください (xxx は用紙サイズ)。詳しくは、以下のページをお読みください。
📖 本書 43 ページ 「フチなし印刷を行うには」

② 方向

印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するかアイコンをクリックして選択します。

③ 倍率

25%～400%の範囲で拡大または縮小して印刷できます。数値を直接入力して設定します。

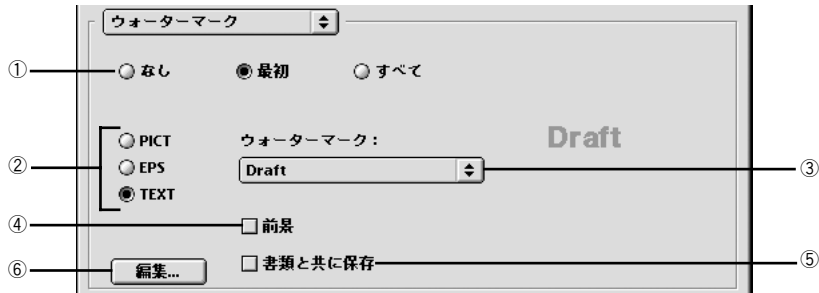
④ 製本

製本するように印刷でき、綴じ方向を選択できます。ただし、スタンドアローン環境では本機能は使用できません。

⑤ プレビューウィンドウ

設定状況をイラストで表示します。画面上をクリックすると用紙サイズと余白の情報を表示します。

[ウォーターマーク] ダイアログ



① なし / 最初 / すべて

ウォーターマークを印刷するページを選択します。

設定	機能
なし	ウォーターマークを印刷しません。
最初	ウォーターマークを最初のページにのみ印刷します。
すべて	ウォーターマークをすべてのページに印刷します。


② PICT/EPS/TEXT

ウォーターマークのファイル形式を選択します。

設定	機能
PICT	PICT 形式で保存したファイルをウォーターマークとして印刷します。
EPS	EPS 形式で保存したファイルをウォーターマークとして印刷します。
TEXT	登録した文字 (TEXT/ テキスト) をウォーターマークとして印刷します。文字の登録方法については、以下のページをお読みください。 📖 本書 14 ページ「⑥ 編集」


③ ウォーターマーク

ウォーターマークファイルを選択します。なお、上記②で選択したファイル形式によって、選択できるファイルは異なります。

 ポイント	<p>ウォーターマークファイルを保存するフォルダは、[システムフォルダ] の [初期設定] フォルダ内にある [ウォーターマーク] フォルダです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● サンプルのウォーターマークファイルが用意されています。任意の画像や文字などを [ウォーターマーク] フォルダに PICT または EPS 形式のファイルとして保存すると、ウォーターマークとしてご利用いただけます。 ● [ウォーターマーク] フォルダのエイリアスを作成して、アクセスしやすい任意の場所に配置することもできます。ただし、その場合のエイリアス名は必ず [ウォーターマーク] としてください。
---	---

④ 前景

ウォーターマークを書類の前景に印刷します。背景として印刷する場合は、[前景] のチェックマークを外します。

 ポイント	<p>一部のアプリケーションソフト (例 SimpleText) は、背景を白く印刷します。その場合、背景にウォーターマークを配置すると、ウォーターマークは印刷されません。ウォーターマークは前景に配置して印刷してください。</p>
---	---

⑤ 書類と共に保存

印刷するかわりにファイルとして保存することができます。その際、ウォーターマークと一緒に保存することができます。ファイルの保存については、以下のページをお読みください。

📖 本書 36 ページ「ファイルへの出力」



ポイント

アプリケーションソフトによっては、ウォーターマークを書類と共に保存できない場合があります。

⑥ 編集

②で [TEXT] を選択した場合、文字 (TEXT/ テキスト) をウォーターマークとして登録できます。[編集] ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

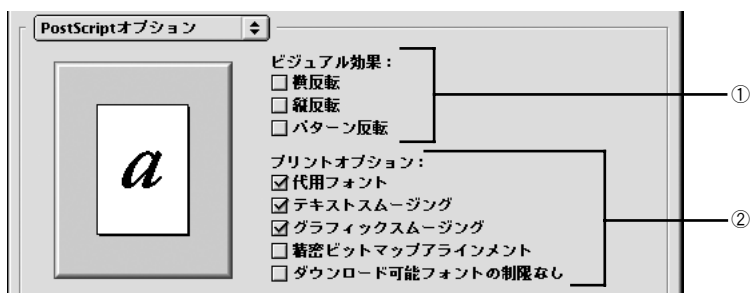
表示	機能
ウォーターマークファイル	登録済みのテキストウォーターマークファイルを選択します。
ウォーターマーク フォント / サイズ / スタイル	テキストウォーターマークに使用するフォント、サイズ、スタイルを、メニューをスクロールして選択します。
ウォーターマーク テキスト	ウォーターマークのテキストです。新規に登録する場合は、ここにテキストを入力します (最大半角255文字)。
色	ウォーターマークの色を選択します。
新規保存	[ウォーターマーク テキスト] に入力したテキストをウォーターマークファイルとして新規に保存します。[新規保存] ボタンをクリックするとダイアログが表示されますので、[新規ウォーターマーク名] を入力して [OK] ボタンをクリックします。
ウォーターマークの配置	テキストウォーターマークを印刷するページ位置 (テキストの左下角) と角度を指定できます。 <ul style="list-style-type: none">マウスをクリックすると位置が決まります。ウォーターマークをドラッグすると、テキストの角度が変わります。



ポイント

ウォーターマークファイルを保存するフォルダは、[システムフォルダ] の [初期設定] フォルダ内にある [ウォーターマーク] フォルダです。誤ってウォーターマークを消しても対処できるように、[ウォーターマーク] フォルダをバックアップすることをお勧めします。

[PostScript オプション] ダイアログ



① ビジュアル効果

印刷データにビジュアル効果を加えて印刷します。

設定	機能
横反転	印刷データを鏡に映したイメージ（水平方向に反転させたイメージ）で印刷します。
縦反転	印刷データを 180 度回転させて印刷します。
パターン反転	白黒を反転させたイメージで印刷します。

② プリントオプション

印刷時のフォント、画像に対する機能を設定することができます。

設定	機能
代用フォント	New York、Geneva、Monaco のフォントをそれぞれ Times、Helvetica、Courier のフォントに置き換えて高品質に印刷します。
テキストスムージング	印刷データ中のビットマップフォントの輪郭を滑らかにして印刷します。
グラフィックススムージング	印刷データ中の画像（ビットマップデータ）に補正をかけて高品位に印刷します。
精密ビットマップアライメント	グラフィックイメージを印刷したときに起きるゆがみを補正するために、印刷データを少し縮小して印刷します。
ダウンロード可能フォントの制限なし	印刷データにプリンタからダウンロードするためのスクリーンフォントを多数使用する場合にチェックします。ただし、エプソンプリンタではこの機能を設定しない（チェックしない）でください。印刷に不具合が生じることがあります。

【カスタムページ設定】ダイアログ

カスタムページ設定

単位: cm

用紙サイズ

幅: 20.99 高さ: 29.7

Offset 0 Offset 0

デバイスの許容範囲は以下のとおりです

用紙の幅 最大 29.7

カスタムページ名

余白

上 0.39

左 0.39 右 0.39

下 0.39

削除 追加

【カスタムページ名】に名前を付けて、カスタム用紙サイズを作成できます。

- 【単位】を選択してから、【用紙サイズ】と【余白】の各項目に数値を入力し、【追加】ボタンをクリックして登録します。
- 登録したカスタム用紙サイズを削除するには、用紙サイズ名をメニューから選択して【削除】ボタンをクリックします。
- お使いのプリンタの機種で設定できる数値の許容範囲は、【デバイスの許容範囲は以下のとおりです】のメニューを切り替えて確認できます。



ポイント

- 作成したカスタム用紙サイズは、【ページ属性】ダイアログの【用紙】から選択できます。
- プリンタに付属のユーティリティで作成した用紙情報をカスタム用紙として登録できます。

フチなし印刷に関するご注意（PM-4000PX、PX-7000/9000のみ）

PM-4000PX または PX-7000/9000 を使用して本製品でフチなし印刷を行うには、使用する用紙サイズの縦 / 横それぞれ 0.6cm（上下左右各辺 0.3cm）大きな用紙サイズを【カスタムページ設定】ダイアログで作成して、【ページ属性】ダイアログの【用紙】で選択してください。

📖 本書 12 ページ「【ページ属性】ダイアログ」

＜例＞ A4（21.0 × 29.7cm）サイズの内側にフチなし印刷を行う場合（単位 cm）

カスタムページ名	用紙サイズ*		余白（左右上下）*
A4 フチなし	幅：21.6cm Offset：0cm	高さ：30.3cm Offset：0cm	0cm

* 【追加】ボタンをクリックすると、入力した数値は設定できる近似値に自動的に変わる場合があります。



ポイント

- 【カスタムページ名】には、フチなし印刷用サイズであることがわかる名前を付けることをお勧めします。
- フチなし印刷用のカスタム用紙サイズを作成する場合、【Offset】（幅 / 高さ）と【余白】（上下左右）を必ず 0 cm（0 インチ）に設定してください。
- フチなし印刷を行う印刷データは、使用するカスタム用紙サイズいっばいにアプリケーションソフトで作成してください。

フチなし印刷に使用するカスタム用紙サイズを作成して選択しないと、フチなし印刷は行えません。フチなし印刷で使用できる用紙種類とインクの組み合わせや、フチなし印刷の手順については、以下のページをお読みください。

📖 本書 43 ページ「フチなし印刷を行うには」

[プリント] ダイアログ

[プリント] ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。ダイアログ左上の [印刷設定] メニューから設定画面を選択すると、プリンタの各種機能が設定できます。



① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択することができます。

② 出力先

印刷データの出力先を設定します。[プリンタ] を選択すると印刷データをプリンタに送り、プリンタは印刷を開始します。[ファイル] を選択すると、印刷データを PostScript ファイルまたは EPS ファイルとして保存することができます。

📖 本書 24 ページ 「[PostScript 設定] ダイアログ」

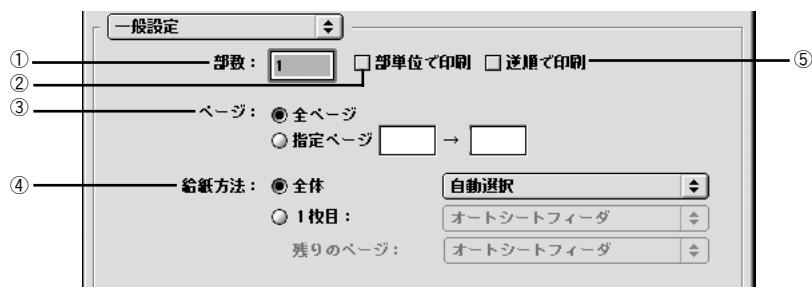
③ 印刷設定メニュー

印刷に関する各種機能の設定が実行できます。ポップアップメニューから選択してください。各設定項目については、次ページ以降をお読みください。

④ 設定を保存

[プリント] ダイアログで設定を変更して [設定を保存] ボタンをクリックすると、設定が保存されます。

[一般設定] ダイアログ



① 部数

印刷する部数を最大999部まで設定できます。直接数値を入力して設定します。EPSON PS Server の [初期設定] で [ラスタースプールモード] を有効にすると、高速に印刷することができます。

📖 本書 50 ページ「初期設定」

② 部単位で印刷

部数が 2 以上の場合、1 部ごとに印刷します。ただし、この機能はサーバクライアント環境でのみ使用できます。スタンドアロン環境では使用できません。

③ ページ

印刷するページの範囲を設定します。

④ 給紙方法

印刷する用紙がセットされた給紙装置に合わせて選択します。

[自動選択] を選択した場合、EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] ダイアログの [給紙装置] で設定した給紙装置から給紙して印刷します。

📖 本書 52 ページ「プリンタ初期設定」

通常は [全体] を選択して、すべてのページで同じ給紙装置を使用します。

⑤ 逆順で印刷

最後のページから逆順で印刷します。ただし、スタンドアロン環境では本機能は使用できません。

[追加オプション] ダイアログ



① 高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択

EPSON PS Server 用にインストールされていない 2 バイトフォントは、ビットマップフォントとして印刷します。

② EPS ファイルまたはポータブル PostScript ファイルを作成する場合に選択

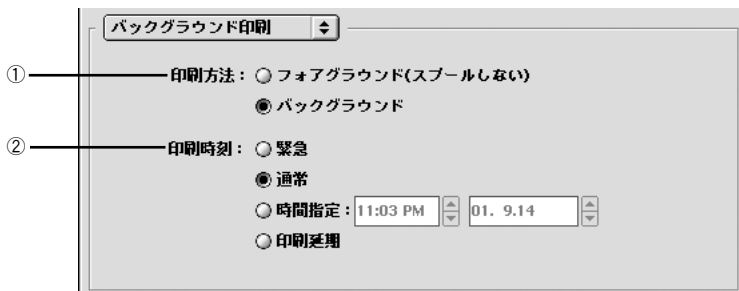
EPSON PS Server 用にインストールされていない 2 バイトフォントは、フォントデータのサブセットとしてプリンタへ送られます。



ポイント

アプリケーションによっては、①の設定で印刷できない場合があります。そのような場合は、②の設定で印刷してください。

[バックグラウンド印刷] ダイアログ



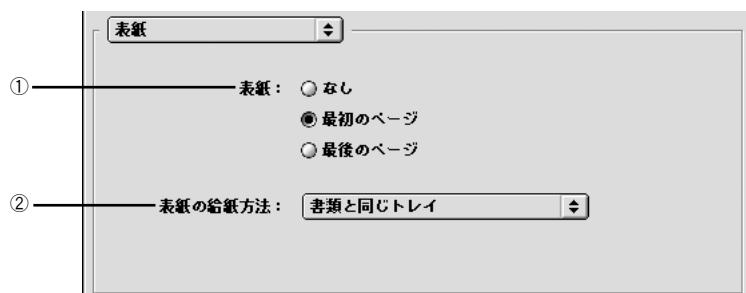
① 印刷方法

バックグラウンドを選択すると印刷中も Macintosh をほかの作業に使用することができます。初期設定では [バックグラウンド] が選択されています。スタンドアローン環境では、必ず [バックグラウンド] を選択してください。

② 印刷時間

通常の印刷では、[通常] を選択します。[緊急] を選択すると、複数の印刷データがある場合に、優先して印刷します。[時間指定] を選択すると、印刷する時間と日付を指定して印刷できます。[印刷延期] を選択すると、印刷データをプリントキューに残したまま印刷しません。

【表紙】ダイアログ



① 表紙

印刷データの名称や印刷日時などの情報を表示したページを、印刷の「最初のページ」または「最後のページ」に印刷できます。

② 表紙の給紙方法

表紙を印刷するときは、印刷データとは別の給紙装置を「表紙の給紙方法」で選択することもできます。ただし、給紙口が1つしかないプリンタの場合は、設定を変更することができません。

【カラー設定】ダイアログ



① カラー

カラー / グレースケールの印刷方法を設定します。

機能	設定
白黒*	モノクロ (白黒) で印刷します。グレースケール (階調) は再現しません。
カラー / グレースケール	カラーまたはグレースケール印刷するときに選択します。
ColorSync カラーマッチング	本製品では使用しません。
PostScript カラーマッチング	本製品では使用しません。

* アプリケーションソフトによっては、[白黒] を選択してもカラーで印刷される場合があります。その場合は、[プリンタの固有機能] ダイアログで [インク] を [グレースケール] に設定してください。

📖 本書 26 ページ「[プリンタの固有機能] ダイアログ」



ポイント

- アプリケーションソフトの CMYK または RGB カラーモードで作成した画像データを印刷する場合は、本製品の CMYK または RGB シミュレーションをご利用いただけます。
- アプリケーションソフトの Lab カラーを使用してディスプレイとのカラーマッチングを行う場合は、プリンタに標準添付のプリンタドライバ (QuickDraw プリンタドライバ) を使用して ColorSync モードで印刷することをお勧めします。

② プリンタプロファイル

①で [ColorSync カラーマッチング] または [PostScript カラーマッチング] のどちらかを選択した場合に選択可能となりますが、通常は [白黒] または [カラー / グレースケール] で印刷しますので、本製品ではこの項目は使用しません。

【レイアウト】 ダイアログ



① ページ / 枚

- 分割印刷や割付印刷を行わない場合は、[1] を選択します。
- 大きな用紙サイズを複数のページに分けて分割印刷するには、分割ページ数をメニューから選択します。スタンドアローン環境では本機能は使用できません。ただし、印刷データを一旦ファイルとして保存した場合は、スタンドアローン環境でも本機能をご利用いただけます。

分割印刷をする場合



- 連続した印刷データを1枚の用紙に割り付けて印刷するには、割付ページ数をメニューから選択します。割付印刷を行う場合は、②～④の項目を設定できます。

② レイアウトの方向

割り付け印刷を行う場合、ページを並べる順番をアイコンをクリックして選択できます。

設定	機能
	ページを左から右の順に並べます。
	ページを右から左の順に並べます。

③ 枠線

割り付けた印刷データの周りに枠線を描くかどうかを選択できます。ポップアップメニューから枠線の種類も選択できます。

[プリンタの固有機能] ダイアログの [枠線描画] (PX-7000/9000) や [枠線印刷] (PX-6000/6000S) とは異なり、印刷領域内に枠線を描きます。

④ 両面に印刷

用紙の両面に印刷します。本製品が対応するプリンタの機種によっては手動両面印刷ができない場合もあります。スタンドアローン環境では本機能は使用できません。また、ネットワーク環境でも、EPSON PS Server の [初期設定] ダイアログの [ダイレクトキューを使用] でチェックマークが外されていると、正常に両面印刷ができません。

【エラー設定】ダイアログ

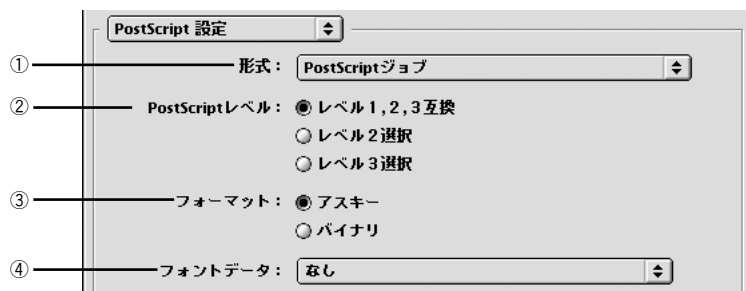


PostScript エラーが発生した場合に報告するかどうかを選択します。

設定	機能
レポートなし	PostScript エラーが発生しても報告しません。
スクリーン上に要約を表示	PostScript エラーが発生した場合、コンピュータのモニタスクリーンにエラーの要約を表示します。
詳細レポートの出力	PostScript エラーが発生した場合、エラーの詳細をプリンタで印刷します。

[PostScript 設定] ダイアログ

[出力先] を [ファイル] に設定した場合、印刷データをファイルとして保存できます。
[PostScript 設定] ダイアログでは、ファイルを保存する際の条件を設定できます。



① 形式

ファイルの保存形式を選択します。

設定	機能
PostScript ジョブ	PS (PostScript) ファイルとして保存します。
EPS (ビットマッププレビュー)	EPS ファイルとして保存します。プレビューイメージとしてビットマップ (72dpi) のモノクロイメージを提供します。
EPS (PICT プレビュー)	EPS ファイルとして保存します。プレビューイメージとして Macintosh の画面に表示するための QuickDrawPICT フォーマットのイメージを提供します。
EPS (プレビューなし)	EPS ファイルとして保存します。Macintosh の画面上に表示するためのプレビューイメージを提供しません。

② PostScript レベル

設定	機能
レベル 1, 2, 3 互換	どのレベルのPostScriptプリンタで印刷するかわからない場合に選択します。どの PostScript レベルとも互換性を保ちますが、その分ファイルサイズが大きくなり、印刷処理に時間がかかる場合があります。
レベル 2 選択	PostScript レベル 2 のプリンタで印刷する場合に選択します。レベル 1 の PS プリンタでは正常に印刷できない場合があります。
レベル 3 選択	PostScript レベル 3 のプリンタで印刷する場合に選択します。レベル 1、2 の PS プリンタでは正常に印刷できない場合があります。

③ フォーマット

保存するファイルのデータ形式を選択できます。

設定	機能
アスキー	フォーマットで選択した形式のデータをアスキーコードで保存します。EPS ファイルは必ずアスキーフォーマットを選択してください。
バイナリ	フォーマットで選択した形式のデータをバイナリ (2 進数) で保存します。

④ フォントデータ

作成する PS ファイルにダウンロード可能なフォントの情報を含めることができます。作成した PS ファイルをほかの PostScript プリンタから印刷する場合などに、フォント情報を含めないと印刷データで使用した以外のフォントで印刷される場合があります。

設定	機能
なし	フォント情報を含めません。
すべてを含める	印刷データに使用されているすべてのフォント情報を含みます。
標準 15 書体以外を含める	印刷データに使用されているフォントの中で標準 15 書体以外のフォント情報のみを含みます。
PPD にない書体を含める	PPD ファイルに記載されている欧文フォント以外で印刷データに使用されている欧文フォントの情報のみを含みます。和文 2 書体はビットマップとして保存されます。



ポイント

現在保存できるフォント情報は、欧文フォントの場合だけです。和文フォントの情報は保存できません。

【プリンタの固有機能】ダイアログ

【プリンタの固有機能】ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。プリンタの機種によって、設定できる機能や設定の選択肢が異なります。なお、このダイアログではバルーンヘルプはご利用いただけません。

PM-4000PX のプリンタ固有機能



以下の表でアスタリスク（* 印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。

設定	機能
用紙種類	<p>使用する用紙の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した【用紙種類】によって【解像度】に制限があり、利用できない【解像度】が選択されているとエラーメッセージを表示します。 以下のブラック系インクの組み合わせ（左端スロット+左から2番目のスロット）で印刷してください。
普通紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
スーパーファイン専用紙 2	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi
MC マット紙	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
MC 画材用紙	
PM/MC 写真用紙（半光沢）	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 1440x720dpi、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
MC 光沢紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
PX ブルーフ用紙（微光沢）	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
解像度	<p>プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した【解像度】によって【用紙種類】に制限があり、利用できない【用紙種類】が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、上記の【用紙種類】でご確認ください。</p>
360x360dpi	解像度を360x360dpiに設定します。
720x720dpi*	解像度を720x720dpiに設定します。
1440x720dpi	解像度を1440x720dpiに設定します。
2880x1440dpi	解像度を2880x1440dpiに設定します。

設定	機能	
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー*	カラーで印刷します。
	黒	モノクロ（白黒）で印刷します。 ※グレーインクは使用されません。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン（チェックあり）*	双方向印刷を行います。
	オフ（チェックなし）	双方向印刷を行いません。
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オン（チェックあり）	オプションのロール紙オートカッターを使って、1ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	オフ（チェックなし）*	印刷したページを自動的にカットしません。市販のカッターなどを使って切り離してください。
フチなし印刷	単票紙の場合は四辺フチなし、ロール紙の場合は左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。なお、カスタム用紙サイズを選択しないと設定できません。 🔗 本書 16 ページ「[カスタムページ設定] ダイアログ」 🔗 本書 43 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン（チェックあり）	フチなし印刷を行います。
	オフ（チェックなし）*	フチなし印刷を行いません。



ポイント

- Apple Talk でプリンタと接続しているときに、プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、セレクトで [PSserver_XX-xxxxx] を選択して [再設定] をクリックします。その後に表示されるダイアログで [自動選択] ボタンをクリックしてください。
* プリンタの機種名が表示されます。
- TCP/IP (LPR) でプリンタと接続しているときに、プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、作成したデスクトッププリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [設定の変更] を選択します。表示された画面の [変更内容] で [カートリッジオプション] を選択し、その下のリストボックスで、プリンタにセットされているインクカートリッジに合わせて以下のように選択します。
PM-4000PX、PX-7000/9000：ブラックインクカートリッジの組み合わせを選択します。
PX-6000/6000S：8色モードの場合は「フォトインクセット」、4色モードの場合は「高速4色インクセット」を選択します。

PX-7000/9000 のプリンタ固有機能

プリンタ固有機能

用紙種類: 普通紙

解像度: 360x360dpi

スーパーマイクロフィブ

双方向印刷

自動用紙切断

自動回転

切取り線描画

フチなし

インク

カラー

黒

用紙オプション: ロール紙[24インチ]

グレースケール制御: テキストのみ



RGBシミュレーション: Apple RGB

CMYKシミュレーション: DIC

以下の表でアスタリスク（* 印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。

設定	機能
用紙種類	<p>使用する用紙の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があり、利用できない [解像度] が選択されているとエラーメッセージを表示します。なお、*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせについては、後述の [スーパーマイクロウィーブ] の説明をお読みください。 以下のブラック系インクの組み合わせ（左端スロット+左から2番目のスロット）で印刷してください。
普通紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi、720x360dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
MC 厚手マット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
MC 光沢紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
MC 写真用紙 [光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
MC 写真用紙 [半光沢]	
MC フォトスタンダード紙 [光沢]	
MC フォトスタンダード紙 [半光沢]	
PX_MC 写真用紙 [厚手 編目]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
MC 画材用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー
PX_MC コットン画材用紙	
光沢フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
MC バックライトフィルム	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
MC マット合成紙2	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi*1、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
MC マット合成紙2 [のり付き]	

設定	機能	
用紙種類 (続き)	MC_PM クロス [防災]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x360dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	MC マット塩ビ [のり付き]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi^{*1}、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	PX_MX プレミアムマット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi^{*1} 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー
	PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi^{*1}、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]	
	マットボード紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x360dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	PX ブルーフ用紙 [微光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi^{*1}、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	予約 1	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi^{*1} 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
予約 2		
解像度	プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があり、利用できない [用紙種類] が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、[用紙種類] でご確認ください。	
	360x360dpi [*]	解像度を 360x360dpi に設定します。
	360x720dpi	解像度を 360x720dpi に設定します。
	720x360dpi	解像度を 720x360dpi に設定します。
	720x720dpi	解像度を 720x720dpi に設定します。
	1440x720dpi	解像度を 1440x720dpi に設定します。
	2880x1440dpi	解像度を 2880x1440dpi に設定します。
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー [*]	カラーで印刷します。
	黒	モノクロ（白黒）で印刷します。 ※グレーインクは使用されません。

設定	機能	
スーパーマイクロウィーブ	<ul style="list-style-type: none"> 行ごとのムラを最小限に抑えたい場合に機能をオンに設定します。ただし、印刷時間が長くなります。通常はオフに設定して印刷してください。オフのまま印刷ムラが目立つ場合に限り、オンに設定すると印刷ムラが発生しない場合があります。 前述の [用紙種類] に*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせは、[スーパーマイクロウィーブ] のオン / オフによって、印刷結果が変化します。 	
	オン (チェックあり)	スーパーマイクロウィーブ印刷を行います。
	オフ (チェックなし)*	スーパーマイクロウィーブ印刷を行いません。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン (チェックあり)*	双方向印刷を行います。
	オフ (チェックなし)	双方向印刷を行いません。
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オン (チェックあり)	1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	オフ (チェックなし)*	印刷したページを自動的にカットしません。オプションのカッターユニットや市販のカッターなどを使って切り離してください。
自動回転	縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに [オン] を選択してください。	
	オン [xxx]	自動回転します。[xxx] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
	オフ*	自動回転しません。
枠線描画	ページの右端と下端に切り取り線 (実線) を印刷します。ただし、[自動用紙切断] がオンの場合は、下端の切り取り線は印刷されません。	
	オン (チェックあり)	切り取り線を印刷します。
	オフ (チェックなし)*	切り取り線を印刷しません。
フチなし印刷	左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。なお、カスタム用紙サイズを選択しないと設定できません。  本書 16 ページ「[カスタムページ設定] ダイアログ」  本書 43 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン (チェックあり)	フチなし印刷を行います。
	オフ (チェックなし)*	フチなし印刷を行いません。



ポイント

- Apple Talk でプリンタと接続しているときに、プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、セレクタで [PSserver_XX-xxxxx*] を選択して [再設定] をクリックします。その後に表示されるダイアログで [自動選択] ボタンをクリックしてください。
*プリンタの機種名が表示されます。
- TCP/IP (LPR) でプリンタと接続しているときに、プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、作成したデスクトッププリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [設定の変更] を選択します。表示された画面の [変更内容] で [カートリッジオプション] を選択し、その下のリストボックスで、プリンタにセットされているインクカートリッジに合わせて以下のように選択します。
PM-4000PX、PX-7000/9000：ブラックインクカートリッジの組み合わせを選択します。
PX-6000/6000S：8 色モードの場合は「フォトインクセット」、4 色モードの場合は「高速 4 色インクセット」を選択します。

PX-6000/6000S のプリンタ固有機能



以下の表でアスタリスク（* 印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。

設定	機能
用紙種類	<p>使用する用紙の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があり、利用できない [解像度] が選択されているとエラーメッセージを表示します。なお、*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせについては、後述の [スーパーマイクロウィーブ] の説明をお読みください。 以下のインクの組み合わせで印刷してください。
EPSON スーパーファイン紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
PX マット紙 [薄手]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
EPSON フォトマット紙: 顔料	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
PX_MC プレミアムマット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
EPSON 写真用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1、2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
EPSON 写真用紙 [絹目調]	
PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1、2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	
PX_MC 写真用紙 [厚手 半光沢]	
PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]	
PX ブルーフ用紙 [微光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1、2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード

設定	機能	
用紙種類 (続き)	EPSON 画材用紙：顔料	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi^{*1} 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	PX_MC コットン画材用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi^{*1} 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
	MC マット合成紙2	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	普通紙 [*]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、720 × 360dpi、720 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	予約 1	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi^{*1}、 2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
	予約 2	
	予約 3	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi^{*1} 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
予約 4		
解像度	プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があり、利用できない [用紙種類] が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、[用紙種類] でご確認ください。	
	360 × 360dpi	解像度を 360 × 360dpi に設定します。
	360 × 720dpi	解像度を 360 × 720dpi に設定します。
	720 × 360dpi	解像度を 720 × 360dpi に設定します。
	720 × 720dpi [*]	解像度を 720 × 720dpi に設定します。
	1440 × 720dpi	解像度を 1440 × 720dpi に設定します。
	2880 × 1440dpi	解像度を 2880 × 1440dpi に設定します。
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー [*]	カラーで印刷します。
	グレースケール	グレースケール（階調）で印刷します。 ※グレーインクは使用されません。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合は [オフ] を選択してください。	
	オン [*]	双方向印刷を行います。
	オフ	双方向印刷を行いません。
自動回転	縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに [オン] を選択してください。	
	オン [xxx]	自動回転します。[xxx] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
	オフ [*]	自動回転しません。

設定	機能	
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オフ*	印刷したページを自動的にカットしません。市販のカッターなどを使って切り離してください。
	1 カット	画像と画像の境界(ページとページの境界)をカットします。 ただし、カット位置が微妙にズれる場合があります。
	2 カット	[用紙設定] ダイアログの [ページ属性] ダイアログで [用紙] を [xxx (フチなし)] (xxx は用紙サイズ) に設定し、複数部数または複数ページ印刷時のみ有効です。 [1 カット] を選択していて、カット位置の微妙なズレが気になる場合に選択します。 画像と画像の間を空けて印刷し、その前後 2 箇所をカットします。 なお、2 箇所カットすることによって、80 ~ 130mm 程度の切れ端が発生します。切れ端の長さは用紙の種類によって異なります。 📖 本書 185 ページ「[2 カット] でのロール紙の切れ端の長さについて (PX-6000/6000S)」
枠線印刷	ページの右端と下端に切り取り線(実線)を印刷します。ただし、[自動用紙切断] が [1 カット] または [2 カット] の場合は、下端の切り取り線は印刷されません。	
	オン	切り取り線を印刷します。
	オフ*	切り取り線を印刷しません。
スーパーマイクロウィーブ	<ul style="list-style-type: none"> 行ごとのムラを最小限に抑えたい場合に機能をオンに設定します。ただし、印刷時間が長くなります。通常はオフに設定して印刷してください。オフのまま印刷ムラが目立つ場合に限り、オンに設定すると印刷ムラが発生しない場合があります。 前述の [用紙種類] に*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせは、[スーパーマイクロウィーブ] のオン/オフによって、印刷結果が変化します。 	
	オン	スーパーマイクロウィーブ印刷を行います。
	オフ*	スーパーマイクロウィーブ印刷を行いません。
フチなし印刷	左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。[用紙設定] ダイアログの [ページ属性] ダイアログで [用紙] を [xxx (フチなし)] に設定した場合のみ [オン] を選択できます (xxx は用紙サイズ)。 📖 本書 16 ページ「[カスタムページ設定] ダイアログ」 📖 本書 43 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン	フチなし印刷を行います。
	オフ*	フチなし印刷を行いません。



ポイント

- Apple Talk でプリンタと接続しているときに、プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、セレクタで [PSserver_XX-xxxxx] を選択して [再設定] をクリックします。その後に表示されるダイアログで [自動選択] ボタンをクリックしてください。
プリンタの機種名が表示されます。
- TCP/IP (LPR) でプリンタと接続しているときに、プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、作成したデスクトッププリンタを選択し、[プリンタ] メニューから [設定の変更] を選択します。表示された画面の [変更内容] で [カートリッジオプション] を選択し、その下のリストボックスで、プリンタにセットされているインクカートリッジに合わせて以下のように選択します。
PM-4000PX、PX-7000/9000：ブラックインクカートリッジの組み合わせを選択します。
PX-6000/6000S：8色モードの場合は「フォトインクセット」、4色モードの場合は「高速4色インクセット」を選択します。

プリンタのカラー調整



① RGB シミュレーション

RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。

本書 39 ページ「カラーシミュレーション機能について」

設定	機能
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB	CIE RGB 色
Color Match RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

② CMYK シミュレーション

オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。

📖本書 39 ページ「カラーシミュレーション機能について」

設定	機能
オフ	シミュレーションしません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパの印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー)
カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

③グレースケール制御

ブラックやグレイのテキストや画像を、ブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。

設定	機能
テキストのみ	テキストに、グレースケール制御を適用します。画像は CMYK4 色のブラックで出力されます。
画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストは CMYK4 色のブラックで出力されます。
すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
オフ	ブラックは CMYK 4 色のブラックで出力されます。

④レンダリングインテント

出力装置が再現できる色には限界があるため、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の属性を調整する必要があります。その属性に付けられる優先順位です。本設定は、RGB シミュレーションのみに機能します。

設定	機能
知覚的	見栄えを重視して色を再現します。
相対的な色域を維持	光源と媒体の白色点 (用紙の地色) を組み合わせて色を再現します。
彩度	彩度を保持または強調して色を再現します。
絶対的な色域を維持	光源だけで色を再現する。紙の地色のような白色点は補正されません。

その他の印刷方法

通常の印刷方法とは異なるさまざまな印刷方法について説明します。



ポイント

以下のファイルは、アプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

- PostScript
- PDF Ver. 1.3 (Mac OS 8/9)、PDF Ver. 1.4 (Mac OS X、Windows 2000/XP)
- TIFF 条件、制限：
 - ・ ベースラインに準拠。
 - ・ カラー：YcbCr/ マルチページ / α チャンネルは非サポート。
- JPEG 条件、制限：
 - ・ ベースライン形式をサポート。
 - ・ プログレッシブ形式の圧縮等は非サポート。
 - ・ 1 ピクセル = 1 ポイントで描画。

- EPS

直接印刷については、以下のページをお読みください。

本書 49 ページ「ファイルの直接印刷」

ファイルへの出力

AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PS (PostScript) ファイルまたは EPS (Encapsulated PostScript) ファイルとして保存することができます。



ポイント

- PS ファイルや EPS ファイルは、その元ファイルを作成したアプリケーションソフトがなくても印刷できます。以下のページをお読みください。

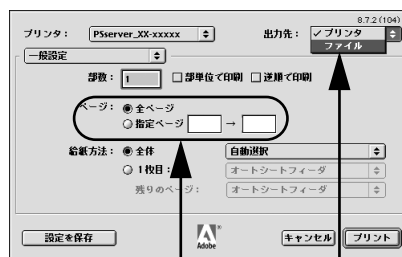
本書 38 ページ「ドラッグ&ドロップによる印刷」

本書 49 ページ「ファイルの直接印刷」

- Adobe® Acrobat® Distiller というアプリケーションソフトを使うと、PS ファイルから PDF ファイルを生成することができます。
- EPS ファイルは、ほかのアプリケーションソフトで作成したファイルに組み込むことができます。

① [ファイル] メニューから [プリント] (または [印刷]) を選択します。

② 保存する範囲を設定して、[出力先] メニューから [ファイル] を選択します。



② 選択します

① 保存するページ範囲を設定して



ポイント

EPS ファイルとして保存する場合は、1 ページを越えて保存することはできません。1 ページ分のページ範囲を指定してください。

- 3 [印刷設定] メニューのポップアップメニューから [PostScript 設定] をクリックします。

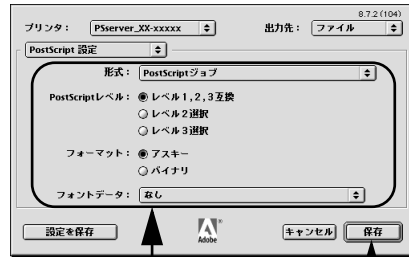


クリックします

- 4 各項目を設定し、[保存] ボタンをクリックします。

各項目の詳細は、以下のページを参照してください。

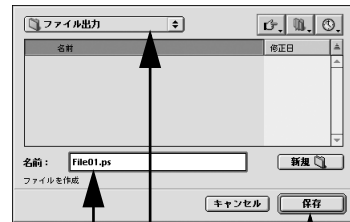
[本書 24 ページ \[PostScript 設定\] ダイアログ](#)



①設定して

②クリックします

- 5 保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。



①選択して

②入力して

③クリックします

ドラッグ&ドロップによる印刷

EPSON PS Server をインストールしてある Macintosh であれば、ファイルへ出力した印刷ファイルを [EPSON PS Server] アイコンに重ね合わせて (ドラッグ&ドロップ) 印刷できます。また、アプリケーションソフトによってはドラッグ&ドロップで印刷できる PostScript/EPS ファイルを作成できる場合があります。



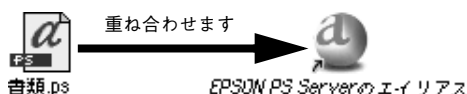
ポイント

- EPSON PS Server のエイリアスを作成してデスクトップに置くと、簡単にドラッグ&ドロップして印刷できるので便利です。
- 通常の印刷より速く処理を終えて印刷を始められます。

- 1 印刷したいファイルをクリックして反転表示させます。
- 2 EPSON PS Server (またはそのエイリアス) にファイルをドラッグ&ドロップします。

選択したファイルをクリックしたまま、マウスを操作して EPSON PS Server のアイコン (またはエイリアス) の上に重ね合わせ、アイコンが反転表示したらマウスボタンを離します。EPSON PS Server はドロップしたファイルを読み込んで印刷を始めます。

<例：EPSON PS ServerEPSON PS Server のエイリアスにドラッグ&ドロップする場合>



ポイント

- [プリント] ダイアログは表示されません。読み込んだファイルは EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] で設定した印刷条件に従って印刷されます。なお、ファイル出力時や PostScript/EPS ファイル作成時に [用紙設定] や [プリント] ダイアログの設定を行っている場合は、それらの設定が EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] より優先されます。
📖 本書 52 ページ「プリンタ初期設定」
- ファイルをドラッグ&ドロップしても EPSON PS Server が反転表示しない場合は、デスクトップの更新を実行してください。

[ファイル] メニューから印刷

EPSON PS Server の [ファイル] メニューから [開く] を選択し、印刷したいファイルを直接開いて印刷することができます。

印刷できるファイル形式と印刷方法については、以下のページを参照してください。

📖 本書 49 ページ「ファイルの直接印刷」

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは

CMYK シミュレーション

ほとんどの PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版 (PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード > など) は、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色 (CMYK カラー) を再現 (シミュレーション) することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ (Eurostandard) の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー)
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 📖 本書 56 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB シミュレーション

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト (Photoshop < RGB カラーモード >) は、モニタで使用する RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB シミュレーション機能を使用することにより、使用するモニタの色 (RGB カラー) を再現 (シミュレーション) することができます。本製品でシミュレーションできる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色 📖 本書 56 ページ「カラーマネージャ設定」



ポイント

本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、相関色温度 5,000K の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。
📖 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」
- この機能を使用するためには ColorSync (Ver. 2.5 以上) がシステムにインストールされている必要があります。

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。



ポイント

印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1 [セレクト] で EPSON PS Server を選択します。

📖 本書 2 ページ「EPSON PS Server の選択と設定」

2 印刷するファイルを作成します。

- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。



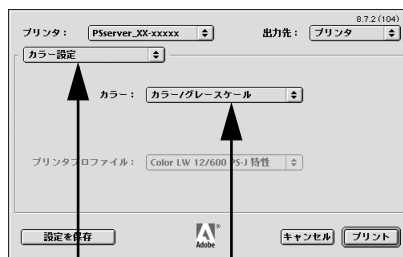
ポイント

Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

3 [プリント] ダイアログを開きます。

📖 本書 11 ページ「印刷設定の手順」

4 [プリント] ダイアログの [印刷設定] メニューから [カラー設定] を選択し、[カラー] で [カラー/グレースケール] を選択します。



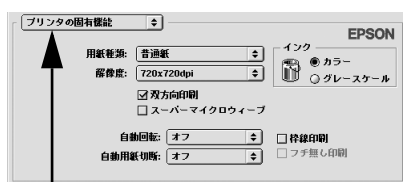
① 選択して ② 選択します



ポイント

[ColorSync カラーマッチング] または [PostScript カラーマッチング] が選択されていると、CMYK シミュレーション機能は使用できません。必ず [カラー/グレースケール] を選択してください ([白黒] ではカラーシミュレーションされません)。

5 [プリント] ダイアログの [印刷設定] メニューから [プリンタの固有機能] を選択します。



選択します

プリンタの機種によって画面は異なります。

- 6 [インク] で [カラー] を選択します。
[黒] または [グレースケール] を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。

- 7 [CMYK シミュレーション] で、シミュレーションの対象となる印刷機色のプロファイルを選択します。

- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC (初期設定)	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ (Eurostandard) の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ 標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー) をシミュレーションするプロファイルです。
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 📖 本書 56 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB (初期設定)	Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色をシミュレーションします。 📖 本書 56 ページ「カラーマネージャ設定」



ポイント

- CMYK/RGB どちらのシミュレーションも行わない場合は (プリンタ本来の色で印刷する場合は)、[オフ] を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず [オフ] を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2 重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
📖 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」
- カスタムプロファイルを EPSON PS Server に登録する方法については、以下のページをお読みください。
📖 本書 56 ページ「カラーマネージャ設定」

- 8 [プリント] をクリックして印刷を実行します。

フチなし印刷を行うには

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても用紙の四辺に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができません。本機のフチなし印刷機能を使用すると、用紙の四辺または左右にフチ（余白）のない印刷が可能になります。操作の手順は以下のページをお読みください。

📖 本書 46 ページ「フチなし印刷の手順」

フチなし印刷が可能な用紙とサイズ

本製品でフチなし印刷が可能な用紙とサイズは、お使いのプリンタの機種によって異なります。使用する用紙の種類に合わせて [用紙種類] を設定し、サイズに合わせて [用紙] でカスタム用紙サイズ* (PM-4000PX、PX-7000/9000) または [(xxx (フチなし)) (PX-6000/6000S)] を選択してください (xxx は用紙サイズ)。

* カスタム用紙サイズは、[用紙設定] ダイアログの [カスタムページ設定] ダイアログで作成します。



ポイント

- 以下のエプソン純正専用紙をお使いいただくことをお勧めします。下記以外の組み合わせでは、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- 市販の用紙をお使いいただく場合、対応する [用紙種類] の設定については、用紙の取扱説明書をお読みください（不明な場合は、用紙メーカーにお問い合わせください）。用紙によっては、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。試し印刷することをお勧めします。

PM-4000PX：定形紙（四辺フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
MC マット紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	MC マット紙	カスタム用紙サイズ • 幅、高さとも： 用紙サイズ + 0.6cm • Offset と余白： 0cm
PM/MC 写真用紙 <半光沢> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	MC 写真用紙	
PM 写真用紙 <半光沢> L 判 (89 × 127mm)、2L 判 (127 × 178mm)	MC 写真用紙	
PM マットハガキ ハガキ (100 × 148mm)	MC マット紙	
官製ハガキ ハガキ (100 × 148mm)	普通紙	
市販の定形紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)、ハガキ (100 × 148mm)、L 判 (89 × 127mm)、2L 判 (127 × 178mm)	対応する [用紙種類] を選択	

PM-4000PX：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
PM/MC 写真用紙ロールタイプ<半光沢> L判 (89mm)、ハガキ (100m)、A4 (210mm)、 A3 ノビ (329mm)	MC 写真用紙	カスタム用紙サイズ • 幅：ロール紙幅+0.6cm • 高さ：任意のサイズ • Offset と余白： 0cm
PM 写真用紙ロールタイプ<半光沢> 2L判 (127mm)	MC 写真用紙	
MC マット紙ロールタイプ L判 (89mm)、ハガキ (100m)	MC マット紙	
市販のロール紙 L判 (89mm)、ハガキ (100m)、2L判 (127mm)、 A4 (210mm)、A3 ノビ (329mm)	対応する [用紙種類] を選択	

PX-7000/9000：単票紙（左右フチなし）の場合

単票紙は A4 サイズのみ、左右のみフチなし印刷が可能です（上下はフチなし印刷できません）。

用紙名 / A4 サイズ	用紙種類	用紙
上質普通紙	普通紙	カスタム用紙サイズ • 幅、高さ： 21.6 × 30.3cm • Offset と余白： 0cm
両面上質普通紙<再生紙>	普通紙	
MC 光沢紙 A4	MC 光沢紙	
マットボード紙	マットボード紙	
市販の単票紙	対応する [用紙種類] を選択	

* MC 画材用紙は A4 サイズがないため、フチなし印刷はできません。

PX-7000/9000：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ ^{*1}	用紙種類	用紙
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 光沢> 24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	カスタム用紙サイズ • 幅：ロール紙幅+0.24 インチ (0.6cm) • 高さ：任意のサイズ • Offset と余白： 0cm
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 絹目> 10 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 微光沢> 24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]	
市販のロール紙 PX-7000： 8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、 14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ PX-9000： 8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、 14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ、 36 インチ、44 インチ	対応する [用紙種類] を選択	

*1 PX-7000 で使用できるロール紙幅は、24 インチまでです。

PX-6000/6000S：単票紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
両面上質普通紙<再生紙> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)	普通紙	用紙サイズ： xxx (フチなし) (xxx は用紙サイズ)
スーパーファイン紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON スーパーファイン紙	
フォトマット紙 / 顔料専用 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON フォトマット紙 / 顔料	
画材用紙 / 顔料専用 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 画材用紙 / 顔料	
写真用紙<光沢> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 写真用紙	
写真用紙<絹目調> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 写真用紙<絹目調>	
PX ブルーフ用紙<微光沢> A3 ノビ (329 × 483mm)	PX ブルーフ用紙<微光沢>	

PX-6000/6000S：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 *1 / サイズ	用紙種類	用紙
PX マット紙<薄手>ロール 420mm*1	PX マット紙<薄手>またはPX マット紙<薄手> (線画)	用紙サイズ： xxx (フチなし) (xxx は用紙サイズ)
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙<厚手 光沢>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 絹目> 10 インチ、16 インチ	PX/MC 写真用紙<厚手 絹目>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 半光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙 <厚手 半光沢>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 微光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙 <厚手 微光沢>	
PX/MC プレミアムマット紙ロール 17 インチ	PX/MC プレミアムマット紙	
PX/MC コットン画材用紙ロール 17 インチ	PX/MC コットン画材用紙	
MC マット合成紙 2 ロール 17 インチ	MC マット合成紙 2	
PX ブルーフ用紙ロール<微光沢> 329mm、17 インチ	PX ブルーフ用紙<微光沢>	
市販のロール紙 210mm、10 インチ、257mm、297mm、 300mm、12 インチ、329mm、14 インチ、 400mm、16 インチ、420mm*1、17 インチ	対応する [用紙種類] を選択	

*1 420mm でフチなし印刷する場合は、420mm (16.5 インチ) ロール紙フチなし印刷用スペーサを使用してください。



ポイント

- エプソン純正専用ロール紙には、210mm、12 インチ、14 インチ、400mm の用紙はありません。
- ロール紙幅より狭い用紙サイズの画像データを作成した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

フチなし印刷の手順

フチなし印刷を行うには、以下の手順に従ってください。



ポイント

- アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。
- PM-4000PX または PX-7000/9000 の場合、フチなし印刷は、フォトブラックインク（左端スロット）とグレーインク（左から2番目のスロット）の組み合わせで印刷してください。それ以外のブラック系インクの組み合わせで、フチなし印刷は行えません。
- ロール紙でのフチなし印刷の場合、プリンタドライバの設定（〔フチなし〕 / 〔自動カッター〕）と、操作パネル（パネル設定モード）の設定（〔フチなし設定〕）の組み合わせで、用紙カット動作が異なります。プリンタの「スタートアップガイド」、「こんなときは」の「フチなし印刷するには」を参照して、必要な設定をしてください。

- 1 お使いのプリンタの機種に応じて、フチなし印刷可能な種類とサイズの紙（定形紙、ロール紙、単票紙）を用意し、プリンタにセットします。

📖 本書 43 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」

- 2 アプリケーションソフトで、1 で用意した紙サイズより 0.6cm 大きめに印刷データを作成します。

用紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

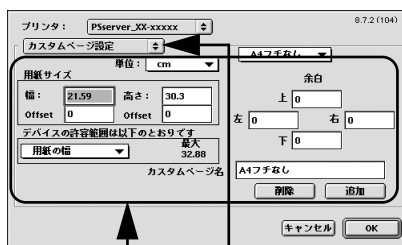
- 定形紙、単票紙の場合は、縦 / 横の大きさを以下のように設定して印刷データを作成します。
PM-4000PX：用紙サイズの縦 / 横それぞれ 0.6cm 大きな印刷データ。
PX-7000/9000/6000/6000S：用紙サイズより 0.6cm 横に広い印刷データ。縦（高さ）は任意のサイズ。
- ロール紙の場合は、ロール紙幅より 0.6cm 横に広い印刷データを作成します。縦（高さ）は任意のサイズです。

- 3 PM-4000PX または PX-7000/9000 の場合は、〔用紙設定〕ダイアログの〔カスタムページ設定〕ダイアログを開いて、フチなし印刷で使用するカスタム用紙サイズを作成します。

PX-6000/6000S の場合、〔カスタムページ設定〕でも設定できますが、ここでは 4 に進みます。

- カスタム用紙サイズは、2 で作成した印刷データの寸法に合わせて作成します。
- [Offset] および [余白] は [0] とします。

📖 本書 16 ページ「〔カスタムページ設定〕ダイアログ」

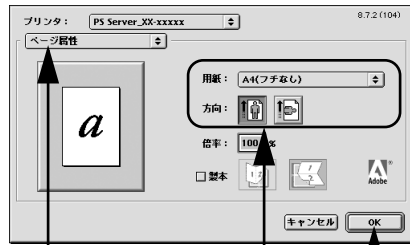


- ① 選択し
② 作成します

- ④ 用紙設定ダイアログの [ページ属性] ダイアログを開いて、[用紙] を選択し、[方向] も選択してから [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

- PM-4000PX または PX-7000/9000 の場合は、[用紙] から ③ で作成したカスタム用紙サイズを選択します。
- PX-6000/6000S の場合は、[用紙] から [xxx (フチなし)] を選択します (xxx は用紙サイズ)。

📖 本書 43 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



- ① 選択し ② 選択して ③ クリックします

<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合



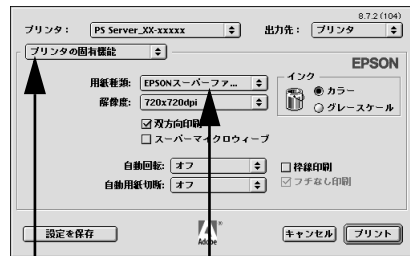
ポイント

アプリケーションソフトで作成した印刷データの寸法に合わせて、[用紙] (サイズ) と [方向] を設定します。ロール紙を使用する場合で、ロール紙幅より狭い [用紙] (サイズ) を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

- ⑤ [印刷] ダイアログの [プリンタの固有機能] ダイアログを開き、[用紙種類] を選択します。

- ① でセットした用紙の種類に合わせて、[用紙種類] を選択します。
- お使いのプリンタの機種に応じて、選択できる [用紙種類] は異なります。

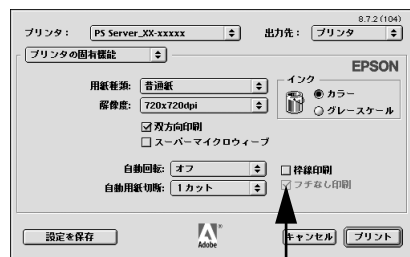
📖 本書 43 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



- ① 選択して ② 選択します

<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合
プリンタの機種によって画面は異なります

- ⑥ [フチなし印刷] にチェックされていることを確認します。

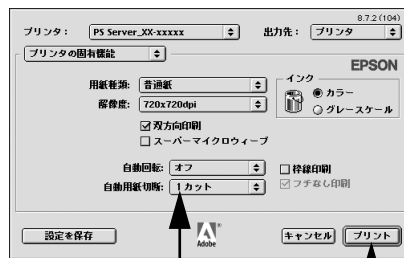


確認します

<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合
プリンタの機種によって画面は異なります

7 ロール紙をお使いの場合は [自動用紙切断] を設定して、[プリント] ボタンをクリックして印刷を実行します。

- 定形紙、単票紙をお使いの場合は、[自動用紙切断] を設定しないで、[プリント] ボタンをクリックして印刷を実行します。
- PM-4000PX にオプションのロール紙オートカッターを装着してロール紙を使用する場合は、[自動用紙切断] をオンにすると用紙上下端もフチなし印刷を行います。
- PX-7000/9000 の場合は、[自動用紙切断] をオンにすると用紙上下端もフチなし印刷を行います。
- PX-6000/6000S の場合は、[自動用紙切断] を [1 カット] または [2 カット] に設定すると用紙上下端もフチなし印刷を行います。



① 選択して ② クリックします

<例> 上記画面は PX-6000/6000S の場合
プリンタの機種によって画面は異なります



ポイント

- ロール紙で四辺フチなし印刷を行う場合は、必ず [自動用紙切断] をチェックする (PM-4000PX、PX-7000/9000) か、[1 カット] または [2 カット] に設定します (PX-6000/6000S)。
- ロール紙に左右フチなし印刷を行う場合は、[自動用紙切断] は任意に設定します (各ページは自動でカットするか、手でカットしてください)。
- 単票紙をお使いの場合は、[自動用紙切断] は設定しません。
- PX-7000/9000 または PX-6000/6000S で [自動用紙切断] をオフにして [枠線印刷] をオンにしている場合は、すべてのカット位置で自動カットしないで切り取り線を印刷します。
- PX-7000/9000 でロール紙を使ってフチなし印刷を行う場合は、AdobePS ドライバの設定 ([フチなし] / [自動用紙切断]) と操作パネルのパネル設定モードの設定 ([フチナシセッテイ]) の組み合わせによって、用紙カット動作が異なります。パネル設定モードの [フチナシセッテイ] については、プリンタ本体の取扱説明書をお読みください。

EPSON PS Server の使用方法

ファイルの直接印刷

本製品は、以下のファイルにネイティブ対応していますので、これらの形式のファイルはアプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

- PostScript
- PDF Ver. 1.3 (Mac OS 8/9)、PDF Ver. 1.4 (Mac OS X、Windows 2000/XP)
- TIFF
- JPEG
- EPS

[ファイル] メニューから [開く] を選択します。印刷したいファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックしてください。

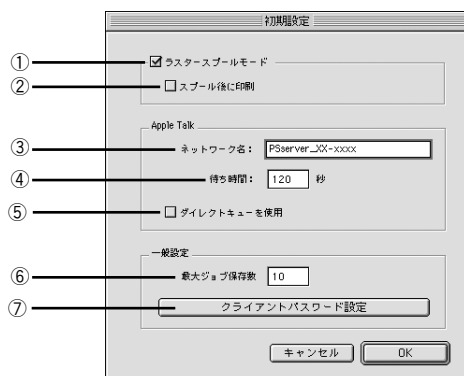


PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを直接印刷する場合の、印刷設定は [プリンタ初期設定] ダイアログで設定できます。

📖 本書 52 ページ「プリンタ初期設定」

初期設定

EPSON PS Server が備える基本機能の初期状態を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [初期設定] を選択します。



① ラスタースプールモード

クリックしてチェックマークを付けると、ラスタースプール（高速コピー）モードが有効となります。部単位印刷を行う場合に、より高速に印刷することができます。

② スプール後に印刷

印刷データをハードディスクにスプールして印刷するタイミングを設定します。

- オフ（チェックマークなし）の場合は、1 部目の印刷データはハードディスクにスプールしながら印刷し、2 部目からはスプールしたラスタータデータを直接プリンタへ送って印刷します。ただし、部数指定が 1 の場合は、スプールしません。
- オン（チェックマークあり）の場合は、最初に印刷データをすべてハードディスクにスプールします。そして、1 部目からスプールしたラスタータデータをプリンタへ送って印刷します。



ポイント

[スプール後に印刷] をオフに設定した場合、1 部目の印刷データをスプールする途中でプリントヘッドが一時的に停止して印刷ムラが発生する可能性があります。印刷ムラが発生する場合は、[スプール後に印刷] をオンに設定して印刷してください。

③ ネットワーク名

EPSON PS Server のネットワーク名を入力します。ここで指定した名称が、[セレクトタ] に表示されます。



ポイント

ネットワーク名が重複する場合は、名前の後に「xxx-1」、「xxx-2」と数字が付きます。

④ 待ち時間

設定した時間（2 ～ 3600 秒）を経過しても何のデータも受信しないと、EPSON PS Server は接続状態を一旦解除します。（工場出荷時の初期値＝ 120 秒）

⑤ダイレクトキューを使用

クリックしてチェックマークを付けると、EPSON PS Server が受信したデータを直接 PostScript インタープリターに送ります。

アフターマーケットフォントやユーティリティを使用する場合は、必ずチェックマークを付けてください。

ただし、ダイレクトキューを使用して印刷した場合、印刷後に EPSON PS Manager を使って再印刷することはできません。

⑥最大ジョブ保存数

保存できるジョブの最大数を設定します。1～99まで設定できます。
設定数を超えるジョブを受信した場合、古いジョブから順に削除されます。

⑦クライアントパスワード設定

クリックして表示される [PS Manager パスワード] 画面で、クライアントの EPSON PS Manager が接続するときに必要なパスワードを設定します。半角で 32 文字まで設定できます。

テキストボックスにパスワードを入力し、[OK] をクリックするとパスワードが設定されます。次回 EPSONPS Server を起動したときに、パスワードが有効になります。

共有フォルダ設定

EPSON PS Server が監視するフォルダを設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [共有フォルダ設定] を選択します。



①フォルダパス

共有するフォルダをフルパスで指定します。

初期設定では、「インストール先のハードディスク :CPS ソフトリッパー Plus:Shared Folder」が指定されています。

②参照

クリックすると、フォルダを指定するダイアログが表示されます。ここで指定したフォルダがフォルダパスに表示されます。

③監視間隔

設定した時間 (5～999 秒) ごとに共有フォルダを定期的に監視します。(工場出荷時の初期値 =5 秒)

プリンタ初期設定

EPSON PS Server が印刷を行うときの初期条件を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [プリンタ初期設定] を選択します。ここで設定した印刷条件は、アプリケーションソフトで作成した PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを、EPSON PS Server から直接印刷する場合 (アプリケーションソフトから印刷しない場合) に有効となります。なお、ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。

📖 本書 49 ページ「ファイルの直接印刷」

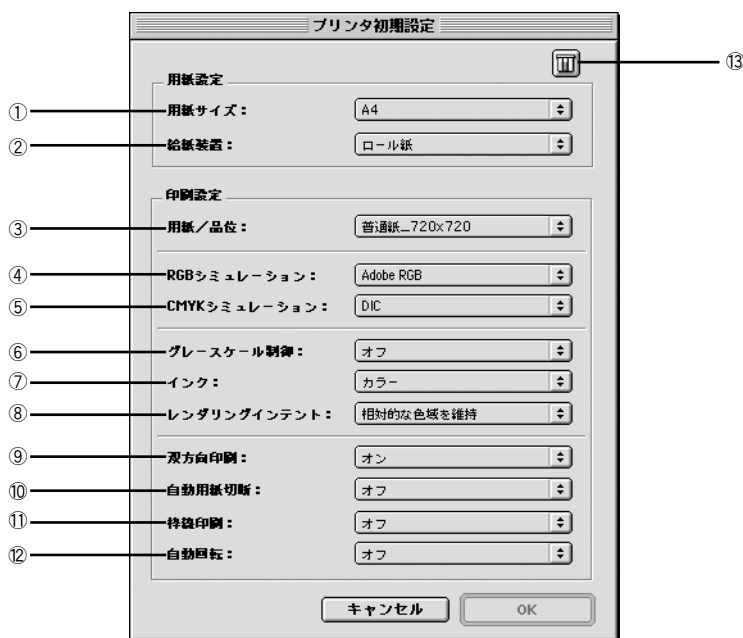


ポイント

- アプリケーションソフトから印刷する場合は、印刷時のプリンタドライバの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバを使って PS または EPS ファイルに出力して保存した場合は、出力時点でのプリンタドライバでの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- [プリンタ初期設定] ダイアログでは、スーパーマイクロウィーブとフチなし印刷の設定はできません。[プリンタの固有機能] ダイアログで設定してください。

📖 本書 26 ページ「[プリンタの固有機能] ダイアログ」

<例> PX-6000/6000S の場合



PM-4000PX の場合は、⑧ [レンダリングインテント]、⑪ [枠線印刷]、⑫ [自動回転] はご利用いただけません。

PX-7000/9000 の場合は、⑧ [レンダリングインテント] はご利用いただけません。

① 用紙サイズ

印刷で使用する用紙のサイズを選択します。選択できる用紙サイズはプリンタの機種によって異なります。

TIFF ファイルと JPEG ファイルの場合は、画像のサイズが用紙のサイズになります。

② 給紙方法

用紙の給紙方法を選択します。選択できる給紙方法はプリンタの機種によって異なります。

③ 用紙 / 品位

印刷で使用する用紙の種類と解像度の組み合わせを選択します。選択できる用紙 / 品位はプリンタの機種によって異なります。

④ RGB シミュレーション

RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。

設定	シミュレーションする RGB 色
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色 (工場出荷時の初期設定)
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL_SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

⑤ CMYK シミュレーション

オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。

設定	シミュレーションする CMYK 色
オフ	シミュレーションしません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色 (工場出荷時の初期設定)
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパの印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー)
カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

⑥ グレースケール制御

ブラックやグレーのテキストや画像を、ブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。

設定	説明
テキストのみ	テキストに、グレースケール制御を適用します。画像は CMYK4 色のブラックで印刷されます。(工場出荷時の初期設定)
画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキスト CMYK4 色のブラックで印刷されます。
すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
オフ	ブラックは CMYK 4 色のブラックで出力されます。

⑦ インク

カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。

設定	説明
カラー	カラーで印刷します。(工場出荷時の初期設定)
グレースケール	グレースケールで印刷します。

⑧ レンダリングIntent

出力装置が再現できる色には限界があるため、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の属性を調整する必要があります。その属性に付けられる優先順位です。

設定	説明
知覚的	見栄えを重視して色を再現します。
相対的な色域を保持*	光源と媒体の白色点(用紙の地色)を組み合わせで色を再現します。
彩度	光源だけで色を再現する。紙の地色のような白色点は補正されません。
絶対的な色域を保持	彩度を保持または強調して色を再現します。

⑨ 双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合は「オフ」を選択してください。

設定	説明
オン	双方向印刷を行います。(工場出荷時の初期設定)
オフ	双方向印刷を行いません。

⑩ 自動用紙切断

ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。

設定	説明
オン (チェックあり) (PM-4000PX、PX-7000/ 9000)	1 ページ印刷するごとに自動的にカットします*。 * プリンタの機種によっては、オプションのロール紙オートカッターが必要です。
1 カット (PX-6000/6000S)	画像と画像の境界(ページとページの境界)をカットします。 ただし、カット位置が微妙にズレる場合があります。
2 カット (PX-6000/6000S)	[ページ属性] ダイアログの [用紙] を [xxx (フチなし)] (xxx は用紙サイズ) に設定した場合のみ有効です。 [1 カット] を選択していて、カット位置の微妙なズレが気になる場合に選択します。 画像と画像の間を空けて印刷し、その後2箇所をカットします。 なお、2箇所カットすることによって、80～130mm程度の切れ端が発生します。切れ端の長さは用紙の種類によって異なります。 📖 本書 185 ページ「[2 カット]でのロール紙の切れ端の長さについて (PX-6000/6000S)」
オフ	印刷したページを自動的にカットしません。オプションのカッターユニット*や市販のカッターなどを使って切り離してください。(工場出荷時の初期設定) * プリンタの機種によってはご利用いただけません。

⑪ 枠線印刷

ページの右端と下端に切り取り線（実線）を印刷します。

設定	説明
オン	切り取り線を印刷します。
オフ	切り取り線を印刷しません。（工場出荷時の初期設定）

⑫ 自動回転

縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに [オン] を選択してください。

設定	説明
オン [xxx]	自動回転します。[xxx] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
オフ	自動回転しません。（工場出荷時の初期設定）

⑬ インク情報アイコン

クリックすると、インク残量を示すダイアログが表示されます。

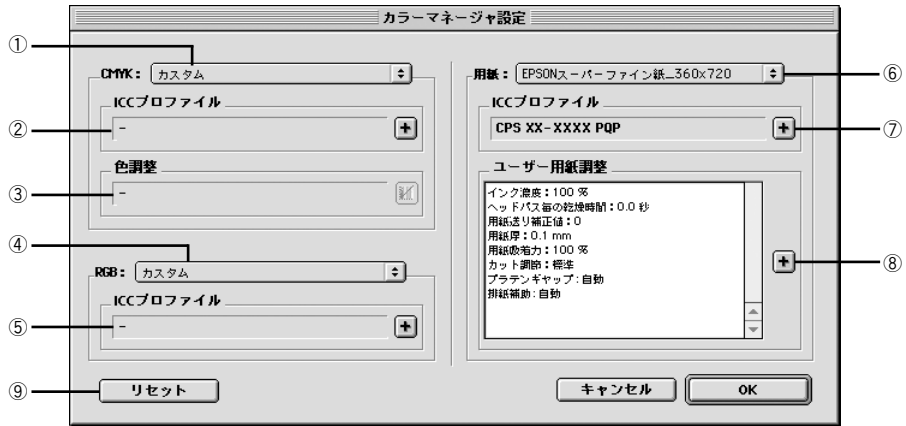


<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合
プリンタの機種によって画面は異なります

インク残量を確認したら、[OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

カラーマネージャ設定

EPSON PS Server のカラーマネージャ機能を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [カラーマネージャ設定] を選択します。



① CMYK

CMYK シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

② プロファイル名

①のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のCMYKシミュレーションプロファイルを表示します。各標準プロファイルに対応する特殊なプロファイルを選択する場合や、①で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] ボタンをクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。



ポイント

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [プリンタの固有機能] ダイアログで選択する CMYK シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

③ 色調整

①のメニューで選択している CMYK シミュレーションプロファイルに対して、さらに色の調整をする場合はトーンカーブアイコンをクリックして [トーンカーブ] ダイアログを開きます。標準およびカスタムどちらのプロファイルに対しても、微調整することができます。トーンカーブで調整を行うと、[調整済み] と表示されます。

📖 本書 57 ページ [[トーンカーブ] ダイアログ]



ポイント

トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] ボタンをクリックしてから、[保存] ボタンをクリックしてください。

④ RGB

RGB シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

⑤ プロファイル名

④のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のRGBシミュレーションプロファイルを表示します。各標準プロファイルに対応する特殊なプロファイルを選択する場合や、④で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] ボタンをクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。



ポイント

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [プリンタの固有機能] ダイアログで選択する RGB シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

⑥ 用紙

印刷で使用する用紙種類と解像度の組み合わせを選択します。

⑦ プロファイル名

⑥のメニューで選択している用紙名に対応する実際の用紙プロファイルを表示します。

⑧ 用紙調整

各用紙に設定されている用紙の情報を表示します。[+] ボタンをクリックすると [用紙調整] ダイアログが開きますので、必要に応じて用紙関連の設定を行ってください。
📖 本書 59 ページ [「用紙調整」ダイアログ]

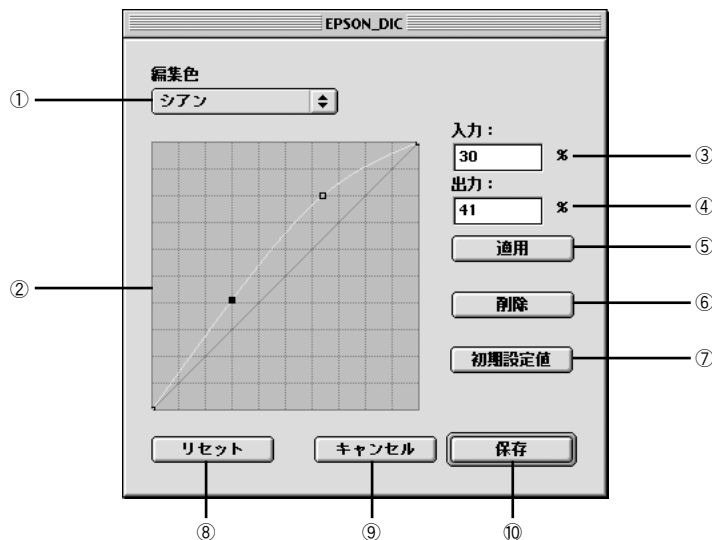
⑨ リセット

[カラーマネージャ設定] ダイアログで変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

[トーンカーブ] ダイアログ

[カラーマネージャ設定] ダイアログの [色調整] にあるトーンカーブアイコンをクリックすると、[トーンカーブ] ダイアログが開きます。選択している CMYK プロファイルで定義している色濃度に対して、さらに濃度調整を行えます。

📖 本書 56 ページ [「③ 色調整」]



① 編集色

調整する色を [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] の中から選択します。

② トーンカーブ

CMYK プロファイルが定義している色濃度（入力値）が実際にどの色濃度（出力値）で印刷されるかの相関関係を、最初は 45 度の直線を表示します（CMYK プロファイルで定義しているトーンカーブをそのまま再現しません）。任意の色濃度位置（入力値）をドラッグして、出力値を調整できます。また、[入力] と [出力] で指定した値をグラフィカルに表示することもできます。

③ 入力

調整対象となる色濃度（入力値）をパーセントで直接指定できます。

④ 出力

[入力] で指定した色濃度に対して、実際にどの色濃度で出力するかをパーセントで直接指定できます。

⑤ 適用

[入力] と [出力] で指定した値を、トーンカーブに反映させるときにクリックします。

⑥ 削除

トーンカーブでクリックして選択した入出力点を削除します。

⑦ 初期設定値

[編集色] で選択した色のトーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑧ リセット

すべての設定をリセットし、トーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑨ キャンセル

変更した設定値をキャンセルするときをクリックします。

⑩ 保存

調整したトーンカーブを記憶して、ダイアログを閉じます。トーンカーブが調整された場合は、[カラーマネージャ設定] ダイアログの [色設定] に [調整済み] と表示します。



ポイント

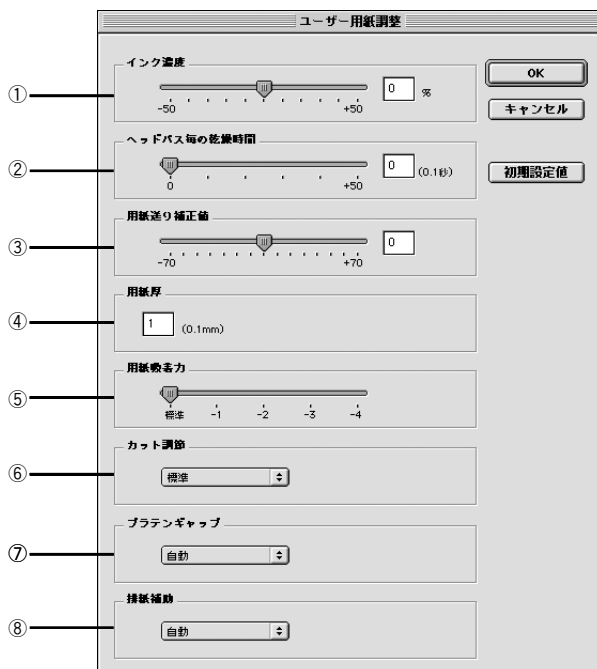
トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] ボタンをクリックしてから、[保存] ボタンをクリックしてください。

[用紙調整] ダイアログ

[カラーマネージャ設定] ダイアログの [用紙情報] にある [+] ボタンをクリックすると、[用紙調整] ダイアログが開きます。ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。

本書 57 ページ「⑧ 用紙調整」

<例> PX-6000/6000S の場合



PM-4000PX の場合は、① [インク濃度] 以外はご利用いただけません。

PX-7000/9000 の場合は、⑦ [プラテンギャップ] と⑧ [排紙補助] はご利用いただけません。

① インク濃度

インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整できます。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。



ポイント

強い色調が求められる POP 印刷用にインク濃度を上げたり、ランニングコストを抑えた試し印刷用にインク消費量を減らすために濃度を下げたりできます。

② ヘッドパス毎の乾燥時間

インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定できます。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +50）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。



ポイント

- ・インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。
- ・用紙によっては、乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。

③ 用紙送り補正值

用紙送りの補正值を調整できます。補正值は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0）。



ポイント

プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙を使っても用紙送りがずれる場合があります。また、エプソン純正専用紙以外の用紙に合わせて正確に用紙が送られるように調整する必要がある場合があります。これらの場合に、用紙送りを調整してください。

④ 用紙厚

用紙厚を設定できます。用紙厚は 0.1mm 単位で 1（0.1mm）から 16（1.6mm）までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている [用紙種類] によって異なります）。また、実際に設定可能な値の範囲は、プリンタによって異なります。



ポイント

エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合、その用紙の厚さを正確に設定することができます。

⑤ 用紙吸着力

用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定できます。用紙の吸着力は、スライドバーを左端（標準 100%）から、-1（50%）-2（30%）-3（10%）-4（最小 6%）へ動かして設定します（初期値：100%）。



ポイント

用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしづらかったり、うまく紙送りされないことがあります。このような場合は吸着力を弱めに設定してください。

⑥ カット調整

用紙自動カット時のカッターの圧力を設定できます。カット調整の選択肢は、プリンタの機種によって異なります（初期値：自動）。

PX-7000/9000 : [自動]、[薄紙]、[極薄紙]

PX-6000/6000S : [自動]、[薄紙]、[厚紙、高速]、[厚紙、低速]



ポイント

薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このような場合は用紙厚に合わせて [薄紙] または [極薄紙] に設定してください。

⑦ プラテンギャップ

プリントヘッドと用紙の間隔の広さ（プラテンギャップ）を設定できます。プラテンギャップは、メニューから [自動]、[より広め]、[広め]、[標準]、[狭い] のいずれかを選択して設定します。通常は [自動] を選択してください（初期値：自動）。

⑧ 排紙補助

排紙装置を選択できます。エプソン純正紙を使用する場合は [自動] を選択します。エプソン純正紙以外の用紙の場合は、お使いの用紙に合わせて、[単票紙]、[ロール紙（カール強）]、[ロール紙] の中から選択します。

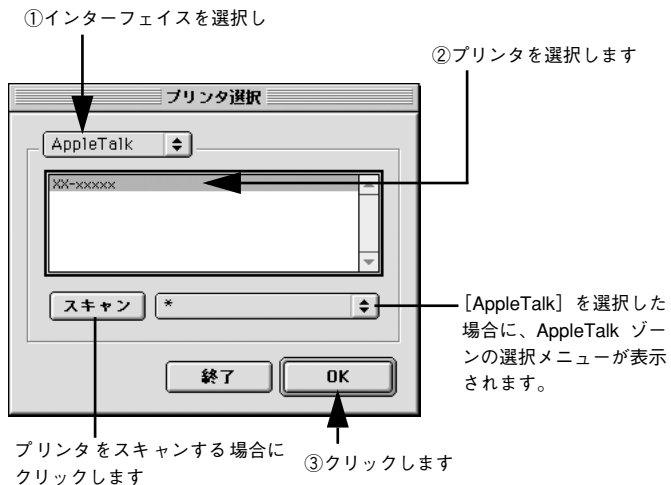
プリンタの再選択

プリンタを接続するインターフェイスを変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。[編集] メニューから [プリンタの再選択] を選択してください。以下のダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックし EPSON PS Server をいったん終了させます。



クリックします

次回 EPSON PS Server を起動すると、接続先を選択するダイアログが表示されます。使用するインターフェイス (ポート) を選択してから、同じプリンタを選択してください。



ポイント

- USB ポートまたは FireWire ポートにプリンタを接続している場合、[USB] または [FireWire] を選択しているにもかかわらずリストに機種名が表示されない場合は、プリンタの電源がオフになっている可能性があります。プリンタの電源と接続を確認してください。
- AppleTalkゾーンを設定している場合は、プリンタが接続されているゾーンを選択してからプリンタ名を選択してください。
- Ethernet ネットワークにプリンタを接続している場合で、使用するプリンタの名前が表示されない場合は、[スキャン] ボタンをクリックしてください。
- プリンタの再選択時に別のプリンタを選択すると、元のプリンタにインストールした市販のプリンタフォントは使用できません。

メッセージのクリア

メインウィンドウのメッセージをクリアしたい場合は、[編集] メニューから [メッセージのクリア] を選択してください。

メインウィンドウに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。必要に応じて [メッセージのクリア] を実行してください。

📖 本書 62 ページ「メインウィンドウの表示 / 非表示」

メインウィンドウの表示 / 非表示

EPSON PS Server が起動すると、印刷状況を表示するメインウィンドウが開きます。また、エラーが発生した場合などは、ウィンドウを広げてエラー状況を確認することができます。

[ウィンドウ] メニューの [ウィンドウを表示] を選択すると、印刷の進行を表すウィンドウが開きます（工場出荷時には、EPSON PS Server 起動時に自動的に開くように初期設定されています）。ウィンドウを表示させる必要のないときは、[ウィンドウを非表示] を選択して閉じておくこともできます。

印刷中のメインウィンドウ



エラー状況の表示



① ステータス

現在進行中のジョブの名称と印刷状況を表示します。

② キャンセル


印刷中のジョブを削除（印刷をキャンセル）するときにクリックします。

③ プログレスバー

印刷の進行状況の度合いを表示します。

④ メッセージを表示

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認するには、この三角アイコンをクリックしてウィンドウを広げます。メッセージに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。メッセージの内容を消すには、[編集] メニューにある [メッセージをクリア] を選択します。

 本書 62 ページ「メッセージのクリア」

EPSON PS Manager について

EPSON PS Manager は EPSON PS Server のジョブを管理・コントロールすることができるユーティリティソフトウェアです。主な機能は以下のとおりです。

- 印刷済みジョブの再印刷、印刷設定の変更
- 印刷済みジョブのプレビュー（サムネイル）表示
- FTP を使用した EPSON PS Server へのファイル転送
- 印刷ジョブの印刷優先度の変更

EPSON PS Manager の使用方法については、PS Manager を起動して、PS Manager のヘルプを参照してください。



ポイント

- EPSON PS Manager は Mac OS X には対応していません。
- クライアントで、EPSON PS Manager を使用して Mac OS X のプリントサーバ機に接続することはできません。



Mac OS X での使用方法

ここでは、Mac OS X で使用する方法について説明します。

● EPSON PS Server の選択と設定	66
● 印刷の手順	75
● プリンタドライバの設定項目について	77
● その他の印刷方法	98
● カラーシミュレーション機能について	101
● フチなし印刷を行うには.....	105
● EPSON PS Server の使用方法	112

EPSON PS Server の選択と設定

印刷する前に、一度 EPSON PS Server を選択して使用するプリンタの機種を設定する必要があります。



ポイント

- EPSON PS Serverは印刷する前に必ず起動します。起動しているEPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順をくり返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数の EPSON PS Server を切り替えて印刷する場合は、EPSON PS Server の選択と設定を行ってください。

クライアントとサーバの OS により、下表のとおり接続に使用するプロトコルが異なります。

		サーバ		
		Mac OS 8/9	Mac OS X	Windows 2000/XP
クライアント	Mac OS 8/9	AppleTalk TCP/IP (LPR)	AppleTalk TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR)
	Mac OS X	AppleTalk TCP/IP (LPR)	AppleTalk TCP/IP (LPR) Rendezvous	TCP/IP (LPR)
	Windows 2000/XP	TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR)	SMB TCP/IP (LPR)



ポイント

- クライアントとサーバのコンピュータのOS がともに Mac OS X の場合、接続環境により以下のプロトコルの使用を推奨します。
スタンドアローン環境：TCP/IP (LPR)
📖 本書 73 ページ「TCP/IP (LPR) の場合」
ネットワーク環境：Rendezvous
📖 本書 71 ページ「Rendezvous の場合」
- Mac OS X のスタンドアローン環境では、上記のとおり TCP/IP (LPR) を推奨します。この場合のプリンタの IP アドレスは、EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューで [環境設定] を選択し、表示される画面の [LPR] タブを選択して表示される IP アドレスを使用してください。

AppleTalk の場合

1 プリンタの電源をオンにします。

EPSON PS Server を起動する前に必ずプリンタの電源をオンにし、プリンタの [印刷可] ランプ（ [印刷可] ランプがない機種の場合は [電源] ランプ）が点灯している、またはディスプレイに「インサツカノウ」と表示されていることを確かめます。

2 EPSON PS Server をインストールした Macintosh (プリントサーバ) では、Apple メニューから [システム環境設定] を選択します。

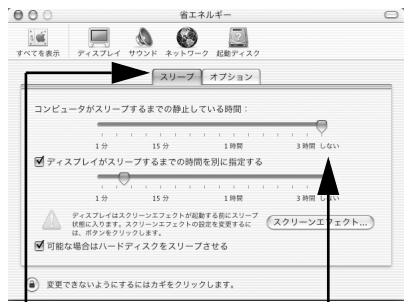
3 [省エネルギー] をクリックします。



クリックします

4 [スリープ] タブをクリックして、[コンピュータがスリープするまでの静止している時間] を [しない] に設定します。

右の画面が表示されない場合は [詳細情報を表示] をクリックしてください。



①クリックして

②設定します



ポイント

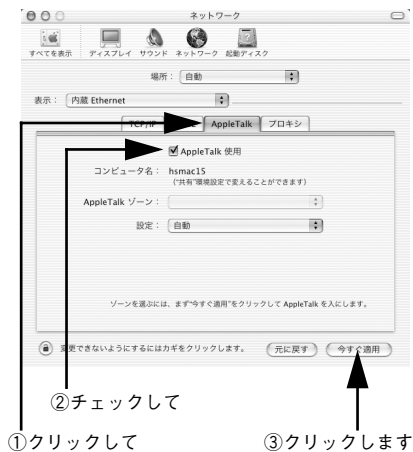
EPSON PS Server をインストールした Macintosh (プリントサーバ) がスリープすると、EPSON PS Server が動作せずネットワーク上のクライアントからも印刷できません。


5 [ネットワーク] をクリックします。



クリックします

- 6 [AppleTalk] タブをクリックし、[AppleTalk 使用] にチェックマークを付けて、[今すぐ適用] をクリックします。




 **ポイント** EPSON PS Server を起動するには、[AppleTalk 使用] にチェックマークを付ける必要があります。チェックマークを付けないと、EPSON PS Server が起動できないので印刷できません。

- 7 [システム環境設定] メニューから [システム環境設定を終了] を選択して、[ネットワーク] ダイアログを閉じます。

- 8 EPSON PS Serverをインストールしたハードディスクのアイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

 **ポイント** [Macintosh HD] というアイコン名は、ご利用の環境によって異なります。

- 9 EPSON PS Server を起動します。

- スタンドアローン環境で使用する場合やネットワーク環境のプリントサーバでは [アプリケーション] フォルダにある [EPSON PS Server] アイコンをダブルクリックします。EPSON PS Server が起動するとメインウィンドウが開き、印刷の状態やエラー状況を確認できます。

📖 本書 125 ページ「メインウィンドウの表示 / 非表示」



ダブルクリックします



ポイント

- EPSON PS Server をインストール後初めて起動するときは、以下のページを参照してライセンス番号を入力してください。
[インストールガイド「ライセンス番号の入力」](#)
- 本製品で頻繁に印刷する場合は、EPSON PS Server のエイリアスを作成して、デスクトップ上などに置いておくくと便利です。
- EPSON PS Server のエイリアスを [システム環境設定] 内の [ログイン項目] のリストに追加しておくくと、Macintosh の起動時に自動的に EPSON PS Server を起動させることができます。

• ネットワーク環境のクライアントコンピュータでは

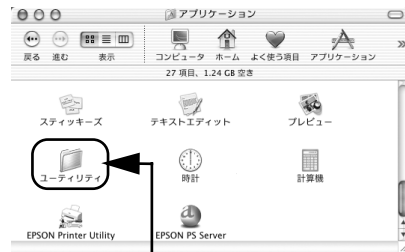
EPSON PS Server を起動することはありません。プリントサーバ側で起動した EPSON PS Server をプリンタとして認識して、通常の方法で [プリントセンター] から選択できるようになります。そのまま次の ⑩ へ進んでください。



ポイント

ネットワーク環境のクライアントでこれ以降のステップに進めない場合は、プリントサーバコンピュータの EPSON PS Server が起動していないか、接続ケーブルが途切れています。EPSON PS Server の起動とケーブルの接続を確認してください。

- ⑩ [アプリケーション] フォルダにある [ユーティリティ] フォルダをダブルクリックします。



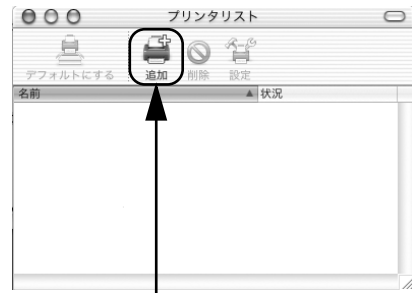
ダブルクリックします

- ⑪ [プリントセンター] をダブルクリックします。



ダブルクリックします

- 12 以下のどちらかの画面が表示されます。どちらの場合も [追加] ボタンをクリックします。



クリックします



クリックします

- 13 次の画面が表示されます。画面の上にあるリストをクリックし、[AppleTalk] を選択します。



リストをクリックして [AppleTalk] をクリックします

- 14 [PSserver_XX-xxxx] を選択して、[追加] ボタンをクリックします。

AppleTalk ゾーンを設定している場合は、EPSON PS Server を接続しているゾーンを最初にご選択してください。プリンタリストに選択したプリンタ名が追加されます。

* プリンタの機種名が表示されます。



②クリックします

①選択して

- 15 [プリントセンター] メニューから [プリントセンターを終了] を選択して、プリントセンターを閉じます。



ポイント

プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、プリントセンターで [PSserver_XX-xxxx] を選択し、[削除] をクリックしていったん削除します。次に [追加] をクリックしてもう一度 [PSserver_XX-xxxx] を追加してください。

* プリンタの機種名が表示されます。

Rendezvous の場合

クライアントとサーバのコンピュータの OS がともに Mac OS X の場合、Rendezvous を使用してサーバに接続しているプリンタに印刷できます。ここでは、クライアント側のコンピュータでの設定について説明します。

サーバ側のコンピュータでは EPSON PS Server を起動しておいてください。

また、EPSON PS Server の [環境設定] ダイアログの [LPR] タブで、[LPR] と [Rendezvous] を設定しておいてください。

📖 本書 115 ページ「[LPR] タブ」



スタンドアロン環境では Rendezvous を使用できません。

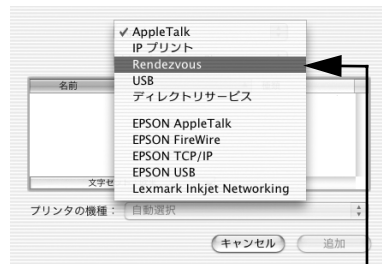
ポイント

1 「AppleTalk の場合」の ⑩～⑫ を実行します。

プリントセンターが起動し、プリンタ追加の画面が表示されます。

📖 本書 66 ページ「AppleTalk の場合」

2 画面の上にあるリストをクリックし、[Rendezvous] を選択します。

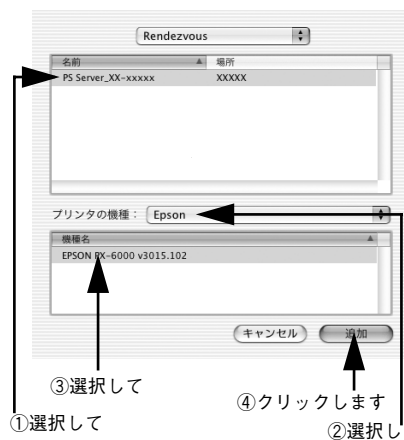


リストをクリックして [Rendezvous] をクリックします

3 [PSserver_XX-xxxxx] を選択し、[プリンタの機種] で [Epson] を選択し、[機種名] で使用するプリンタ名を選択して、[追加] ボタンをクリックします。

プリンタリストに選択したプリンタ名が追加されます。

* プリンタの機種名が表示されます。



<例>画面は PX-6000/6000S の場合

- 4 [プリントセンター] メニューから [プリントセンターを終了] を選択して、プリントセンターを閉じます。



ポイント

プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、プリントセンターで [PSserver_XX-xxxx] を選択し、[削除] をクリックしていったん削除します。次に [追加] をクリックしてもう一度 [PSserver_XX-xxxx] を追加してください。

* プリンタの機種名が表示されます。

TCP/IP (LPR) の場合

ここでは、TCP/IP (LPR) を使用してサーバに接続しているプリンタに印刷する場合の、クライアント側のコンピュータでの設定について説明します。

サーバ側のコンピュータでは EPSON PS Server を起動しておいてください。

🔗 Mac OS 8/9：本書 2 ページ「AppleTalk の場合」

🔗 Mac OS X：本書 66 ページ「AppleTalk の場合」

🔗 Windows：本書 128 ページ「プリンタ共有 (SMB) の場合」



ポイント

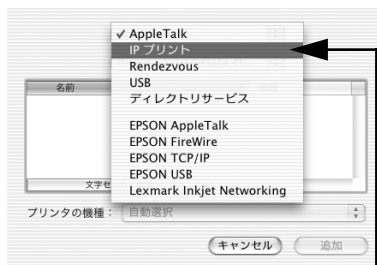
- Mac OS X サーバーに接続しているプリンタに印刷する場合は、サーバの EPSON PS Server で、[環境設定] ダイアログの [LPR] タブの [LPR] チェックボックスをチェックしておいてください。
🔗 本書 115 ページ「[LPR] タブ」
- Mac OS X のスタンドアローン環境では、プロトコルは TCP/IP (LPR) を推奨します。この場合のプリンタの IP アドレスは、EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューで [環境設定] を選択し、表示される画面の [LPR] タブを選択して表示される IP アドレスを使用してください。

1 「AppleTalk の場合」の 10 ～ 12 を実行します。

プリントセンターが起動し、プリンタ追加の画面が表示されます。

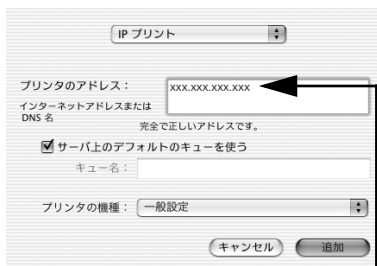
🔗 本書 66 ページ「AppleTalk の場合」

2 画面の上にあるリストをクリックし、[IP プリント] を選択します。



リストをクリックして [IP プリント] をクリックします

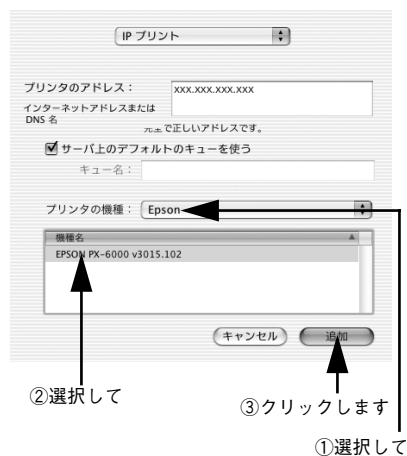
3 [プリンタのアドレス] にプリントサーバの IP アドレスを入力します。



入力します

4 [プリンタの機種] で [Epson] を選択し、[機種名] で使用するプリンタ名を選択して、[追加] ボタンをクリックします。

- プリンタ名は以下のように異なります。
PM-4000PX : [EPSON PM-4000PX v3015.102]
PX-7000 : [EPSON PX-7000 v3015.102]
PX-9000 : [EPSON PX-9000 v3015.102]
PX-6000/6000S : [EPSON PX-6000 v3015.102]
- プリンタリストにIPアドレスが追加されます。



<例>画面は PX-6000/6000S の場合

5 [プリントセンター] メニューから [プリントセンターを終了] を選択して、プリントセンターを閉じます。



ポイント

- プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、プリントセンターのプリンタリストの中から、使用するプリンタを選択した状態で、メニューバーの [プリンタ] から [情報を見る] を選択します。表示される [プリンタ情報] で [インストール可能なオプション] を表示し、インクカートリッジの変更を行います。
- ネットワークに接続せずに EPSON PS Server を起動するとエラーが発生しますが、IP プリントで使用すれば印刷できます。

印刷の手順

起動している EPSON PS Server がプリントセンターで追加されていれば、印刷できます。ここでは、Macintosh アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。



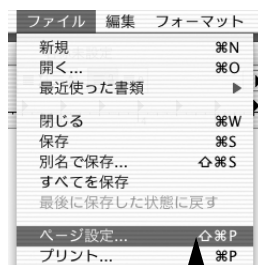
ポイント

- アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 用紙設定をする前に、使用する EPSON PS Server を [プリントセンター] で追加してください。
📖 本書 66 ページ「EPSON PS Server の選択と設定」

1 アプリケーションソフトを起動します。

2 [ファイル] メニューから [用紙設定] を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[プリンタの設定] など）。



選択します

3 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。

📖 本書 77 ページ「[用紙設定] ダイアログ」



4 [OK] ボタンをクリックして終了します。

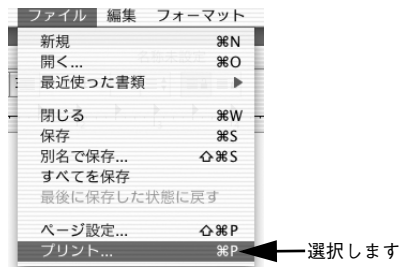
この後、印刷データを作成します。次へ進んでください。

印刷設定の手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は以下のダイアログボックスで設定します。

1 [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[印刷] など）。



2 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。

📖 本書 80 ページ「[プリント] ダイアログ」



ポイント

- CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用したり、フチなし印刷を行うなどプリンタ固有の機能を利用するには、[印刷設定] ダイアログで設定してください。
📖 84 ページ「[印刷設定] ダイアログ」
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

3 [プリント] ボタンをクリックして、印刷を実行します。

プリンタドライバの設定項目について

[用紙設定] ダイアログ

[用紙設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



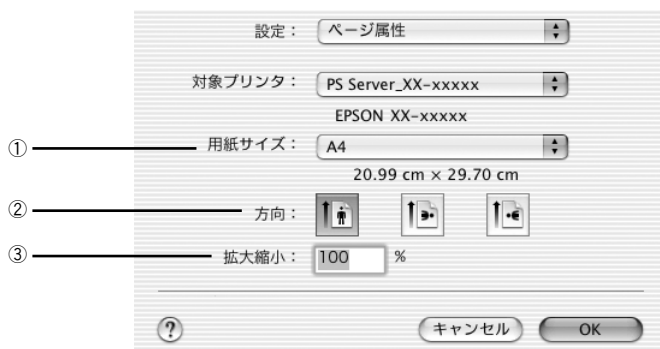
① 設定

ポップアップメニューから設定画面を選択すると、以下の機能が設定できます。

② 対象プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数台ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択します。

[ページ属性] ダイアログ



① 用紙サイズ

ポップアップメニューから印刷する用紙サイズを選択します。選択できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。使用可能な用紙サイズと印刷可能領域については、お使いのプリンタの取扱説明書をお読みください。



ポイント

- カスタム用紙サイズを作成して選択することができます。
[本書 78 ページ](#)「[カスタム用紙サイズ] ダイアログ」
- PX-6000/6000S でフチなし印刷を行う場合は、[xxx (フチなし)] を選択してください (xxx は用紙サイズ)。詳しくは、以下のページをお読みください。
[本書 105 ページ](#)「フチなし印刷を行うには」

② 方向

印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するかアイコンをクリックして選択します。

③ 拡大縮小

25%～400%の範囲で拡大または縮小して印刷できます。数値を直接入力して設定します。



ポイント

1～999の数値を入力できますが、実際には25%～400%の範囲でのみ拡大または縮小します。

【カスタム用紙サイズ】ダイアログ

設定: カスタム用紙サイズ

新規
複製
削除
保存

用紙サイズ プリンタの余白

長さ: cm 上: cm

幅: cm 左: cm 右: cm

下: cm

? キャンセル OK

【新規】ボタンをクリックし、用紙サイズ名を入力して、カスタム用紙サイズを作成できます。

- 【用紙サイズ】と【プリンタの余白】の各項目に数値を入力し、【保存】ボタンをクリックして登録します。
- 登録したカスタム用紙サイズを削除するには、用紙サイズ名をリストから選択して【削除】ボタンをクリックします。
- 用紙サイズ名をリストから選択して【複製】をクリックすると、「xxxのコピー」という用紙サイズ名で、【用紙サイズ】と【プリンタの余白】の設定が同じ用紙サイズが追加されます。



ポイント

- 作成したカスタム用紙サイズは、【ページ属性】ダイアログの【用紙サイズ】から選択できます。
- プリンタに付属のユーティリティで作成した用紙情報をカスタム用紙として登録できます。
- 本製品で印刷可能な用紙の長さの最大値は次のとおりです。
PM-4000PX : 6m
PX-7000/9000 : 11m
PX-6000/6000S : 15m
上記より大きい値を指定することはできませんが、実際には上記の長さまでの印刷となります。

フチなし印刷に関するご注意（PM-4000PX、PX-7000/9000 のみ）


PM-4000PX または PX-7000/9000 を使用して本製品でフチなし印刷を行うには、使用する用紙サイズの縦 / 横それぞれ 0.6cm（上下左右各辺 0.3cm）大きな用紙サイズを [カスタム用紙サイズ] ダイアログで作成して、[ページ属性] ダイアログの [用紙] で選択してください。

📖 本書 77 ページ「[ページ属性] ダイアログ」

<例> A4（21.0 × 29.7cm）サイズの用紙にフチなし印刷を行う場合（単位 cm）

用紙サイズ名	用紙サイズ*		余白（左右上下）*
A4 フチなし	幅：21.6cm	高さ：30.3cm	0cm

* [保存] ボタンをクリックすると、入力した数値は設定できる近似値に自動的に変わる場合があります。

 ポイント	<ul style="list-style-type: none">● 用紙サイズ名は、フチなし印刷用サイズであることがわかる名前を付けることをお勧めします。● フチなし印刷用のカスタム用紙サイズを作成する場合、[余白]（上下左右）を必ず 0 cm（0 インチ）に設定してください。● フチなし印刷を行う印刷データは、使用するカスタム用紙サイズいっばいにアプリケーションソフトで作成してください。
---	--

フチなし印刷に使用するカスタム用紙サイズを作成して選択しないと、フチなし印刷は行えません。フチなし印刷で使用できる用紙種類とインクの組み合わせや、フチなし印刷の手順については、以下のページをお読みください。

📖 本書 105 ページ「フチなし印刷を行うには」

[プリント] ダイアログ

[プリント] ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。ダイアログ左上の [印刷設定] メニューから設定画面を選択すると、プリンタの各種機能が設定できます。



① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択することができます。

② プリセット

[プリセット] のポップアップメニューから [保存] または [別名で保存] を選択して、[プリント] ダイアログの設定を保存できます。保存した設定名は、[プリセット] のポップアップメニューから選択できます。

また、[名称変更] を選択すると設定名を変更でき、[削除] を選択すると設定を削除できます。



「標準」の設定を選択している場合は、[保存]、[名称変更]、[削除] は選択できません。

③ 印刷設定メニュー

印刷に関する各種機能の設定が実行できます。ポップアップメニューから選択してください。各設定項目については、次ページ以降をお読みください。

[印刷部数と印刷ページ] ダイアログ



① 部数

印刷する部数を設定します。直接数値を入力して設定します。設定可能な部数はOSの仕様に準じます。EPSON PS Server の [環境設定] の [一般] ダイアログで [ラスタースプールモード] を有効にすると、高速に印刷することができます。

📖 本書 113 ページ「環境設定」

② 丁合い

①の部数で指定した部単位でまとめて印刷する場合にチェックします。ただし、スタンドアローン環境では本機能は使用できません。

③ ページ

印刷するページの範囲を設定します。

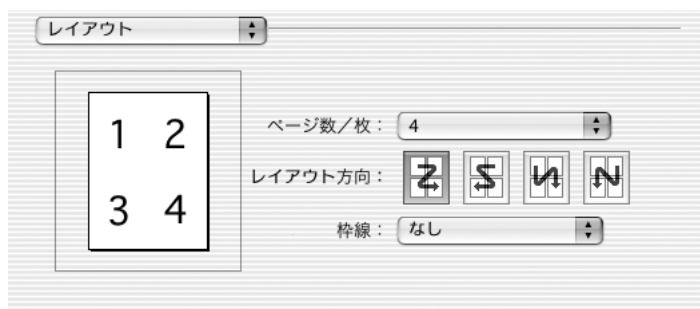
【レイアウト】 ダイアログ



① ページ / 枚

- 分割印刷や割付印刷を行わない場合は、[1] を選択します。
- 大きな用紙サイズを複数のページに分けて分割印刷するには、分割ページ数をメニューから選択します。スタンドアローン環境では本機能は使用できません。ただし、印刷データを一旦ファイルとして保存した場合は、スタンドアローン環境でも本機能をご利用いただけます。





分割印刷をする場合



- 連続した印刷データを1枚の用紙に割り付けて印刷するには、割付ページ数をメニューから選択します。

② レイアウト方向

割り付け印刷を行う場合、ページを並べる順番をアイコンをクリックして選択できます。

設定	機能
	ページを左上→右上→左下→右下の順に並べます。
	ページを右上→左上→右下→左下の順に並べます。
	ページを左上→左下→右上→右下の順に並べます。
	ページを右上→右下→左上→左下の順に並べます。

③ 枠線

割り付けた印刷データの周りに枠線を描くかどうかを選択できます。ポップアップメニューから枠線の種類も選択できます。

[印刷設定] ダイアログの [一般設定] タブの [枠線描画] (PX-7000/9000) や [枠線印刷] (PX-6000/6000S) とは異なり、印刷領域内に枠線を描きます。

【出力オプション】 ダイアログ



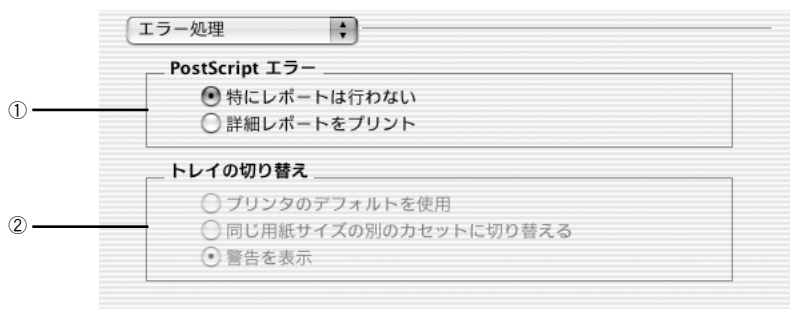
① ファイルとして保存

印刷データを、PDF ファイルまたは PostScript ファイルに保存するときにチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、[プリント] ダイアログの [プリント] ボタンが [保存] ボタンに切り替わります。

② フォーマット

[ファイルとして保存] にチェックマークを付けたときに有効になります。保存時のファイル形式を、[PDF] または [PostScript] から選択します。

【エラー処理】 ダイアログ



① Post Script エラー

PostScript エラーが発生した場合に報告するかどうかを選択します。

設定	機能
特にレポートは行わない	PostScript エラーが発生しても報告しません。
詳細レポートをプリント	PostScript エラーが発生した場合、エラーの詳細をプリンタで印刷します。

② トレイの切り替え

本製品では設定できません。

【給紙】ダイアログ



印刷する用紙がセットされた給紙装置に合わせて選択します。

【自動選択】を選択した場合、EPSON PS Server の【プリンタ初期設定】ダイアログの【給紙装置】で設定した給紙装置から給紙して印刷します。

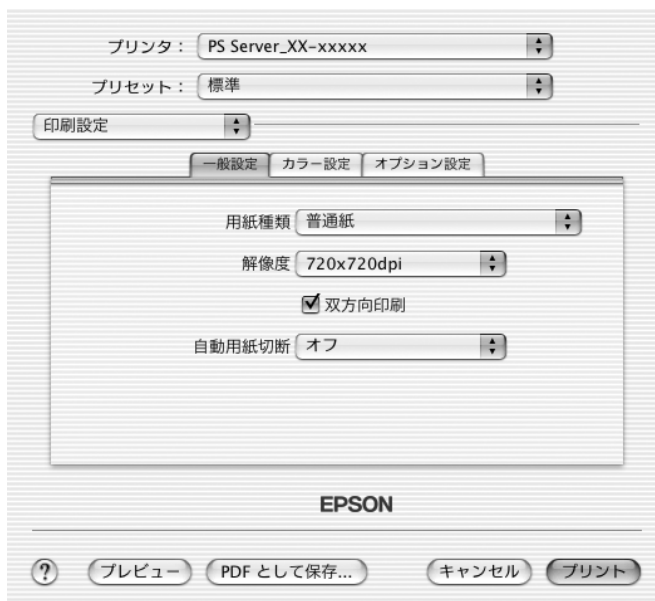
📖 本書 116 ページ「プリンタ初期設定」

通常は【全体】を選択して、すべてのページで同じ給紙装置を使用します。

【印刷設定】ダイアログ

【印刷設定】ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。プリンタの機種によって、設定できる機能や設定の選択肢が異なります。

PM-4000PX の印刷設定



以下の表でアスタリスク（* 印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。



[一般設定] タブ

設定	機能	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • 選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があります。[印刷品質] タブで設定されている [解像度] では使用できない用紙は  で表示されます。 • 以下のブラック系インクの組み合わせ（左端スロット+左から2番目のスロット）で印刷してください。 	
	普通紙	<ul style="list-style-type: none"> • 選択可能な解像度 360x360dpi、720x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	スーパーファイン専用紙 2	<ul style="list-style-type: none"> • 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC マット紙	
	MC 画材用紙	
	PM/MC 写真用紙（半光沢）	<ul style="list-style-type: none"> • 選択可能な解像度 1440x720dpi、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC 光沢紙	<ul style="list-style-type: none"> • 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
PX プルーフ用紙（微光沢）	<ul style="list-style-type: none"> • 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi、2880x1440dpi • 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー 	
解像度	プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があり、利用できない [用紙種類] が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、上記の [用紙種類] でご確認ください。	
	360x360dpi	解像度を 360x360dpi に設定します。
	720x720dpi*	解像度を 720x720dpi に設定します。
	1440x720dpi	解像度を 1440x720dpi に設定します。
	2880x1440dpi	解像度を 2880x1440dpi に設定します。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン（チェックあり）*	双方向印刷を行います。
	オフ（チェックなし）	双方向印刷を行いません。
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オン（チェックあり）	オプションのロール紙オートカッターを使って、1ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	オフ（チェックなし）*	印刷したページを自動的にカットしません。市販のカッターなどを使って切り離してください。

[カラー設定] タブ

設定	機能	
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー*	カラーで印刷します。
	黒	モノクロ（白黒）で印刷します。 ※グレイインクは使用されません。
グレースケール制御	ブラックのテキストや画像をブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。	
	テキストのみ*	テキストやイラストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4色のブラックで出力されます。
	画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストやイラストは、CMYK4色のブラックで出力されます。
	すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
	オフ	ブラックはCMYK4色のブラックで出力されます。
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 📖 本書 101 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC*	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義したCMYK 印刷色
	RGB シミュレーション	RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。 📖 本書 101 ページ「カラーシミュレーション機能について」
オフ		シミュレーションしません。
Adobe RGB		Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB*		Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB		CIE RGB 色
ColorMatch RGB		ColorMatch RGB 色
NTSC		NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL_SECAM		PAL/SECAM方式のカラーモニタ色
SMPTE		SMPTE 色
sRGB		sRGB 色
Wide RGB		Wide RGB 色
カスタム		PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義したRGB 色

[詳細設定] タブ

設定	機能	
フチなし	単票紙の場合は四辺フチなし、ロール紙の場合は左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。なお、カスタム用紙サイズを選択しないと設定できません。  本書 78 ページ「[カスタム用紙サイズ] ダイアログ」  本書 105 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン (チェックあり)	フチなし印刷を行います。
	オフ (チェックなし)*	フチなし印刷を行いません。



ポイント

プリンタのブラック系インクの組み合わせを変更した場合、EPSON PS Server が起動している状態で、プリントセンターのプリンタリストの中から、使用するプリンタを選択した状態で、メニューバーの [プリンタ] から [情報を見る] を選択します。表示される [プリンタ情報] で [インストール可能なオプション] を表示し、インクカートリッジの変更を行います。
 * プリンタの機種名が表示されます。

PX-7000/9000 の印刷設定



以下の表でアスタリスク（* 印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。



[一般設定] タブ

設定	機能
用紙種類	<p>使用する用紙の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があります。[一般設定] タブで設定されている [解像度] では使用できない用紙は ▲ で表示されます。なお、*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせについては、後述の [スーパーマイクロフィブ] の説明をお読みください。 以下のブラック系インクの組み合わせ（左端スロット+左から2番目のスロット）で印刷してください。
普通紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi、720x360dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
MC 厚手マット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
MC 光沢紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー

設定	機能	
用紙種類 (続き)	MC 写真用紙 [光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC 写真用紙 [半光沢]	
	MC フォトスタンダード紙 [光沢]	
	MC フォトスタンダード紙 [半光沢]	
	PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC 画材用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー
	PX_MC コットン画材用紙	
	光沢フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC バックライトフィルム	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC マット合成紙2	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi*1、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	MC マット合成紙2 [のり付き]	
	MC_PM クロス [防災]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x360dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	MC マット塩ビ [のり付き]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi*1、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	PX_MX プレミアムマット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー
	PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]		

設定	機能	
用紙種類 (続き)	マットボード紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x360dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	PX ブルーフ用紙 [微光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	予約 1	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	予約 2	
解像度	プリンタの解像度 (横×縦) を選択します。選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があり、利用できない [用紙種類] が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、[用紙種類] でご確認ください。	
	360x360dpi*	解像度を 360x360dpi に設定します。
	360x720dpi	解像度を 360x720dpi に設定します。
	720x360dpi	解像度を 720x360dpi に設定します。
	720x720dpi	解像度を 720x720dpi に設定します。
	1440x720dpi	解像度を 1440x720dpi に設定します。
	2880x1440dpi	解像度を 2880x1440dpi に設定します。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン (チェックあり)*	双方向印刷を行います。
	オフ (チェックなし)	双方向印刷を行いません。
自動回転	縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに [オン] を選択してください。	
	オン [xxx]	自動回転します。[xxx] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
	オフ*	自動回転しません。
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オン (チェックあり)	1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	オフ (チェックなし)*	印刷したページを自動的にカットしません。オプションのカッターユニットや市販のカッターなどを使って切り離してください。
枠線印刷	ページの右端と下端に切り取り線 (実線) を印刷します。ただし、[自動用紙切断] がオンの場合は、下端の切り取り線は印刷されません。	
	オン (チェックあり)	切り取り線を印刷します。
	オフ (チェックなし)*	切り取り線を印刷しません。

[カラー設定] タブ

設定	機能	
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー*	カラーで印刷します。
	黒	モノクロ（白黒）で印刷します。 ※グレーインクは使用されません。
グレースケール制御	ブラックのテキストや画像をブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。	
	テキストのみ*	テキストやイラストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4色のブラックで出力されます。
	画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストやイラストは、CMYK4色のブラックで出力されます。
	すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
	オフ	ブラックはCMYK4色のブラックで出力されます。
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。  本書 101 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC*	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色
	RGB シミュレーション	RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。  本書 101 ページ「カラーシミュレーション機能について」
オフ		シミュレーションしません。
Adobe RGB		Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB*		Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB		CIE RGB 色
ColorMatch RGB		ColorMatch RGB 色
NTSC		NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL_SECAM		PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE		SMPTE 色
sRGB		sRGB 色
Wide RGB		Wide RGB 色
カスタム		PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

[オプション設定] タブ

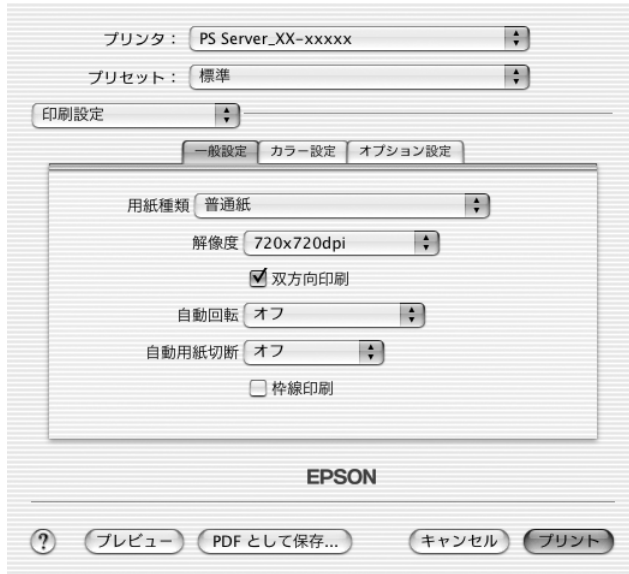
設定	機能	
スーパーマイクロ ウィーブ	<ul style="list-style-type: none"> 行ごとのムラを最小限に抑えたい場合に機能をオンに設定します。ただし、印刷時間が長くなります。通常はオフに設定して印刷してください。オフのまま印刷ムラが目立つ場合に限り、オンに設定すると印刷ムラが発生しない場合があります。 前述の [用紙種類] に*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせは、[スーパーマイクロウィーブ] のオン / オフによって、印刷結果が変化します。 	
	オン (チェックあり)	スーパーマイクロウィーブ印刷を行います。
	オフ (チェックなし)*	スーパーマイクロウィーブ印刷を行いません。
フチなし	左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。なお、カスタム用紙サイズを選択しないと設定できません。 ☞ 本書 78 ページ「[カスタム用紙サイズ] ダイアログ」 ☞ 本書 105 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン (チェックあり)	フチなし印刷を行います。
	オフ (チェックなし)*	フチなし印刷を行いません。



ポイント

プリンタのブラック系インクの組み合わせを変更した場合、EPSON PS Server が起動している状態で、プリントセンターのプリンタリストの中から、使用するプリンタを選択した状態で、メニューバーの [プリンタ] から [情報を見る] を選択します。表示される [プリンタ情報] で [インストール可能なオプション] を表示し、インクカートリッジの変更を行います。
 * プリンタの機種名が表示されます。

PX-6000/6000S の印刷設定



以下の表でアスタリスク（* 印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。

[一般設定] タブ

設定	機能
用紙種類	<p>使用する用紙の種類を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があります。[印刷品質] タブで設定されている [解像度] では使用できない用紙は ▲ で表示されます。なお、*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせについては、後述の [スーパーマイクロフィード] の説明をお読みください。 以下のインクの組み合わせで印刷してください。
EPSON スーパーファイン紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
PX マット紙 [薄手]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
フォトマット紙：顔料	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
PX_MC プレミアムマット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
EPSON 写真用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1、2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
EPSON 写真用紙 [絹目調]	

設定	機能	
用紙種類 (続き)	PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、 1440 × 720dpi*¹、2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
	PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	
	PX_MC 写真用紙 [厚手 半光 沢]	
	PX_MC 写真用紙 [厚手 微光 沢]	
	PX ブルーフ用紙 [微光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*¹、 2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
	EPSON 画材用紙：顔料	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*¹ 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	PX_MC コットン画材用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*¹ 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
	MC マット合成紙2	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	普通紙*	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、720 × 360dpi、720 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	予約 1	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*¹、 2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
予約 2		
予約 3	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*¹ 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード 	
予約 4		
解像度	選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があります。[用紙設定] タブで設定されている [用紙種類] では使用できない解像度は  で表示されます。	
	360 × 360dp	解像度を 360 × 360dpi に設定します。
	360 × 720dpi	解像度を 360 × 720dpi に設定します。
	720 × 360dpi	解像度を 720 × 360dpi に設定します。
	720 × 720dpi *	解像度を 720 × 720dpi に設定します。
	1440 × 720dpi	解像度を 1440 × 720dpi に設定します。
	2880 × 1440dpi	解像度を 2880 × 1440dpi に設定します。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン (チェックあり)*	双方向印刷を行います。
	オフ (チェックなし)	双方向印刷を行いません。



設定	機能	
自動回転	縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに [オン] を選択してください。	
	オン [xxx]	自動回転します。[xxx] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
	オフ*	自動回転しません。
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オフ*	印刷したページを自動的にカットしません。市販のカッターなどを使って切り離してください。
	1 カット	画像と画像の境界 (ページとページの境界) をカットします。 ただし、カット位置が微妙にズれる場合があります。
2 カット	[用紙設定] ダイアログの [ページ属性] ダイアログで [用紙] を [xxx (フチなし)] (xxx は用紙サイズ) に設定し、複数部数または複数ページ印刷時のみ有効です。 [1 カット] を選択して、カット位置の微妙なズレが気になる場合に選択します。 画像と画像の間を空けて印刷し、その前後 2 箇所をカットします。 なお、2 箇所カットすることによって、80 ~ 130mm 程度の切れ端が発生します。切れ端の長さは用紙の種類によって異なります。 📖 本書 185 ページ「[2 カット] でのロール紙の切れ端の長さについて (PX-6000/6000S)」	
枠線印刷	ページの右端と下端に切り取り線 (実線) を印刷します。ただし、[自動用紙切断] が [1 カット] または [2 カット] の場合は、下端の切り取り線は印刷されません。	
	オン (チェックあり)	切り取り線を印刷します。
	オフ (チェックなし)*	切り取り線を印刷しません。

[カラー設定] タブ

設定	機能	
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー*	カラーで印刷します。
	グレースケール	グレースケール (階調) で印刷します。 ※グレーインクは使用されません。
グレースケール制御	ブラックやグレーのテキストや画像を、ブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。	
	テキストのみ*	テキストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK 4 色のブラックで出力されます。
	画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストは、CMYK 4 色のブラックで出力されます。
	すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
	オフ	ブラックは CMYK 4 色のブラックで出力されます。

設定	機能	
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 📖 本書 101 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC*	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色
RGB シミュレーション	RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。 📖 本書 101 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB*	Apple 社が定義する RGB 色
	CIE RGB	CIE RGB 色
	ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
	NTSC	NTSC 方式のカラーモニター色
	PAL_SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニター色
	SMPTE	SMPTE 色
	sRGB	sRGB 色
	Wide RGB	Wide RGB 色
	カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色
レンダリングインテント	出力装置が再現できる色には限界があるため、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の属性を調整する必要があります。その属性に付けられる優先順位です。本設定は、RGB シミュレーションのみに機能します。	
	知覚的	見栄えを重視して色を再現します。
	相対的な色域を維持*	光源と媒体の白色点（用紙の地色）を組み合わせ、色を再現します。
	彩度	彩度を保持または強調して色を再現します。
	絶対的な色域を維持	光源だけで色を再現する。紙の地色のような白色点は補正されません。

[オプション設定] タブ

設定	機能	
スーパーマイクロウィーブ	<ul style="list-style-type: none"> 行ごとのムラを最小限に抑えたい場合に機能をオンに設定します。ただし、印刷時間が長くなります。通常はオフに設定して印刷してください。オフのまま印刷ムラが目立つ場合に限り、オンに設定すると印刷ムラが発生しない場合があります。 前述の[用紙種類]に*1で示す[用紙種類]と[解像度]の組み合わせは、[スーパーマイクロウィーブ]のオン/オフによって、印刷結果が変化します。 	
	オン (チェックあり)	スーパーマイクロウィーブ印刷を行います。
	オフ (チェックなし)*	スーパーマイクロウィーブ印刷を行いません。
フチなし印刷	左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。[用紙設定] ダイアログの [ページ属性] ダイアログで [用紙] を [xxx (フチなし)] に設定した場合のみ、設定できます (xxx は用紙サイズ)。  本書 78 ページ「[カスタム用紙サイズ] ダイアログ」  本書 105 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン (チェックあり)	フチなし印刷を行います。
	オフ (チェックなし)*	フチなし印刷を行いません。



ポイント

プリンタのブラック系インクの組み合わせを変更した場合、EPSON PS Server が起動している状態で、プリントセンターのプリンタリストの中から、使用するプリンタを選択した状態で、メニューバーの [プリンタ] から [情報を見る] を選択します。表示される [プリンタ情報] で [インストール可能なオプション] を表示し、インクカートリッジの変更を行います。
 * プリンタの機種名が表示されます。

その他の印刷方法

通常の印刷方法とは異なるさまざまな印刷方法について説明します。



ポイント

以下のファイルは、アプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

- PostScript
- PDF Ver. 1.3 (Mac OS 8/9)、PDF Ver. 1.4 (Mac OS X、Windows 2000/XP)
- TIFF 条件、制限：
 - ・ベースラインに準拠。
 - ・カラー：YcbCr/ マルチページ / α チャンネルは非サポート。
- JPEG 条件、制限：
 - ・ベースライン形式をサポート。
 - ・プログレッシブ形式の圧縮等は非サポート。
 - ・1ピクセル=1ポイントで描画。

- EPS

直接印刷については、以下のページをお読みください。

本書 112 ページ「ファイルの直接印刷」

ファイルへの出力

AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PDF (Portable Document Format) ファイルまたは PS (PostScript) ファイルとして保存することができます。



ポイント

- PDFファイルやPSファイルは、その元ファイルを作成したアプリケーションソフトがなくても印刷できます。以下のページをお読みください。

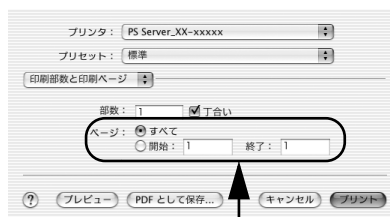
本書 99 ページ「ドラッグ&ドロップによる印刷」

本書 112 ページ「ファイルの直接印刷」

- Adobe® Acrobat® Distillerというアプリケーションソフトを使うと、PSファイルからPDFファイルを生成することができます。

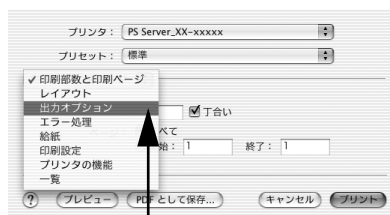
1 [ファイル] メニューから [プリント] (または [印刷]) を選択します。

2 [印刷部数と印刷ページ] ダイアログで、保存する範囲を設定します。



保存するページ範囲を選択します

3 ポップアップメニューから [出力オプション] をクリックします。

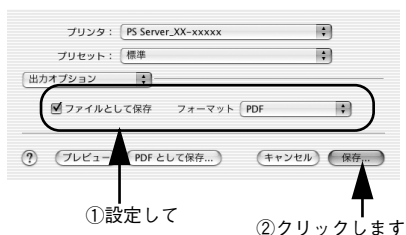


クリックします

- 4 各項目を設定し、[保存] ボタンをクリックします。

各項目の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 83 ページ「[出力オプション] ダイアログ」



- 5 保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。



ドラッグ&ドロップによる印刷

EPSON PS Server をインストールしてある Macintosh であれば、ファイルへ出力した印刷ファイルを [EPSON PS Server] アイコンに重ね合わせて (ドラッグ&ドロップ) 印刷できます。また、アプリケーションソフトによってはドラッグ&ドロップで印刷できる PostScript/EPS ファイルを作成できる場合があります。

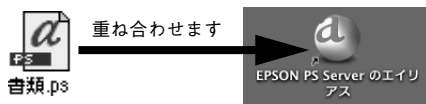


ポイント

- EPSON PS Server のエイリアスを作成してデスクトップに置くと、簡単にドラッグ&ドロップして印刷できるので便利です。
- 通常の印刷より速く処理を終えて印刷を始められます。

- 1 印刷したいファイルをクリックして反転表示させます。
- 2 EPSON PS Server (またはそのエイリアス) にファイルをドラッグ&ドロップします。
選択したファイルをクリックしたまま、マウスを操作して EPSON PS Server のアイコン (またはエイリアス) の上に重ね合わせ、アイコンが反転表示したらマウスボタンを離します。EPSON PS Server はドロップしたファイルを読み込んで印刷を始めます。

<例：EPSON PS Server のエイリアスにドラッグ&ドロップする場合>




ポイント

- [プリント] ダイアログは表示されません。読み込んだファイルは EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] で設定した印刷条件に従って印刷されます。なお、ファイル出力時や PostScript/EPS ファイル作成時に [用紙設定] や [プリント] ダイアログの設定を行っている場合は、それらの設定が EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] より優先されます。
本書 116 ページ「プリンタ初期設定」
- ファイルをドラッグ&ドロップしても EPSON PS Server が反転表示しない場合は、デスクトップの更新を実行してください。

【ファイル】メニューから印刷

EPSON PS Server の [ファイル] メニューから [開く] を選択し、印刷したいファイルを直接開いて印刷することができます。

印刷できるファイル形式と印刷方法については、以下のページを参照してください。

 本書 112 ページ「ファイルの直接印刷」

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは

CMYK シミュレーション

ほとんどの PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版 (PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード > など) は、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色 (CMYK カラー) を再現 (シミュレーション) することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ (Eurostandard) の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー)
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 📖 本書 119 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB シミュレーション

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト (Photoshop < RGB カラーモード >) は、モニタで使用する RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB シミュレーション機能を使用することにより、使用するモニタの色 (RGB カラー) を再現 (シミュレーション) することができます。本製品でシミュレーションできる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色 📖 本書 119 ページ「カラーマネージャ設定」



ポイント

本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、相関色温度 5,000K の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。
📖 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」
- この機能を使用するためには ColorSync (Ver. 2.5 以上) がシステムにインストールされている必要があります。

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。



ポイント

印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1 [プリントセンター] で EPSON PS Server を追加します。

本書 66 ページ「EPSON PS Server の選択と設定」

2 印刷するファイルを作成します。

- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。



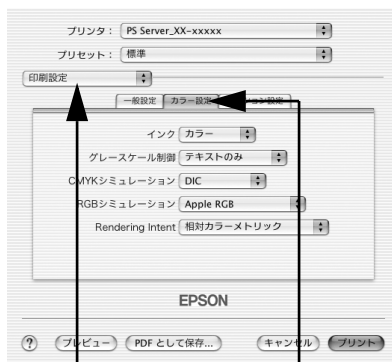
ポイント

Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

3 [プリント] ダイアログを開きます。

本書 76 ページ「印刷設定の手順」

4 [プリント] ダイアログのポップアップメニューから [印刷設定] を選択し、[カラー設定] タブをクリックします。



① 選択して

② 選択します

プリンタの機種によって画面は異なります

5 [インク] で [カラー] を選択します。

[黒] または [グレースケール] を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。

6 [CMYK シミュレーション] で、シミュレーションの対象となる印刷機色のプロファイルを選択します。

- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC (初期設定)	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ(Eurostandard) の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー) をシミュレーションするプロファイルです。
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 📖 本書 119 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB (初期設定)	Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色をシミュレーションします。 📖 本書 119 ページ「カラーマネージャ設定」



ポイント

- CMYK/RGB どちらのシミュレーションも行わない場合は(プリンタ本来の色で印刷する場合は)、[オフ] を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず [オフ] を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2 重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
📖 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」
- カスタムプロファイルを EPSON PS Server に登録する方法については、以下のページをお読みください。
📖 本書 119 ページ「カラーマネージャ設定」

7 [プリント] をクリックして印刷を実行します。

フチなし印刷を行うには

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても用紙の四辺に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができません。本機のフチなし印刷機能を使用すると、用紙の四辺または左右にフチ（余白）のない印刷が可能になります。操作の手順は以下のページをお読みください。

📖 本書 108 ページ「フチなし印刷の手順」

フチなし印刷が可能な用紙とサイズ

本製品でフチなし印刷が可能な用紙とサイズは、お使いのプリンタの機種によって異なります。使用する用紙の種類に合わせて [用紙種類] を設定し、サイズに合わせて [用紙] でカスタム用紙サイズ* (PM-4000PX、PX-7000/9000) または [xxx (フチなし)] (PX-6000/6000S) を選択してください (xxx は用紙サイズ)。

* カスタム用紙サイズは、[用紙設定] ダイアログの [カスタムページ設定] ダイアログで作成します。



ポイント

- 以下のエプソン純正専用紙をお使いいただくことをお勧めします。下記以外の組み合わせでは、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- 市販の用紙をお使いいただく場合、対応する [用紙種類] の設定については、用紙の取扱説明書をお読みください（不明な場合は、用紙メーカーにお問い合わせください）。用紙によっては、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。試し印刷することをお勧めします。

PM-4000PX：定形紙（四辺フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
MC マット紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	MC マット紙	カスタム用紙サイズ • 幅、高さとも： 用紙サイズ + 0.6cm • 余白：0cm
PM/MC 写真用紙 <半光沢> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	MC 写真用紙	
PM 写真用紙 <半光沢> L 判 (89 × 127mm)、2L 判 (127 × 178mm)	MC 写真用紙	
PM マットハガキ ハガキ (100 × 148mm)	MC マット紙	
官製ハガキ ハガキ (100 × 148mm)	普通紙	
市販の定形紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)、ハガキ (100 × 148mm)、L 判 (89 × 127mm)、2L 判 (127 × 178mm)	対応する [用紙種類] を選択	

PM-4000PX：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
PM/MC 写真用紙ロールタイプ<半光沢> L判 (89mm)、ハガキ (100m)、A4 (210mm)、 A3 ノビ (329mm)	MC 写真用紙	カスタム用紙サイズ <ul style="list-style-type: none"> 幅：ロール紙幅+0.6cm 高さ：任意のサイズ 余白：0cm
PM 写真用紙ロールタイプ<半光沢> 2L判 (127mm)	MC 写真用紙	
MC マット紙ロールタイプ L判 (89mm)、ハガキ (100m)	MC マット紙	
市販のロール紙 L判 (89mm)、ハガキ (100m)、2L判 (127mm)、 A4 (210mm)、A3 ノビ (329mm)	対応する [用紙種類] を選択	

PX-7000/9000：単票紙（左右フチなし）の場合

単票紙は A4 サイズのみ、左右のみフチなし印刷が可能です（上下はフチなし印刷できません）。

用紙名 / A4 サイズ	用紙種類	用紙
上質普通紙	普通紙	カスタム用紙サイズ <ul style="list-style-type: none"> 幅、高さ： 21.6 × 30.3cm 余白：0cm
両面上質普通紙<再生紙>	普通紙	
MC 光沢紙 A4	MC 光沢紙	
マットボード紙	マットボード紙	
市販の単票紙	対応する [用紙種類] を選択	

* MC 画材用紙は A4 サイズがないため、フチなし印刷はできません。

PX-7000/9000：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ ^{*1}	用紙種類	用紙
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 光沢> 24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	カスタム用紙サイズ <ul style="list-style-type: none"> 幅：ロール紙幅+0.24 インチ (0.6cm) 高さ：任意のサイズ 余白：0cm
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 絹目> 10 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 微光沢> 24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]	
市販のロール紙 PX-7000： 8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、 14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ PX-9000： 8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、 14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ、 36 インチ、44 インチ	対応する [用紙種類] を選択	

*1 PX-7000 で使用できるロール紙幅は、24 インチまでです。

PX-6000/6000S：単票紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
両面上質普通紙<再生紙> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)	普通紙	用紙サイズ： xxx (フチなし) (xxx は用紙サイズ)
スーパーファイン紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON スーパーファイン紙	
フォトマット紙 / 顔料専用 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON フォトマット紙 / 顔料	
画材用紙 / 顔料専用 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 画材用紙 / 顔料	
写真用紙<光沢> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 写真用紙	
写真用紙<絹目調> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 写真用紙<絹目調>	
PX ブルーフ用紙<微光沢> A3 ノビ (329 × 483mm)	PX ブルーフ用紙<微光沢>	

PX-6000/6000S：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
PX マット紙<薄手>ロール 420mm ^{*1}	PX マット紙<薄手>またはPX マット紙<薄手> (線画)	用紙サイズ： xxx (フチなし) (xxx は用紙サイズ)
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙<厚手 光沢>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 半光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙 <厚手 半光沢>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 絹目> 10 インチ、16 インチ	PX/MC 写真用紙<厚手 絹目>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 微光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙 <厚手 微光沢>	
PX/MC プレミアムマット紙ロール 17 インチ	PX/MC プレミアムマット紙	
PX/MC コットン画材用紙ロール 17 インチ	PX/MC コットン画材用紙	
MC マット合成紙 2 ロール 17 インチ	MC マット合成紙 2	
PX ブルーフ用紙ロール<微光沢> 329mm、17 インチ	PX ブルーフ用紙<微光沢>	
市販のロール紙 210mm、10 インチ、257mm、297mm、 300mm、12 インチ、329mm、14 インチ、 400mm、16 インチ、420mm ^{*1} 、17 インチ	対応する [用紙種類] を選択	

*1 420mm でフチなし印刷する場合は、420mm (16.5 インチ) ロール紙フチなし印刷用スペーサを使用してください。



ポイント

- エプソン純正専用ロール紙には、210mm、12 インチ、14 インチ、400mm の用紙はありません。
- ロール紙幅より狭い用紙サイズの画像データを作成した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

フチなし印刷の手順

フチなし印刷を行うには、以下の手順に従ってください。



ポイント

- アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。
- PM-4000PX または PX-7000/9000 の場合、フチなし印刷は、フォトブラックインク（左端スロット）とグレーインク（左から2番目のスロット）の組み合わせで印刷してください。それ以外のブラック系インクの組み合わせで、フチなし印刷は行えません。
- ロール紙でのフチなし印刷の場合、プリンタドライバの設定（〔フチなし〕 / 〔自動カッター〕）と、操作パネル（パネル設定モード）の設定（〔フチなし設定〕）の組み合わせで、用紙カット動作が異なります。プリンタの「スタートアップガイド」、「こんなときは」の「フチなし印刷するには」を参照して、必要な設定をしてください。

- 1 お使いのプリンタの機種に応じて、フチなし印刷可能な種類とサイズの紙（定形紙、ロール紙、単票紙）を用意し、プリンタにセットします。

📖 本書 105 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」

- 2 アプリケーションソフトで、1 で用意した紙サイズより 0.6cm 大きめに印刷データを作成します。

用紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

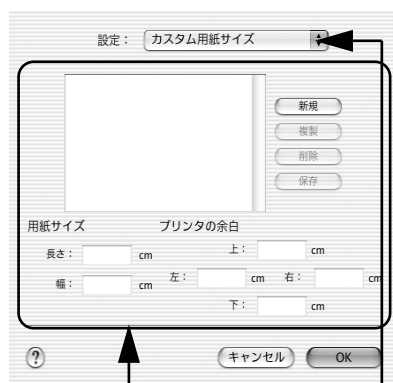
- 定形紙、単票紙の場合は、縦 / 横の大きさを以下のように設定して印刷データを作成します。
PM-4000PX：用紙サイズの縦 / 横それぞれ 0.6cm 大きな印刷データ。
PX-7000/9000/6000/6000S：用紙サイズより 0.6cm 横に広い印刷データ。縦（高さ）は任意のサイズ。
- ロール紙の場合は、ロール紙幅より 0.6cm 横に広い印刷データを作成します。縦（高さ）は任意のサイズです。

- 3 PM-4000PX または PX-7000/9000 の場合は、〔用紙設定〕ダイアログの〔カスタム用紙サイズ〕ダイアログを開いて、フチなし印刷で使用するカスタム用紙サイズを作成します。

PX-6000/6000S の場合、〔カスタム用紙サイズ〕でも設定できますが、ここでは 4 に進みます。

- カスタム用紙サイズは、2 で作成した印刷データの寸法に合わせて作成します。
- 〔余白〕は〔0〕とします。

📖 本書 78 ページ「〔カスタム用紙サイズ〕ダイアログ」



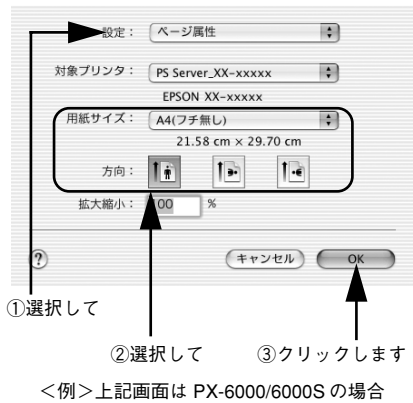
②作成します

①選択して

④ [ページ属性] ダイアログを開いて、[用紙] を選択し、[方向] も選択してから [OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

- PM-4000PX または PX-7000/9000 の場合は、[用紙] から ③ で作成したカスタム用紙サイズを選択します。
- PX-6000/6000S の場合は、[用紙] から [xxx (フチなし)] を選択します (xxxは用紙サイズ)。

📖 本書 105 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



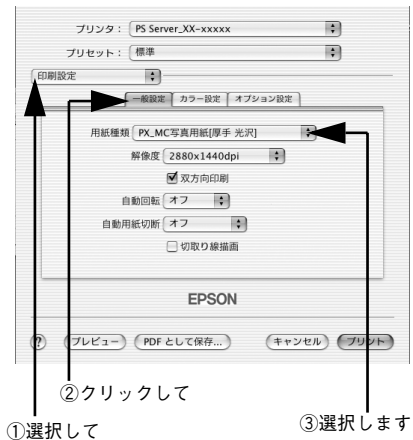
ポイント

アプリケーションソフトで作成した印刷データの寸法に合わせて、[用紙] (サイズ) と [方向] を設定します。ロール紙を使用する場合で、ロール紙幅より狭い [用紙] (サイズ) を選択した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

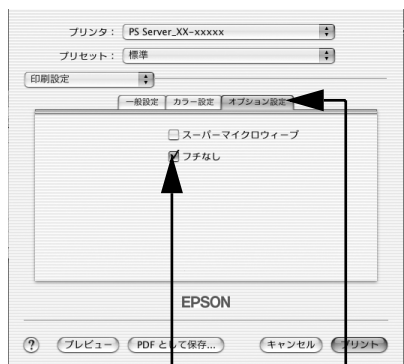
⑤ [プリント] ダイアログの [印刷設定] ダイアログを開き、[一般設定] タブをクリックして、[用紙種類] を選択します。

- ① でセットした用紙の種類に合わせて、[用紙種類] を選択します。
- お使いのプリンタの機種に応じて、選択できる [用紙種類] は異なります。

📖 本書 105 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」



- 6 [オプション設定] タブをクリックして、[フチなし印刷] にチェックマークを付けます。



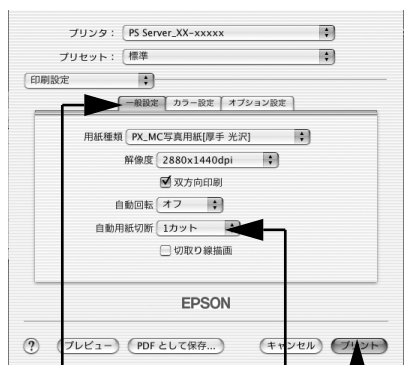
①クリックして

②チェックマークを付けます

<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合
プリンタの機種によって画面は異なります

- 7 ロール紙をお使いの場合は [一般設定] タブをクリックして [自動用紙切断] を設定し、[プリント] ボタンをクリックして印刷を実行します。

- 定形紙、単票紙をお使いの場合は、[自動用紙切断] を設定しないで、[プリント] ボタンをクリックして印刷を実行します。
- PM-4000PX にオプションのロール紙オートカッターを装着してロール紙を使用する場合は、[自動用紙切断] をオンにすると用紙上下端もフチなし印刷を行います。
- PX-7000/9000 の場合は、[自動用紙切断] をオンにすると用紙上下端もフチなし印刷を行います。
- [自動用紙切断] を [1 カット] または [2 カット] に設定すると用紙上下端もフチなし印刷を行います。



①選択して

②選択して

③クリックします

<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合
プリンタの機種によって画面は異なります



ポイント

- ロール紙で四辺フチなし印刷を行う場合は、必ず [自動用紙切断] をチェックする (PM-4000PX、PX-7000/9000) か、[1 カット] または [2 カット] に設定します (PX-6000/6000S)。
- ロール紙に左右フチなし印刷を行う場合は、[自動用紙切断] は任意に設定します (各ページは自動でカットするか、手動でカットしてください)。
- 単票紙をお使いの場合は、[自動用紙切断] は設定しません。
- PX-7000/9000 または PX-6000/6000S で [自動用紙切断] をオフにして [枠線印刷] をオンにしている場合は、すべてのカット位置で自動カットしないで切り取り線を印刷します。
- PX-7000/9000 でロール紙を使ってフチなし印刷を行う場合は、AdobePS ドライバの設定 ([フチなし] / [自動用紙切断]) と操作パネルのパネル設定モードの設定 ([フチナシセッテイ]) の組み合わせによって、用紙カット動作が異なります。パネル設定モードの [フチナシセッテイ] については、プリンタ本体の取扱説明書をお読みください。

EPSON PS Server の使用方法

ファイルの直接印刷

本製品は、以下のファイルにネイティブ対応していますので、これらの形式のファイルはアプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

- PostScript
- PDF Ver. 1.3 (Mac OS 8/9)、PDF Ver. 1.4 (Mac OS X、Windows 2000/XP)
- TIFF
- JPEG
- EPS

[ファイル] メニューから [開く] を選択します。印刷したいファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックしてください。



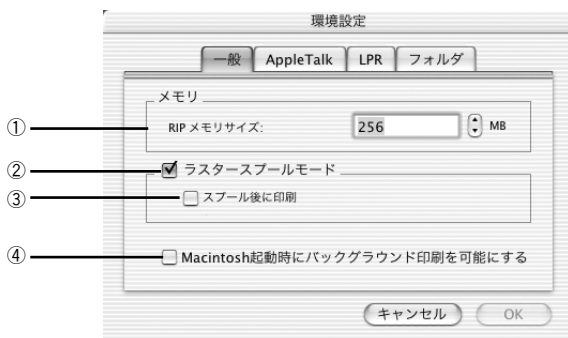
PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを直接印刷する場合の、印刷設定は [プリンタ初期設定] ダイアログで設定できます。

📖 本書 116 ページ「プリンタ初期設定」

環境設定

EPSON PS Server が備える基本機能の初期状態を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [環境設定] を選択します。

[一般] タブ



①メモリ

PostScript インタープリタが使用可能な最大メモリサイズを設定します。20MB ~ 999MB の範囲で設定できます。(工場出荷時の初期値 = 256MB)

②ラスタースプールモード

クリックしてチェックマークを付けると、ラスタースプール (高速コピー) モードが有効となります。部単位印刷を行う場合に、より高速に印刷することができます。

③スプール後に印刷

印刷データをハードディスクにスプールして印刷するタイミングを設定します。

- オフ (チェックマークなし) の場合は、1 部目の印刷データはハードディスクにスプールしながら印刷し、2 部目からはスプールしたラスターデータを直接プリンタへ送って印刷します。ただし、部数指定が 1 の場合は、スプールしません。
- オン (チェックマークあり) の場合は、最初に印刷データをすべてハードディスクにスプールします。そして、1 部目からスプールしたラスターデータをプリンタへ送って印刷します。



ポイント

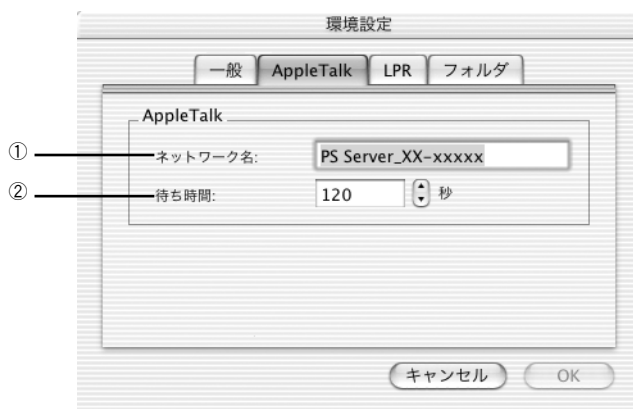
[スプール後に印刷] をオフに設定した場合、1 部目の印刷データをスプールする途中でプリントヘッドが一時的に停止して印刷ムラが発生する可能性があります。印刷ムラが発生する場合は、[スプール後に印刷] をオンに設定して印刷してください。

④ Macintosh 起動時にバックグラウンド印刷を可能にする

Macintosh を起動したときに、EPSON PS Engine を自動的に起動するかを選択します。

- オン (チェックマークあり) の場合は、Macintosh 起動時に EPSON PS Engine を自動的に起動します。
- オフ (チェックマークなし) の場合は、Macintosh 起動時に EPSON PS Engine を起動しません。EPSON PS Engine を起動する場合は、手動で EPSON PS Server を起動してください。
- チェックマークを付けて、Macintosh を再起動すると、以後 EPSON PS Engine が常駐アプリケーションとして動作します。印刷状態の確認や印刷のキャンセルは、EPSON PS Server を起動して行ってください。
- EPSON PS Engine を常駐させたくない場合は、チェックマークを外してください。

[Apple Talk] タブ



① ネットワーク名

EPSON PS Server のネットワーク名を入力します。ここで指定した名称が、プリントセンターで [AppleTalk] を選択したときに表示されます。



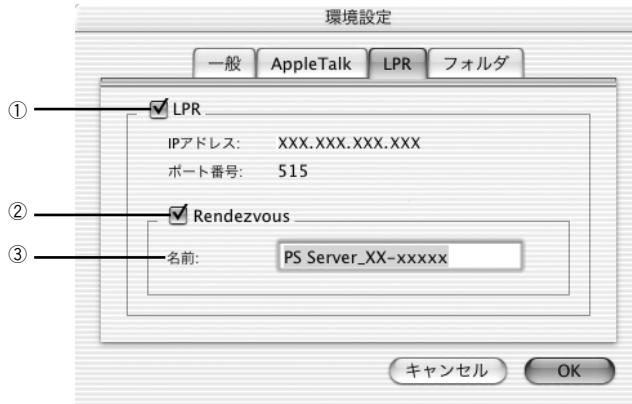
ポイント

ネットワーク名が重複する場合は、名前の後に「xxx-1」、「xxx-2」と数字が付きます。

② 待ち時間

設定した時間 (2 ~ 3600 秒) を経過しても何のデータも受信しないと、EPSON PS Server は接続状態を一旦解除します。(工場出荷時の初期値 = 120 秒)

[LPR] タブ



① LPR

クリックしてチェックマークを付けると、LPR サーバ機能が有効となります。
[IP アドレス] はホストに設定されている IP アドレスを表示します。
[ポート番号] は「515」に設定されています。

② Rendezvous

クリックしてチェックマークを付けると、Rendezvous が有効となります。
ただし、[LPR] がオフ（チェックマークなし）の場合は無効です。また、スタンドアロン環境では本機能は使用できません。

③名前

EPSON PS Server のネットワーク名を入力します。プリントセンターで Rendezvous を選択したときに、ここで指定した名前が表示されます。

[フォルダ] タブ



①フォルダパス

共有するフォルダをフルパスで指定します。

②監視時間

設定した時間（2 ～ 120 秒）ごとに共有フォルダを定期的に監視します。（工場出荷時の初期値 = 5 秒）

③追加

クリックすると、フォルダを指定するダイアログが表示されます。ここで指定したフォルダが [フォルダパス] に表示されます。

プリンタ初期設定

EPSON PS Server が印刷を行うときの初期条件を設定するには、EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューから [プリンタ初期設定] を選択します。ここで設定した印刷条件は、アプリケーションソフトで作成した PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを、EPSON PS Server から直接印刷する場合（アプリケーションソフトから印刷しない場合）に有効となります。なお、ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。

📖 本書 112 ページ「ファイルの直接印刷」



ポイント

- アプリケーションソフトから印刷する場合は、印刷時のプリンタドライバの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバを使って PS または EPS ファイルに出力して保存した場合は、出力時点でのプリンタドライバでの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。

<例> PX-6000/6000S の場合



PM-4000PX の場合は、⑩ [枠線印刷]、⑪ [自動回転]、⑫ [レンダリングインテント] はご利用いただけません。PX-7000/9000 の場合は、⑫ [レンダリングインテント] はご利用いただけません。

① 用紙サイズ

印刷で使用する用紙のサイズを選択します。選択できる用紙サイズはプリンタの機種によって異なります。

TIFF ファイルと JPEG ファイルの場合は、画像のサイズが用紙のサイズになります。

② 給紙装置

用紙の給紙装置を選択します。選択できる給紙装置はプリンタの機種によって異なります。

③ 用紙 / 品位

印刷で使用する用紙の種類と解像度の組み合わせを選択します。選択できる用紙 / 品位はプリンタの機種によって異なります。

④ RGBシミュレーション

RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。

設定	シミュレーションする RGB 色
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色（工場出荷時の初期設定）
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL_SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

⑤ CMYKシミュレーション

オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。

設定	シミュレーションする CMYK 色
オフ	シミュレーションしません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色（工場出荷時の初期設定）
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパの印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

⑥ グレースケール制御

ブラックやグレーのテキストや画像を、ブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。

設定	説明
テキストのみ	テキストに、グレースケール制御を適用します。画像は CMYK4 色のブラックで印刷されます。（工場出荷時の初期設定）
画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストは CMYK4 色のブラックで印刷されます。
すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
オフ	ブラックは CMYK 4 色のブラックで出力されます。

⑦ インク

カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。

設定	説明
カラー	カラーで印刷します。（工場出荷時の初期設定）
グレースケール	モノクロ（白黒）で印刷します。

⑧ 双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合は「オフ」を選択してください。

設定	説明
オン	双方向印刷を行います。(工場出荷時の初期設定)
オフ	双方向印刷を行いません。

⑨ 自動用紙切断

ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。

設定	説明
オン (チェックあり) (PM-4000PX、PX-7000/ 9000)	1 ページ印刷するごとに自動的にカットします*。 * プリンタの機種によっては、オプションのロール紙オートカッターが必要です。
1 カット (PX-6000/6000S)	画像と画像の境界 (ページとページの境界) をカットします。 ただし、カット位置が微妙にズれる場合があります。
2 カット (PX-6000/6000S)	[ページ属性] ダイアログの [用紙サイズ] を [xxx (フチなし)] (xxx は用紙サイズ) に設定して、PS ファイルを印刷した場合のみ有効です。 [1 カット] を選択して、カット位置の微妙なズレが気になる場合に選択します。 画像と画像の間を空けて印刷し、その前後 2 箇所をカットします。 なお、2 箇所カットすることによって 80 ~ 130mm 程度の切れ端が発生します。切れ端の長さは用紙の種類によって異なります。 本書 185 ページ「[2 カット]」でのロール紙の切れ端の長さについて (PX-6000/6000S)」
オフ	印刷したページを自動的にカットしません。オプションのカッターユニット* や市販のカッターなどを使って切り離してください。(工場出荷時の初期設定) * プリンタの機種によってはご利用いただけません。

⑩ 枠線印刷

ページの右端と下端に切り取り線 (実線) を印刷します。

設定	説明
オン	切り取り線を印刷します。
オフ	切り取り線を印刷しません。(工場出荷時の初期設定)

⑪ 自動回転

縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに「オン」を選択してください。この機能をご利用いただけないプリンタの場合は表示されません。

設定	説明
オン [xxx]	自動回転します。[xxx] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
オフ	自動回転しません。(工場出荷時の初期設定)

⑫ レンダリングインテント

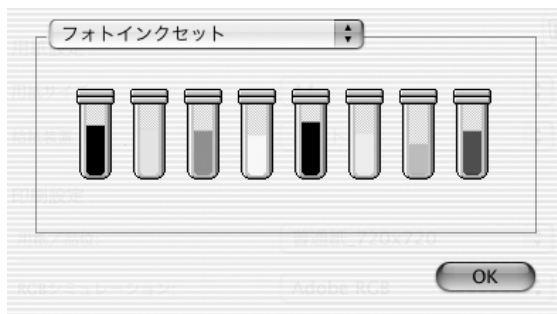
出力装置が再現できる色には限界があるため、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の属性を調整する必要があります。その属性に付けられる優先順位です

設定	説明
知覚的	見栄えを重視して色を再現します。
相対的な色域を維持*	光源と媒体の白色点 (用紙の地色) を組み合わせて色を再現します。
彩度	彩度を保持または強調して色を再現します。

設定	説明
絶対的な色域を維持	光源だけで色を再現する。紙の地色のような白色点は補正されません。

⑬ インク情報アイコン

クリックすると、インク残量を示すダイアログが表示されます。

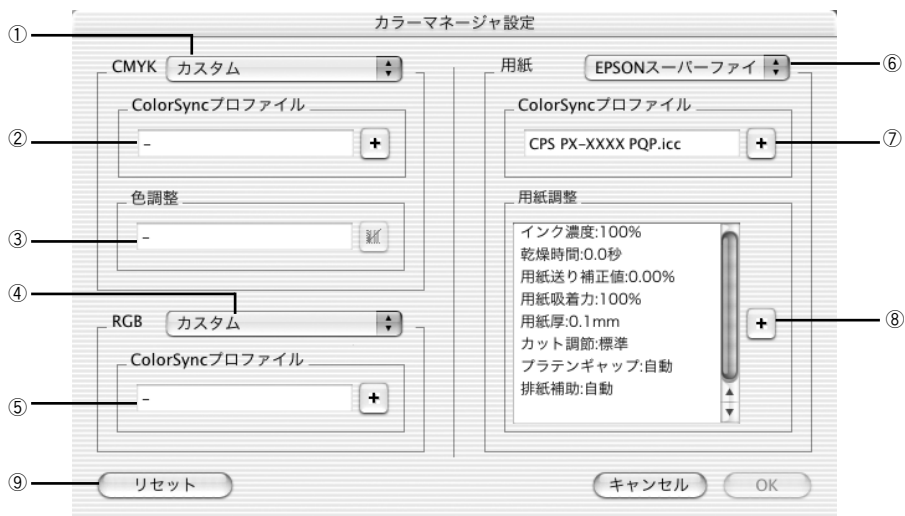


<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合
プリンタの機種によって画面は異なります

インク残量を確認したら、[OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

カラーマネージャ設定

EPSON PS Server のカラーマネージャ機能を設定するには、EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューから [カラーマネージャ設定] を選択します。



① CMYK

CMYK シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

② プロファイル名

①のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のCMYKシミュレーションプロファイルを表示します。各標準プロファイルに対応する特殊なプロファイルを選択する場合や、①で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] ボタンをクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。



ポイント

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [印刷設定] ダイアログで選択する CMYK シミュレーションプロファイルとして使用されません。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

③ 色調整

①のメニューで選択している CMYK シミュレーションプロファイルに対して、さらに色の調整をする場合はトーンカーブアイコンをクリックして [トーンカーブ] ダイアログを開きます。標準およびカスタムどちらのプロファイルに対しても、微調整することができます。トーンカーブで調整を行うと、[調整済み] と表示されます。

📖 本書 121 ページ [[トーンカーブ] ダイアログ]



ポイント

トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] ボタンをクリックしてから、[保存] ボタンをクリックしてください。

④ RGB

RGB シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

⑤ プロファイル名

④のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際の RGB シミュレーションプロファイルを表示します。各標準プロファイルに対応する特殊なプロファイルを選択する場合や、④で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] ボタンをクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。



ポイント

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [印刷設定] ダイアログで選択する RGB シミュレーションプロファイルとして使用されません。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

⑥ 用紙

印刷で使用する用紙種類と解像度の組み合わせを選択します。

⑦ プロファイル名

⑥のメニューで選択している用紙名に対応する実際の用紙プロファイルを表示します。

⑧ 用紙調整

各用紙に設定されている用紙の情報を表示します。[+] ボタンをクリックすると [用紙調整] ダイアログが開きますので、必要に応じて用紙関連の設定を行ってください。

📖 本書 122 ページ [[用紙調整] ダイアログ]

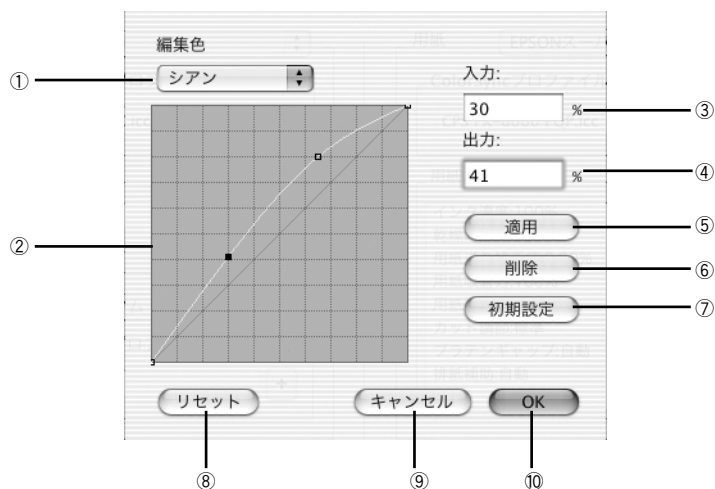
⑨ リセット

[カラーマネージャ設定] ダイアログで変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

[トーンカーブ] ダイアログ

[カラーマネージャ設定] ダイアログの [色調整] にあるトーンカーブアイコンをクリックすると、[トーンカーブ] ダイアログが開きます。選択している CMYK プロファイルで定義している色濃度に対して、さらに濃度調整を行えます。

本書 120 ページ「③ 色調整」



① 編集色

調整する色を [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] の中から選択します。

② トーンカーブ

CMYK プロファイルが定義している色濃度（入力値）が実際にどの色濃度（出力値）で印刷されるかの相関関係を、最初は 45 度の直線で表示します（CMYK プロファイルで定義しているトーンカーブをそのまま再現しません）。任意の色濃度位置（入力値）をドラッグして、出力値を調整できます。また、[入力] と [出力] で指定した値をグラフィカルに表示することもできます。

③ 入力

調整対象となる色濃度（入力値）をパーセントで直接指定できます。

④ 出力

[入力] で指定した色濃度に対して、実際にどの色濃度で出力するかをパーセントで直接指定できます。

⑤ 適用

[入力] と [出力] で指定した値を、トーンカーブに反映させるときにクリックします。

⑥ 削除

トーンカーブでクリックして選択した入出力点を削除します。

⑦ 初期設定

[編集色] で選択した色のトーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑧ リセット

すべての設定をリセットし、トーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑨ キャンセル

変更した設定値をキャンセルするときをクリックします。

⑩ OK

調整したトーンカーブを記憶して、ダイアログを閉じます。トーンカーブが調整された場合は、[カラーマネージャ設定] ダイアログの[色設定]に[調整済み]と表示します。



ポイント

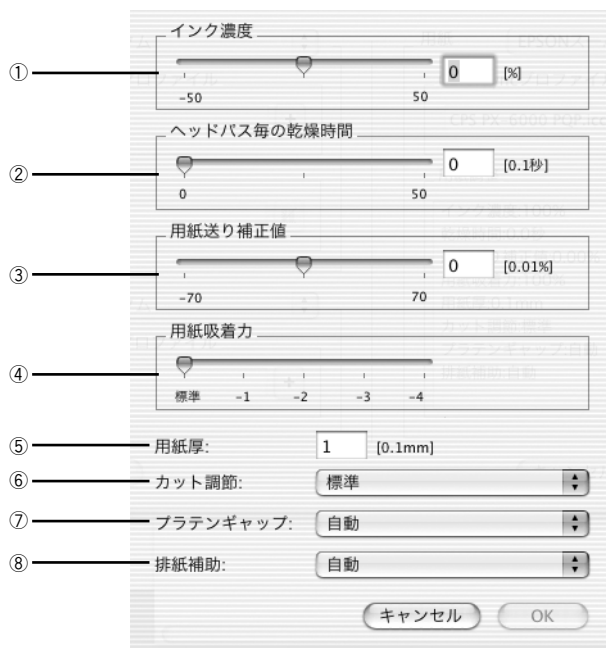
トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで[リセット] ボタンをクリックしてから、[OK] ボタンをクリックしてください。

[用紙調整] ダイアログ

[カラーマネージャ設定] ダイアログの[用紙情報]にある[+] ボタンをクリックすると、[用紙調整] ダイアログが開きます。ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。

📖 本書 120 ページ「⑧ 用紙調整」

<例> PX-6000/6000S の場合



PM-4000PX の場合は、① [インク濃度] 以外のご利用いただけません。

PX-7000/9000 の場合は、⑦ [プラテンギャップ] と⑧ [排紙補助] はご利用いただけません。

① インク濃度

インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整できます。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。



ポイント

強い色調が求められる POP 印刷用にインク濃度を上げたり、ランニングコストを抑えた試し印刷用にインク消費量を減らすために濃度を下げたりできません。

② ヘッドバス毎の乾燥時間

インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定できます。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +50）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。



ポイント

- インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。
- 用紙によっては、乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。

③ 用紙送り補正值

用紙送りの補正值を調整できます。補正值は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0）。



ポイント

プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙を使っても用紙送りがずれる場合があります。また、エプソン純正専用紙以外の用紙に合わせて正確に用紙が送られるように調整する必要があります。これらの場合に、用紙送りを調整してください。

④ 用紙吸着力

用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定できます。用紙の吸着力は、スライドバーを左端（標準 100%）から、-1（50%）-2（30%）-3（10%）-4（最小 6%）へ動かして設定します（初期値：100%）。



ポイント

用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしづらかったり、うまく紙送りされないことがあります。このような場合は吸着力を弱めに設定してください。

⑤ 用紙厚

用紙厚を設定できます。用紙厚は 0.1mm 単位で 1（0.1mm）から 16（1.6mm）までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている [用紙種類] によって異なります。また、実際に設定可能な値の範囲は、プリンタによって異なります）。



ポイント

エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合、その用紙の厚さを正確に設定することができます。

⑥ カット調整

用紙自動カット時のカッターの圧力を設定できます。カット調整の選択肢は、プリンタの機種によって異なります（初期値：自動）。

PX-7000/9000 : [自動]、[薄紙]、[極薄紙]

PX-6000/6000S : [自動]、[薄紙]、[厚紙、高速]、[厚紙、低速]



ポイント

薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このような場合は用紙厚に合わせて [薄紙] または [極薄紙] に設定してください。

⑦ プラテンギャップ

プリントヘッドと用紙の間隔の広さ（プラテンギャップ）を設定できます。プラテンギャップは、メニューから [自動]、[より広め]、[広め]、[標準]、[狭い] のいずれかを選択して設定します。通常は [自動] を選択してください（初期値：自動）。

⑧ 排紙補助

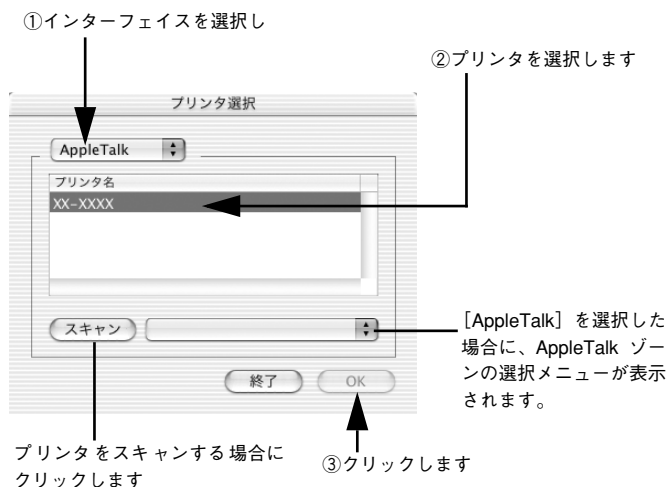
排紙装置を選択できます。エプソン純正紙を使用する場合は [自動] を選択します。エプソン純正紙以外の用紙の場合は、お使いの用紙に合わせて、[単票紙]、[ロール紙 (カール強)]、[ロール紙] の中から選択します。

プリンタの再選択

プリンタを接続するインターフェイスを変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。[EPSON PS Server] メニューから [プリンタの再選択] を選択してください。以下のダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックし EPSON PS Server をいったん終了させます。



次回 EPSON PS Server を起動すると、接続先を選択するダイアログが表示されます。使用するインターフェイス (ポート) を選択してから、同じプリンタを選択してください。



ポイント

- USBポートまたは FireWireポートにプリンタを接続している場合、[USB] または [FireWire] を選択しているにもかかわらずリストに機種名が表示されない場合は、プリンタの電源がオフになっている可能性があります。プリンタの電源と接続を確認してください。
- AppleTalkゾーンを設定している場合は、プリンタが接続されているゾーンを選択してからプリンタ名を選択してください。
- Ethernetネットワークにプリンタを接続している場合で、使用するプリンタの名前が表示されない場合は、[スキャン] ボタンをクリックしてください。
- プリンタの再選択時に別のプリンタを選択すると、元のプリンタにインストールした市販のプリンタフォントは使用できません。

メッセージのクリア

メインウィンドウのメッセージをクリアしたい場合は、[編集]メニューから[メッセージのクリア]を選択してください。

メインウィンドウに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。必要に応じて [メッセージのクリア] を実行してください。

本書 125 ページ「メインウィンドウの表示 / 非表示」

メインウィンドウの表示 / 非表示

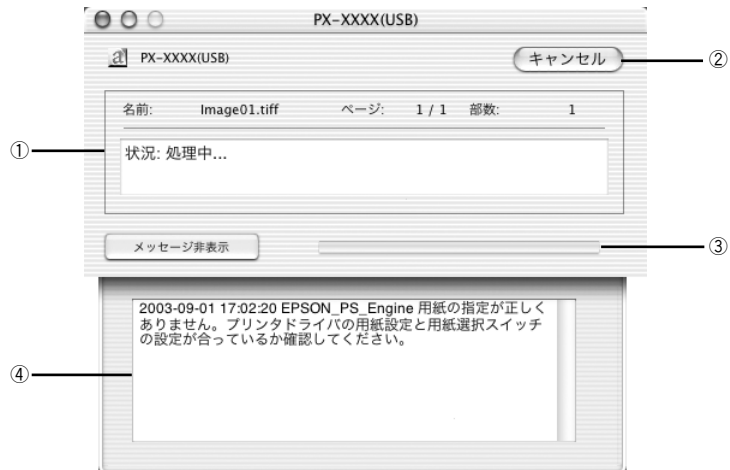
EPSON PS Server が起動すると、印刷状況を表示するメインウィンドウが開きます。また、エラーが発生した場合などは、ウィンドウを広げてエラー状況を確認することができます。

[ウィンドウ]メニューの[ウィンドウを表示]を選択すると、印刷の進行を表すウィンドウが開きます（工場出荷時には、EPSON PS Server 起動時に自動的に開くように初期設定されています）。ウィンドウを表示させる必要のないときは、[ウィンドウを非表示]を選択して閉じておくこともできます。

印刷中のメインウィンドウ



エラー状況の表示



① ステータス

現在進行中のジョブの名称と印刷状況を表示します。

② キャンセル

印刷中のジョブを削除（印刷をキャンセル）するときをクリックします。

③ プログレスバー

印刷の進行状況の度合いを表示します。

④ メッセージ表示

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認するには、この [メッセージ表示] をクリックしてウィンドウを広げます。メッセージに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。メッセージの内容を消すには、[編集] メニューにある [メッセージをクリア] を選択します。

📖 本書 125 ページ「メッセージのクリア」



Windows での使用方法

ここでは、Windows で使用する方法について説明します。

● サーバとクライアントの設定	128
● 印刷の手順	131
● プリンタドライバの設定項目について	133
● その他の印刷方法	151
● カラーシミュレーション機能について	154
● フチなし印刷を行うには.....	158
● EPSON PS Server の使用方法	164
● EPSON PS Manager について.....	178

サーバとクライアントの設定

クライアントとサーバの OS により、下表のとおり接続に使用するプロトコルが異なります。

		サーバ		
		Mac OS 8/9	Mac OS X	Windows 2000/XP
クライアント	Mac OS 8/9	AppleTalk TCP/IP (LPR)	AppleTalk TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR)
	Mac OS X	AppleTalk TCP/IP (LPR)	AppleTalk TCP/IP (LPR) Rendezvous	TCP/IP (LPR)
	Windows 2000/XP	TCP/IP (LPR)	TCP/IP (LPR)	SMB TCP/IP (LPR)



ポイント

- 接続に使用できる TCP/IP は LPR のみです。Standard TCP/IP は使用できません。
- Windows のプリンタ共有 (SMB) を利用する場合、User 権限では使用できません。Administrator 権限でユーザーを定義する必要があります。

プリンタ共有 (SMB) の場合

印刷する前に、EPSON PS Server が使用するプリンタをネットワーク環境で使用する場合は、共有設定する必要があります。通常、共有設定はインストール時にできますが、設定していない場合は、以下の手順に従ってください。



ポイント

- EPSON PS Server は印刷する前に必ず起動します。起動している EPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順をくり返す必要はありません。
- Windows XP で設定する場合は、「コンピュータの管理者」アカウントのユーザーでログオンする必要があります。「制限」アカウントのユーザーでは設定できません。なお、Windows XP をインストールしたときのユーザーは、「コンピュータの管理者」アカウントになっています。
- Windows 2000 の場合は、管理者権限のあるユーザー (Administrators グループに属するユーザー) でログオンする必要があります。

1 プリンタの電源をオンにします。

EPSON PS Server を起動する前に必ずプリンタの電源をオンにし、プリンタの [印刷可] ランプ ([印刷可] ランプがない機種の場合は [電源] ランプ) が点灯している、またはディスプレイに「インサツカノウ」と表示されていることを確かめます。

2 [プリンタと FAX] または [プリンタ] フォルダを表示します。

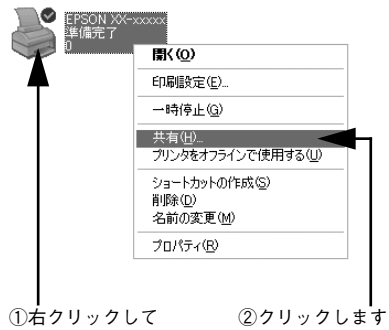
- Windows XP の場合は、[スタート] ボタンをクリックして、[コントロールパネル] をクリックします。[コントロールパネル] 内の [プリンタとその他のハードウェア] をクリックしてから [プリンタと FAX] をクリックします。
- Windows 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ、[プリンタ] をクリックします。



ポイント

Windows XP のコントロールパネルの表示を [クラシック表示] にしている場合は、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタと FAX] の順でクリックします。

- 3 使用するプリンタのアイコンを右クリックして、[共有] をクリックします。



- 4 [このプリンタを共有する] をクリックし、[共有名] を入力して、[追加ドライバ] をクリックします。

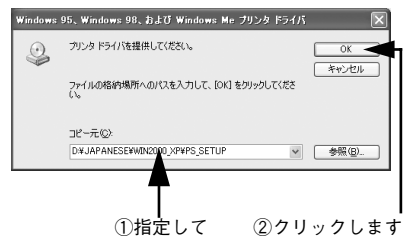
共有名には、スペースやハイフン (-) を使用しないでください。エラーが発生するおそれがあります。



- 5 インストールしたい Windows バージョンのドライバにチェックマークを付け、[OK] をクリックします。



- 6 右の画面が表示されたら、CD-ROM をセットし、[コピー元] に「CD-ROM ドライブ: ¥JAPANESE¥WIN2000_XP¥PS_SETUP」を指定し、[OK] をクリックします。



- 7 プリンタのプロパティダイアログの表示に戻ったら、[閉じる] をクリックしてダイアログを閉じます。

8 EPSON PS Server を起動します。

- スタンドアローン環境で使用する場合やネットワーク環境のプリントサーバでは [スタート] - [すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [CPS ソフトリッパー Plus] - [PS Server] の順にクリックします。EPSON PS Server が起動するとメインウィンドウが開き、印刷の状態やエラー状況を確認できます。
📖 本書 177 ページ「メインウィンドウ」



ポイント

- EPSON PS Server をインストール後初めて起動するときは、以下のページを参照してライセンス番号を入力してください。
📖 インストールガイド「ライセンス番号の入力」
- 本製品で頻繁に印刷する場合は、EPSON PS Server のショートカットを作成して、デスクトップ上などに置いておくくと便利です。

• ネットワーク環境のクライアントコンピュータでは

EPSON PS Server を起動することはありません。プリントサーバ側で起動した EPSON PS Server をプリンタとして認識して、使用できるようになります。



ポイント

プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、PS ドライバの [デバイスの設定] タブの [カートリッジオプション] で、セットされているインクの組み合わせを選択してください。

TCP/IP の場合

TCP/IP を使用する場合も、プリンタ共有 (SMB) の場合と同様、プリントサーバ側で起動した EPSON PS Server を、クライアント側のコンピュータでプリンタとして認識し、使用できるようになります。

サーバ側のコンピュータでは EPSON PS Server を起動しておいてください。

📖 Mac OS 8/9 : 本書 2 ページ「AppleTalk の場合」

📖 Mac OS X : 本書 66 ページ「AppleTalk の場合」

📖 Windows : 本書 128 ページ「プリンタ共有 (SMB) の場合」



ポイント

- Mac OS X サーバに接続しているプリンタに印刷する場合は、サーバの EPSON PS Server で、[環境設定] ダイアログの [LPR] タブの [LPR] チェックボックスをチェックしておいてください。
📖 本書 115 ページ「[LPR] タブ」
- プリンタのインクの組み合わせを変更した場合は、EPSON PS Server が起動している状態で、PS ドライバの [デバイスの設定] タブの [カートリッジオプション] で、セットされているインクの組み合わせを選択してください。

印刷の手順

起動している EPSON PS Server が [プリンタと FAX] または [プリンタ] に追加されていれば、印刷できます。ここでは、Windows アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で印刷の向きなどを設定します。



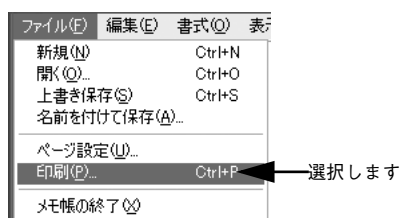
ポイント

アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

① アプリケーションソフトを起動します。

② [ファイル] メニューから [プリント] を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（[印刷] など）。



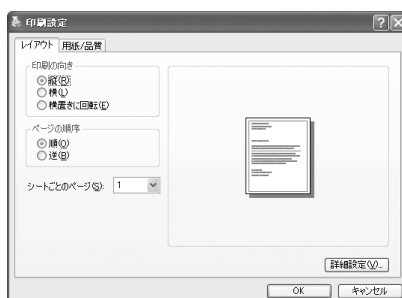
③ [印刷] ダイアログで、EPSON PS Server が使用するプリンタを選択し、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックします。



④ 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページをお読みください。

本書 133 ページ「[印刷設定] ダイアログ」





ポイント

- CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用したり、フチなし印刷を行うなどプリンタ固有の機能を利用するには、[詳細オプション] ダイアログで設定してください。
📄 135 ページ [[詳細オプション] ダイアログ]
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 設定項目の説明は、右クリックして表示される [ヘルプ] をクリックし、ヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

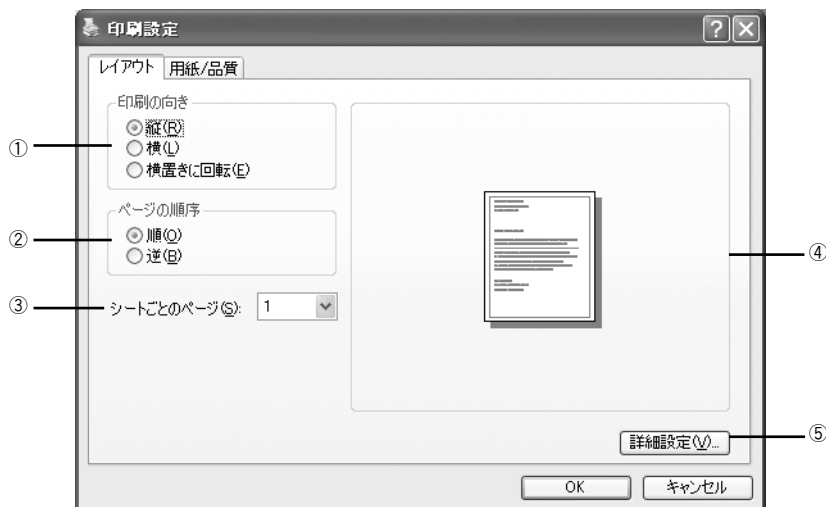
- 5 [OK] ボタンをクリックし、[印刷] ダイアログで [印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。

プリンタドライバの設定項目について

[印刷設定] ダイアログ

[印刷設定] ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。

レイアウト



① 印刷の向き

- 印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するか選択します。
- [横向きに回転] を選択すると、用紙を反時計回りに 90° 回転して印刷します。

② ページの順序

- [順] を選択すると、最初のページから印刷します。
- [逆] を選択すると、最後のページから印刷します。

③ シートごとのページ

- 割付印刷を行わない場合は、[1] を選択します。
- 連続した印刷データを1枚の用紙に割り付けて印刷するには、割り付けページ数を選択します。選択できる割り付けページ数は、[2]、[4]、[6]、[9]、[16] です。

④ プレビューウィンドウ

設定状況をイラストで表示します。

⑤ 詳細設定

クリックすると、[詳細オプション] ダイアログを開きます。

📖 本書 135 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」

【用紙 / 品質】 ダイアログ



① 給紙方法

印刷する用紙がセットされた給紙装置に合わせて選択します。
[自動選択] を選択した場合、EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] ダイアログの [給紙装置] で設定した給紙装置から給紙して印刷します。
📖 本書 167 ページ「プリンタ初期設定」

② 色

カラー / グレースケールの印刷方法を設定します。

設定	機能
白黒*	モノクロ (白黒) で印刷します。グレースケール (階調) は再現しません。
カラー	カラーまたはグレースケールで印刷するときに選択します。

* アプリケーションソフトによっては、[白黒] を選択してもカラーで印刷される場合があります。その場合は、[詳細オプション] ダイアログで [インク] を [グレースケール] に設定してください。
📖 本書 135 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」

③ 詳細設定


クリックすると、[詳細オプション] ダイアログを開きます。
📖 本書 135 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」

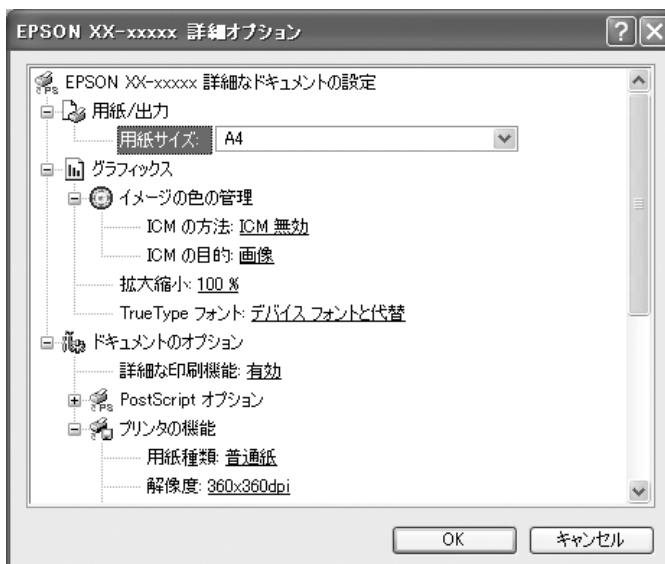
[詳細オプション] ダイアログ

[詳細オプション] ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。プリンタの機種によって、設定できる機能や設定の選択肢が異なります。



ポイント


各項目で、現在の設定では使用できない選択肢は、選択肢名の左側に  が表示されます。



PM-4000PX の詳細オプション

以下の表でアスタリスク (* 印) の付く設定は工場出荷時の初期設定です。

用紙 / 出力


設定	機能
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。
部数	印刷する部数を最大 9999 部まで設定できます。EPSON PS Server の [初期設定] で [ラスタースプールモード] を有効にすると、高速に印刷することができます。  本書 165 ページ「初期設定」
部単位	本製品ではこの機能は使用できません。

グラフィックス

設定	機能	
イメージの色の管理	カラーグラフィックスの印刷に使用する、イメージカラーの管理 (ICM) オプションの一覧が表示されます。	
ICM の方法	カラーグラフィックスの印刷方法を指定します。	
	ICM 無効	イメージカラーの管理を無効にします。
	ホストシステムによる ICM 処理	データをプリンタに送る前に、ホストコンピュータで色補正を計算します。
	プリンタによる ICM 処理	プリンタで色補正を計算します。この場合、カラーの割り当て規則が作成され、プリンタにダウンロードされます。プリンタではこの規則に従ってドキュメントの色が調整されます。
ICM の目的	プリンタ調整による ICM 処理	
	プリンタで色補正を計算します。この場合、カラーの割り当て規則は既にプリンタにダウンロードされており、もう一度作成してダウンロードし直すことはありません。	
	ICM の目的	
	良好な印刷結果が得られるように、カラーイメージの作成方法を指定します。	
拡大縮小	グラフィックス	グラフを印刷する場合や、鮮やかな色を使っている場合に選択します。
	画像	色が混ざり合っている写真や絵の場合に選択すると、コントラストを最大化します。
	色の校正	ドキュメントで使っている色を正確に整合させる必要があり、ドキュメントを印刷するプリンタにその色のインクが存在する場合に選択します。
	完全一致	ほかのプリンタからカラー設定をプレビューする場合に選択します。
TrueType フォント	TrueType フォントのオプションを指定します。	
TrueType フォント	デバイスフォントと代替*	TrueType フォントが含まれるデータを印刷するときに、同等のプリンタフォントを使います。印刷は高速化されますが、プリンタフォントでサポートされていない特殊文字は印刷されません。
	ソフトフォントとしてダウンロード	プリンタフォントを使わずに、TrueType フォントをダウンロードして印刷します。

ドキュメントのオプション

設定	機能	
詳細な印刷機能	印刷の詳細機能を有効にするかどうかを指定します。	
	有効	メタファイルスプーリングはオンになり、それぞれのプリンタに応じた、[ページの順序]、[ブックレット印刷]、[シートごとのページ数]などのオプションもオンになります。通常は [有効] に設定してください。
	無効	メタファイルスプーリングはオンになり、印刷オプションも利用不能になる可能性があります。互換性に関する問題が発生する場合は、[無効] に設定できます。
PostScript オプション	印刷データをファイルとして保存する際の条件を設定します。	

設定	機能	
PostScript 出力オプション	PostScript ファイルの出力形式を指定します。	
	印刷処理が速くなるよう最適化	通常はこれを選択してください。
	エラーが軽減するよう最適化	Adobeの文書構造規約 (ADSC) に準拠したファイルで保存します。
	EPS (Encapsulated PostScript)	EPS ファイルとして保存します。
	アーカイブ形式	後で使用できる PostScript ファイルで保存します。
TrueType フォントダウンロードオプション	TrueType フォントのダウンロード方法を指定します。	
	自動	PostScript ドライバで最適な形式を自動的に決定します。
	アウトライン	TrueType フォントをスケーラブルなアウトラインフォントとしてダウンロードします。
	ビットマップ	TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロードします。
NativeTrueType	使用しているプリンタが TrueType ラスタライザプリンタの場合に選択します。	
PostScript 言語レベル	使用する PostScript 言語レベルを、1 から、プリンタでサポートされている最高レベルまでの間で指定します。言語レベルが高いほど提供される機能が多くなるため、通常は利用できる最高の値を選択してください。ただし、出力したファイルをレベル 1 のプリンタで印刷する場合は、1 に設定してください。	
PostScript エラーハンドラを送信	PostScript エラーハンドラメッセージを送信するかどうかを指定します。	
	はい	印刷ジョブにエラーが発生したときに、プリンタでエラーページを印刷します。
いいえ	エラーページを印刷しません。	
	いいえ	左右反転印刷
左右反転印刷	印刷データを鏡に映したイメージ (左右に反転させたイメージ) で印刷するかどうかの設定をします。	
	はい	左右反転印刷します。
	いいえ	左右反転印刷しません。
プリンタの機能	プリンタの印刷オプションを設定します。	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があります。[解像度] では使用できない用紙は、  で表示されます。以下のブラック系インクの組み合わせ (左端スロット+左から 2 番目のスロット) で印刷してください。	
	普通紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	スーパーファイン専用紙 2	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi
	MC マット紙	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC 画材用紙	
	PM/MC 写真用紙 (半光沢)	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 1440x720dpi、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC 光沢紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー

設定	機能	
用紙種類 (続き)	PX ブルーフ用紙 (微光沢)	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi、2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
解像度	プリンタの解像度 (横×縦) を選択します。選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があり、利用できない [用紙種類] が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、上記の [用紙種類] でご確認ください。	
	360x360dpi	解像度を 360x360dpi に設定します。
	720x720dpi*	解像度を 720x720dpi に設定します。
	1440x720dpi	解像度を 1440x720dpi に設定します。
	2880x1440dpi	解像度を 2880x1440dpi に設定します。
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー*	カラーで印刷します。
	白黒	グレースケールで印刷します。 ※グレーインクは使用されません。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン*	双方向印刷を行います。
	オフ	双方向印刷を行いません。
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 📖 本書 154 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC*	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー)
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色
RGB シミュレーション	RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。 📖 本書 154 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB*	Apple 社が定義する RGB 色
	CIE RGB	CIE RGB 色
	ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
	NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
	PAL_SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
	SMPTE	SMPTE 色
	sRGB	sRGB 色
	Wide RGB	Wide RGB 色
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

設定	機能	
グレースケール制御	ブラックのテキストや画像をブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。	
	テキストのみ*	テキストやイラストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4色のブラックで出力されます。
	画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストやイラストは、CMYK4色のブラックで出力されます。
	すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
	オフ	ブラックはCMYK4色のブラックで出力されます。
レンダリングインテント	出力装置が再現できる色には限界があるため、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の属性を調整する必要があります。その属性に付けられる優先順位です。	
	知覚的	見えを重視して色を再現します。
	相対的な色域を維持*	光源と媒体の白色点（用紙の地色）を組み合わせ、色を再現します。
	彩度	彩度を保持または強調して色を再現します。
	絶対的な色域を維持	光源だけで色を再現する。紙の地色のような白色点は補正されません。
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オン	オプションのロール紙オートカッターを使って、1ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	オフ	印刷したページを自動的にカットしません。市販のカッターなどを使って切り離してください。
フチなし印刷	単票紙の場合は四辺フチなし、ロール紙の場合は左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。なお、カスタム用紙サイズを選択しないと設定できません。 📖 本書 158 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン	フチなし印刷を行います。
	オフ	フチなし印刷を行いません。

PX-7000/9000 のプリンタ固有機能

以下の表でアスタリスク（* 印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。


用紙 / 出力

設定	機能
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。
部数	印刷する部数を最大 9999 部まで設定できます。EPSON PS Server の [初期設定] で [ラスタースプールモード] を有効にすると、高速に印刷することができます。 <small>📖 本書 165 ページ「初期設定」</small>
部単位	本製品ではこの機能は使用できません。

グラフィックス

設定	機能	
イメージの色の管理	カラーグラフィックスの印刷に使用する、イメージカラーの管理 (ICM) オプションの一覧が表示されます。	
ICM の方法	カラーグラフィックスの印刷方法を指定します。	
	ICM 無効	イメージカラーの管理を無効にします。
	ホストシステムによる ICM 処理	データをプリンタに送る前に、ホストコンピュータで色補正を計算します。
	プリンタによる ICM 処理	プリンタで色補正を計算します。この場合、カラーの割り当て規則が作成され、プリンタにダウンロードされます。プリンタではこの規則に従ってドキュメントの色が調整されます。
プリンタ調整による ICM 処理	プリンタで色補正を計算します。この場合、カラーの割り当て規則は既にプリンタにダウンロードされており、もう一度作成してダウンロードし直すことはありません。	
ICM の目的	良好な印刷結果が得られるように、カラーイメージの作成方法を指定します。	
	グラフィックス	グラフを印刷する場合や、鮮やかな色を使っている場合に選択します。
	画像	色が混ざり合っている写真や絵の場合に選択すると、コントラストを最大化します。
	色の校正	ドキュメントで使っている色を正確に整合させる必要があり、ドキュメントを印刷するプリンタにその色のインクが存在する場合に選択します。
	完全一致	ほかのプリンタからカラー設定をプレビューする場合に選択します。
拡大縮小	1% ~ 1000% の範囲で拡大または縮小して印刷できます。	
TrueType フォント	TrueType フォントのオプションを指定します。	
	デバイスフォントと代替*	TrueType フォントが含まれるデータを印刷するときに、同等のプリンタフォントを使います。印刷は高速化されますが、プリンタフォントでサポートされていない特殊文字は印刷されません。
	ソフトフォントとしてダウンロード	プリンタフォントを使わずに、TrueType フォントをダウンロードして印刷します。

ドキュメントのオプション

設定	機能	
詳細な印刷機能	印刷の詳細機能を有効にするかどうかを指定します。	
	有効	メタファイルスプーリングはオンになり、それぞれのプリンタに応じた、[ページの順序]、[ブックレット印刷]、[シートごとのページ数]などのオプションもオンになります。通常は [有効] に設定してください。
	無効	メタファイルスプーリングはオンになり、印刷オプションも利用不能になる可能性があります。互換性に関する問題が発生する場合は、[無効] に設定できます。
PostScript オプション	印刷データをファイルとして保存する際の条件を設定します。	
PostScript 出力オプション	PostScript ファイルの出力形式を指定します。	
	印刷処理が速くなるよう最適化	通常はこれを選択してください。
	エラーが軽減するよう最適化	Adobeの文書構造規約 (ADSC) に準拠したファイルで保存します。
	EPS (Encapsulated PostScript)	EPS ファイルとして保存します。
	アーカイブ形式	後で使用できる PostScript ファイルで保存します。
TrueType フォントダウンロードオプション	TrueType フォントのダウンロード方法を指定します。	
	自動	PostScript ドライバで最適な形式を自動的に決定します。
	アウトライン	TrueType フォントをスケラブルなアウトラインフォントとしてダウンロードします。
	ビットマップ	TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロードします。
	NativeTrueType	使用しているプリンタが TrueType ラスタライザプリンタの場合に選択します。
PostScript 言語レベル	使用する PostScript 言語レベルを、1 から、プリンタでサポートされている最高レベルまでの間で指定します。言語レベルが高いほど提供される機能が多くなるため、通常は利用できる最高の値を選択してください。ただし、出力したファイルをレベル 1 のプリンタで印刷する場合は、1 に設定してください。	
PostScript エラーハンドラを送信	PostScript エラーハンドラメッセージを送信するかどうかを指定します。	
	はい	印刷ジョブにエラーが発生したときに、プリンタでエラーページを印刷します。
	いいえ	エラーページを印刷しません。
左右反転印刷	印刷データを鏡に映したイメージ (左右に反転させたイメージ) で印刷するかどうかの設定をします。	
	はい	左右反転印刷します。
	いいえ	左右反転印刷しません。
プリンタの機能	プリンタの印刷オプションを設定します。	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があります。[解像度] では使用できない用紙は、 で表示されます。なお、*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせについては、後述の [スーパーマイクロフィード] の説明をお読みください。 以下のブラック系インクの組み合わせ (左端スロット + 左から 2 番目のスロット) で印刷してください。 	

設定	機能	
用紙種類 (続き)	普通紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi、720x360dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	MC 厚手マット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	MC 光沢紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi^{*1} 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC 写真用紙 [光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi^{*1}、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC 写真用紙 [半光沢]	
	MC フォトスタンダード紙 [光沢]	
	MC フォトスタンダード紙 [半光沢]	
	PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi^{*1}、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC 画材用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi^{*1} 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー
	PX_MC コットン画材用紙	
	光沢フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC バックライトフィルム	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi^{*1} 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	MC マット合成紙2	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi^{*1}、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	MC マット合成紙2 [のり付き]	
	MC_PM クロス [防災]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x360dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック

設定	機能	
用紙種類 (続き)	MC マット塩ビ [のり付き]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x360dpi*1、360x720dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	PX_MX プレミアムマット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー
	PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]	
	マットボード紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720x360dpi、720x720dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
	PX ブルーフ用紙 [微光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1、 2880x1440dpi 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー
	予約 1	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360x720dpi、720x720dpi、1440x720dpi*1 使用可能なブラック系インクの組み合わせ フォトブラック+グレー、 マットブラック+グレー、 マットブラック+マットブラック
予約 2		
解像度	プリンタの解像度（横×縦）を選択します。選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があり、利用できない [用紙種類] が選択されているとエラーメッセージを表示します。選択できる解像度は、[用紙種類] でご確認ください。	
	360x360dpi*	解像度を 360x360dpi に設定します。
	360x720dpi	解像度を 360x720dpi に設定します。
	720x360dpi	解像度を 720x360dpi に設定します。
	720x720dpi	解像度を 720x720dpi に設定します。
	1440x720dpi	解像度を 1440x720dpi に設定します。
	2880x1440dpi	解像度を 2880x1440dpi に設定します。
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー*	カラーで印刷します。
	黒	グレースケールで印刷します。 ※グレーインクは使用されません。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン (チェックあり)*	双方向印刷を行います。
	オフ (チェックなし)	双方向印刷を行いません。

設定	機能	
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 📖 本書 154 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC*	大日本インキ化学工業株式会社のDIC 標準色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義したCMYK 印刷色
RGB シミュレーション	RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。 📖 本書 154 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB*	Apple 社が定義する RGB 色
	CIE RGB	CIE RGB 色
	ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
	NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
	PAL_SECAM	PAL/SECAM方式のカラーモニタ色
	SMPTE	SMPTE 色
	sRGB	sRGB 色
	Wide RGB	Wide RGB 色
	カスタム	PS サーバに登録したカスタムプロファイルで定義したRGB 色
グレースケール制御	ブラックのテキストや画像をブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。[画像のみ] を選択すると、[テキストのみ] を選択する場合に比べて印刷に時間がかかります。	
	テキストのみ*	テキストやイラストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4 色のブラックで出力されます。
	画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストやイラストは、CMYK4 色のブラックで出力されます。
	すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
	オフ	ブラックはCMYK4 色のブラックで出力されます。
レンダリングintent	出力装置が再現できる色には限界があるため、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の属性を調整する必要があります。その属性に付けられる優先順位です。	
	知覚的	見栄えを重視して色を再現します。
	相対的な色域を維持*	光源と媒体の白色点（用紙の地色）を組み合わせる色を再現します。
	彩度	彩度を保持または強調して色を再現します。
	絶対的な色域を維持	光源だけで色を再現する。紙の地色のような白色点は補正されません。
自動回転	縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときにチェックしてください。	
	オン [xxx]	自動回転します。[xxx] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
	オフ*	自動回転しません。

設定	機能	
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オン	1 ページ印刷するごとに自動的にカットします。
	オフ*	印刷したページを自動的にカットしません。オプションのカッターユニットや市販のカッターなどを使って切り離してください。
枠線描画	ページの右端と下端に切り取り線（実線）を印刷します。ただし、[自動用紙切断] がオンの場合は、下端の切り取り線は印刷されません。	
	オン	切り取り線を印刷します。
	オフ*	切り取り線を印刷しません。
スーパーマイクロウィーブ	<ul style="list-style-type: none"> 行ごとのムラを最小限に抑えたい場合に機能をオンに設定します。ただし、印刷時間が長くなります。通常はオフに設定して印刷してください。オフのまま印刷ムラが目立つ場合に限り、オンに設定すると印刷ムラが発生しない場合があります。 前述の [用紙種類] に*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせは、[スーパーマイクロウィーブ] のオン / オフによって、印刷結果が変化します。 	
	オン	スーパーマイクロウィーブ印刷を行います。
	オフ*	スーパーマイクロウィーブ印刷を行いません。
フチなし	左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。なお、カスタム用紙サイズを選択しないと設定できません。 📖 本書 158 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン	フチなし印刷を行います。
	オフ*	フチなし印刷を行いません。

PX-6000/6000S の詳細オプション

以下の表でアスタリスク（* 印）の付く設定は工場出荷時の初期設定です。

用紙 / 出力

設定	機能
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。
部数	印刷する部数を最大 9999 部まで設定できます。EPSON PS Server の [初期設定] で [ラスタープールモード] を有効にすると、高速に印刷することができます。 📖 本書 165 ページ「初期設定」
部単位	本製品ではこの機能は使用できません。


グラフィックス

設定	機能	
イメージの色の管理	カラーグラフィックスの印刷に使用する、イメージカラーの管理 (ICM) オプションの一覧が表示されます。	
ICM の方法	カラーグラフィックスの印刷方法を指定します。	
	ICM 無効	イメージカラーの管理を無効にします。
	ホストシステムによる ICM 処理	データをプリンタに送る前に、ホストコンピュータで色補正を計算します。
	プリンタによる ICM 処理	プリンタで色補正を計算します。この場合、カラーの割り当て規則が作成され、プリンタにダウンロードされます。プリンタではこの規則に従ってドキュメントの色が調整されます。
プリンタ調整による ICM 処理	プリンタで色補正を計算します。この場合、カラーの割り当て規則は既にプリンタにダウンロードされており、もう一度作成してダウンロードし直すことはありません。	

設定	機能	
ICM の目的	良好な印刷結果が得られるように、カラーイメージの作成方法を指定します。	
	グラフィックス	グラフを印刷する場合や、鮮やかな色を使っている場合に選択します。
	画像	色が混ざり合っている写真や絵の場合に選択すると、コントラストを最大化します。
	色の校正	ドキュメントで使っている色を正確に整合させる必要があります。ドキュメントを印刷するプリンタにその色のインクが存在する場合に選択します。
	完全一致	ほかのプリンタからカラー設定をプレビューする場合に選択します。
拡大縮小	1%～1000%の範囲で拡大または縮小して印刷できます。	
TrueType フォント	TrueType フォントのオプションを指定します。	
	デバイスフォントと代替*	TrueType フォントが含まれるデータを印刷するときに、同等のプリンタフォントを使います。印刷は高速化されますが、プリンタフォントでサポートされていない特殊文字は印刷されません。
	ソフトフォントとしてダウンロード	プリンタフォントを使わずに、TrueType フォントをダウンロードして印刷します。

ドキュメントのオプション

設定	機能	
詳細な印刷機能	印刷の詳細機能を有効にするかどうかを指定します。	
	有効	メタファイルスプーリングはオンになり、それぞれのプリンタに応じた、[ページの順序]、[ブックレット印刷]、[シートごとのページ数]などのオプションもオンになります。通常は [有効] に設定してください。
	無効	メタファイルスプーリングはオフになり、印刷オプションも利用不能になる可能性があります。互換性に関する問題が発生する場合は、[無効] に設定できます。
PostScript オプション	印刷データをファイルとして保存する際の条件を設定します。	
PostScript 出力オプション	PostScript ファイルの出力形式を指定します。	
	印刷処理が速くなるよう最適化	通常はこれを選択してください。
	エラーが軽減するよう最適化	Adobe の文書構造規約 (ADSC) に準拠したファイルで保存します。
	EPS (Encapsulated PostScript)	EPS ファイルとして保存します。
	アーカイブ形式	後で使用できる PostScript ファイルで保存します。
TrueType フォントダウンロードオプション	TrueType フォントのダウンロード方法を指定します。	
	自動	PostScript ドライバで最適な形式を自動的に決定します。
	アウトライン	TrueType フォントをスケーラブルなアウトラインフォントとしてダウンロードします。
	ビットマップ	TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロードします。
	Native TrueType	使用しているプリンタが TrueType ラスタライザプリンタの場合に選択します。

設定	機能	
PostScript 言語レベル	使用する PostScript 言語レベルを、1 から、プリンタでサポートされている最高レベルまでの間で指定します。言語レベルが高いほど提供される機能が多くなるため、通常は利用できる最高の値を選択してください。ただし、出力したファイルをレベル 1 のプリンタで印刷する場合は、1 に設定してください。	
PostScript エラーハンドラを送信	はい	印刷ジョブにエラーが発生したときに、プリンタでエラーページを印刷します。
	いいえ	エラーページを印刷しません。
左右反転印刷	印刷データを鏡に映したイメージ（左右に反転させたイメージ）で印刷するかどうかの設定をします。	
	はい	左右反転印刷します。
いいえ	左右反転印刷しません。	
プリンタの機能	プリンタの印刷オプションを設定します。	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> 選択した [用紙種類] によって [解像度] に制限があります。[印刷品質] タブで設定されている [解像度] では使用できない用紙は、で表示されます。なお、*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせについては、後述の [スーパーマイクロフィード] の説明をお読みください。 以下のインクの組み合わせで印刷してください。 	
	EPSON スーパーファイン紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8 色モード、4 色モード
	PX マット紙 [薄手]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1 使用可能なインクの組み合わせ 8 色モード、4 色モード
	EPSON フォトマット紙: 顔料	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8 色モード、4 色モード
	PX_MC プレミアムマット紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1 使用可能なインクの組み合わせ 8 色モード、4 色モード
	EPSON 写真用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1、2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8 色モード
	EPSON 写真用紙 [絹目調]	
	PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1、2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8 色モード
	PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	
	PX_MC 写真用紙 [厚手 半光沢]	
	PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]	
PX ブルーフ用紙 [微光沢]	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi*1、2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8 色モード 	

設定	機能	
用紙種類 (続き)	画材用紙：顔料	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi^{*1} 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	PX_MC コットン画材用紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi^{*1} 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード
	MC マット合成紙2	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、360 × 720dpi、720 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	普通紙	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 360dpi、720 × 360dpi、720 × 720dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	予約 1	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 720 × 720dpi、1440 × 720dpi^{*1}、 2880 × 1440dpi 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
	予約 2	
	予約 3	<ul style="list-style-type: none"> 選択可能な解像度 360 × 720dpi、720 × 720dpi、1440 × 720dpi^{*1} 使用可能なインクの組み合わせ 8色モード、4色モード
予約 4		
解像度	選択した [解像度] によって [用紙種類] に制限があります。[用紙種類] では使用できない解像度は、  で表示されます。	
	360 × 360dpi [*]	解像度を 360 × 360dpi に設定します。
	360 × 720dpi	解像度を 360 × 720dpi に設定します。
	720 × 360dpi	解像度を 720 × 360dpi に設定します。
	720 × 720dpi	解像度を 720 × 720dpi に設定します。
	1440 × 720dpi	解像度を 1440 × 720dpi に設定します。
	2880 × 1440dpi	解像度を 2880 × 1440dpi に設定します。
インク	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー [*]	カラーで印刷します。
	グレースケール	グレースケール（階調）で印刷します。 ※グレイインクは使用されません。
双方向印刷	プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合はチェックを外してください。	
	オン [*]	双方向印刷を行います。
	オフ	双方向印刷を行いません。

設定	機能	
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 📖 本書 154 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	DIC*	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパの印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色
RGB シミュレーション	RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。 📖 本書 154 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	シミュレーションしません。
	Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB*	Apple 社が定義する RGB 色
	CIE RGB	CIE RGB 色
	ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
	NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
	PAL_SECAM	PAL/SECAM方式のカラーモニタ色
	SMPTE	SMPTE 色
	sRGB	sRGB 色
	Wide RGB	Wide RGB 色
	カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色
グレースケール制御	ブラックやグレーのテキストや画像を、ブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。	
	テキストのみ*	テキストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4 色のブラックで出力されます。
	画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストは、CMYK4 色のブラックで出力されます。
	すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
	オフ	ブラックは CMYK4 色のブラックで出力されます。
レンダリングインテント	出力装置が再現できる色には限界があるため、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の属性を調整する必要があります。その属性に付けられる優先順位です。本設定は、RGB シミュレーションのみに機能します。	
	知覚的	見えを重視して色を再現します。
	相対的な色域を維持*	光源と媒体の白色点（用紙の地色）を組み合わせで色を再現します。
	彩度	彩度を保持または強調して色を再現します。
	絶対的な色域を維持	光源だけで色を再現する。紙の地色のような白色点は補正されません。
自動回転	縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに [オン] を選択してください。	
	オン [xxx]	自動回転します。[xxx] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
	オフ*	自動回転しません。

設定	機能	
自動用紙切断	ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。	
	オフ*	印刷したページを自動的にカットしません。市販のカッターなどを使って切り離してください。
	1 カット	画像と画像の境界(ページとページの境界)をカットします。ただし、カット位置が微妙にズれる場合があります。
	2 カット	[用紙サイズ] を [xxx (フチなし)] (xxx は用紙サイズ) に設定し、複数部数または複数ページ印刷時のみ有効です。 [1 カット] を選択していて、カット位置の微妙なズレが気になる場合に選択します。 画像と画像の間を空けて印刷し、その前後 2 箇所をカットします。 なお、2 箇所カットすることによって、80 ~ 130mm 程度の切れ端が発生します。切れ端の長さは用紙の種類によって異なります。 📖 本書 185 ページ「[2 カット]」でのロール紙の切れ端の長さについて (PX-6000/6000S)」
枠線印刷	ページの右端と下端に切り取り線(実線)を印刷します。ただし、[自動用紙切断] がオンの場合は、下端の切り取り線は印刷されません。	
	オン	切り取り線を印刷します。
	オフ*	切り取り線を印刷しません。
スーパーマイクロウィーブ	<ul style="list-style-type: none"> 行ごとのムラを最小限に抑えたい場合に機能をオンに設定します。ただし、印刷時間が長くなります。通常はオフに設定して印刷してください。オフのまま印刷ムラが目立つ場合に限り、オンに設定すると印刷ムラが発生しない場合があります。 前述の [用紙種類] に*1 で示す [用紙種類] と [解像度] の組み合わせは、[スーパーマイクロウィーブ] のオン / オフによって、印刷結果が変化します。 	
	オン	スーパーマイクロウィーブ印刷を行います。
	オフ*	スーパーマイクロウィーブ印刷を行いません。
フチなし印刷	左右フチなし印刷を行うかどうかを設定します。[用紙サイズ] を [xxx (フチなし)] に設定した場合のみ [オン] を選択できます (xxx は用紙サイズ)。 📖 本書 158 ページ「フチなし印刷を行うには」	
	オン	フチなし印刷を行います。
	オフ*	フチなし印刷を行いません。

その他の印刷方法

通常の印刷方法とは異なるさまざまな印刷方法について説明します。



ポイント

以下のファイルは、アプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

- PostScript
- PDF Ver. 1.3 (Mac OS 8/9)、PDF Ver. 1.4 (Mac OS X、Windows 2000/XP)
- TIFF 条件、制限：
 - ・ベースラインに準拠。
 - ・カラー：YcbCr/ マルチページ / α チャンネルは非サポート。
- JPEG 条件、制限：
 - ・ベースライン形式をサポート。
 - ・プログレッシブ形式の圧縮等是非サポート。
 - ・1ピクセル=1ポイントで描画。
- EPS

直接印刷については、以下のページをお読みください。

本書 164 ページ「ファイルの直接印刷」

ファイルへの出力

AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PS (PostScript) ファイルまたは EPS (Encapsulated PostScript) ファイルとして保存することができます。



ポイント

• PSファイルやEPSファイルは、その元ファイルを作成したアプリケーションソフトがなくても印刷できます。以下のページをお読みください。

本書 153 ページ「ドラッグ&ドロップによる印刷」

本書 164 ページ「ファイルの直接印刷」

- Adobe® Acrobat® Distillerというアプリケーションソフトを使うと、PSファイルから PDF ファイルを生成することができます。
- EPS ファイルは、ほかのアプリケーションソフトで作成したファイルに組み込むことができます。

① [ファイル] メニューから [プリント] (または [印刷]) を選択します。

② 保存する範囲を設定して、[ファイルへ出力] にチェックマークを付けます。



① 保存するページ範囲を設定して

② チェックマークを付けます

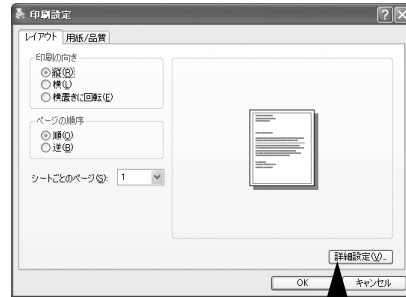


ポイント

EPS ファイルとして保存する場合は、1 ページを越えて保存することはできません。1 ページ分のページ範囲を指定してください。

- 3 EPSON PS Server が使用するプリンタを選択して、[詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。

- 4 [詳細設定] をクリックします。

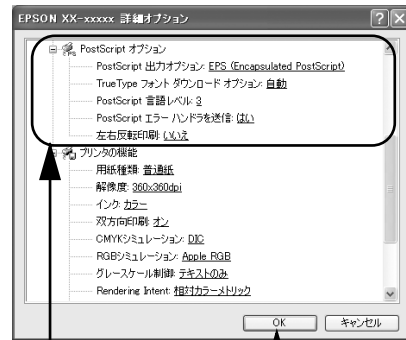


クリックします

- 5 [Post Script オプション] の各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。

各項目の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 135 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」

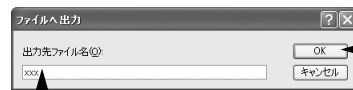


① 設定して

② クリックします

- 6 [印刷設定] ダイアログで [OK] ボタンをクリックし、[印刷] ダイアログで [印刷] ボタンをクリックします。

- 7 出力先のファイル名を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



① 入力して

② クリックします

ドラッグ&ドロップによる印刷

EPSON PS Server をインストールしてあるコンピュータであれば、ファイルへ出力した印刷ファイルを [EPSON PS Server] アイコンまたは EPSON PS Server のウィンドウに重ね合わせて（ドラッグ&ドロップ）印刷できます。また、アプリケーションソフトによってはドラッグ&ドロップで印刷できる PostScript/ EPS ファイルを作成できる場合があります。



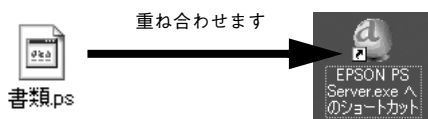
ポイント

- EPSON PS Server のショートカットを作成してデスクトップに置くと、簡単にドラッグ&ドロップして印刷できるので便利です。
- 通常の印刷より速く処理を終えて印刷を始められます。

- 1 印刷したいファイルをクリックして反転表示させます。
- 2 EPSON PS Server（またはそのショートカット）のアイコンまたはウィンドウにファイルをドラッグ&ドロップします。

選択したファイルをクリックしたまま、マウスを操作して EPSON PS Server（またはショートカット）のアイコンまたはウィンドウの上に重ね合わせ、マウスボタンを離します。EPSON PS Server はドロップしたファイルを読み込んで印刷を始めます。

<例：EPSON PS Server のショートカットにドラッグ&ドロップする場合>



ポイント

- [印刷設定] ダイアログは表示されません。読み込んだファイルは EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] で設定した印刷条件に従って印刷されます。なお、ファイル出力時や PostScript/ EPS ファイル作成時に [印刷設定] や [詳細オプション] ダイアログの設定を行っている場合は、それらの設定が EPSON PS Server の [プリンタ初期設定] より優先されます。
[本書 167 ページ「プリンタ初期設定」](#)
- ファイルをドラッグ&ドロップしても EPSON PS Server が反転表示しない場合は、デスクトップの更新を実行してください。

[ファイル] メニューから印刷

EPSON PS Server の [ファイル] メニューから [開く] を選択し、印刷したいファイルを直接開いて印刷することができます。

印刷できるファイル形式と印刷方法については、以下のページを参照してください。

[本書 164 ページ「ファイルの直接印刷」](#)

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは

CMYK シミュレーション

ほとんどの PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版 (PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード > など) は、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色 (CMYK カラー) を再現 (シミュレーション) することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ (Eurostandard) の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー)
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 📖 本書 171 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB シミュレーション

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト (Photoshop < RGB カラーモード >) は、モニタで使用する RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB シミュレーション機能を使用することにより、使用するモニタの色 (RGB カラー) を再現 (シミュレーション) することができます。本製品でシミュレーションできる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB シミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義した RGB 色 📖 本書 171 ページ「カラーマネージャ設定」



ポイント

本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、相関色温度 5,000K の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネジメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。

📖 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネジメント機能を設定する場合の注意」

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。



ポイント

印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1 印刷するファイルを作成します。

- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。



ポイント

Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書をお読みください。

2 [プリント] ダイアログを開きます。

📖 本書 131 ページ「印刷の手順」

3 EPSON PS Server が使用するプリンタを選択して、[詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。

4 [印刷設定] ダイアログの [用紙 / 品質] タブをクリックし、[色] で [カラー] を選択します。



①クリックして

②クリックします



ポイント

必ず[カラー]を選択してください([白黒]ではカラーシミュレーションされません)。

5 [詳細設定] ボタンをクリックします。

6 [ドキュメントのオプション] の [プリンタの機能] の [インク] で [カラー] を選択します。

[白黒]、[黒] または [グレースケール] を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。

7 [CMYKシミュレーション] と [RGBシミュレーション] で、シミュレーションの対象となる印刷機色のプロファイルを選択して、[OK] をクリックします。

- CMYKシミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYKシミュレーション
オフ	CMYKシミュレーション機能を使用しません。
DIC (初期設定)	大日本インキ化学工業株式会社のDIC標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ(Eurostandard)の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPAカラー) をシミュレーションするプロファイルです。
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 📖 本書 171 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGBシミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGBシミュレーション
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe社が定義するRGB色
Apple RGB (初期設定)	Apple社が定義するRGB色
CIE RGB	CIE RGB色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB色
NTSC	NTSC方式のカラーモニタ色
PAL_SECAM	PAL/SECAM方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE色
sRGB	sRGB色
Wide RGB	Wide RGB色
カスタム	EPSON PS Server の [カラーマネージャ設定] ダイアログで登録したカスタム RGB プロファイルで定義したRGB色をシミュレーションします。 📖 本書 171 ページ「カラーマネージャ設定」



ポイント

- CMYK/RGB どちらのシミュレーションも行わない場合は(プリンタ本来の色で印刷する場合は)、[オフ] を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージャ機能を設定する場合は、必ず [オフ] を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
📖 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージャ機能を設定する場合の注意」
- カスタムプロファイルを EPSON PS Server に登録する方法については、以下のページをお読みください。
📖 本書 171 ページ「カラーマネージャ設定」

8 [印刷設定] ダイアログで [OK] ボタンをクリックし、[印刷] ダイアログで [印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。

フチなし印刷を行うには

通常の印刷では、プリンタの構造上どうしても用紙の四辺に余白ができてしまい、用紙いっぱいに印刷することができません。本機のフチなし印刷機能を使用すると、用紙の四辺または左右にフチ（余白）のない印刷が可能になります。操作の手順は以下のページをお読みください。

📖 本書 161 ページ「フチなし印刷の手順」

フチなし印刷が可能な用紙とサイズ

本製品でフチなし印刷が可能な用紙とサイズは、お使いのプリンタの機種によって異なります。使用する用紙の種類に合わせて [用紙種類] を設定し、サイズに合わせて [用紙サイズ] でカスタム用紙サイズ* (PM-4000PX、PX-7000/9000) または [xxx (フチなし)] (PX-6000/6000S) を選択してください。

* カスタム用紙サイズは、[PostScript カスタムページサイズの定義] ダイアログで作成します。



ポイント

- 以下のエプソン純正専用紙をお使いいただくことをお勧めします。下記以外の組み合わせでは、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。
- 市販の用紙をお使いいただく場合、対応する [用紙種類] の設定については、用紙の取扱説明書をお読みください（不明な場合は、用紙メーカーにお問い合わせください）。用紙によっては、プリントヘッドがこすれて印刷結果が汚れるおそれがあります。試し印刷することをお勧めします。

PM-4000PX：定形紙（四辺フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
MC マット紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	MC マット紙	カスタム用紙サイズ • 幅、高さとも： 用紙サイズ + 0.6cm • 用紙フィーダの大きさ に対するオフセット： 0cm
PM/MC 写真用紙<半光沢> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	MC 写真用紙	
PM 写真用紙<半光沢> L 判 (89 × 127mm)、2L 判 (127 × 178mm)	MC 写真用紙	
PM マットハガキ ハガキ (100 × 148mm)	MC マット紙	
官製ハガキ ハガキ (100 × 148mm)	普通紙	
市販の定形紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)、ハガキ (100 × 148mm)、L 判 (89 × 127mm)、2L 判 (127 × 178mm)	対応する [用紙種類] を選択	

PM-4000PX：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
PM/MC 写真用紙ロールタイプ<半光沢> L判 (89mm)、ハガキ (100m)、A4 (210mm)、 A3 ノビ (329mm)	MC 写真用紙	カスタム用紙サイズ ● 幅：ロール紙幅+0.6cm ● 高さ：任意のサイズ ● 用紙フィーダの大きさ に対するオフセット： 0cm
PM 写真用紙ロールタイプ<半光沢> 2L判 (127mm)	MC 写真用紙	
MC マット紙ロールタイプ L判 (89mm)、ハガキ (100m)	MC マット紙	
市販のロール紙 L判 (89mm)、ハガキ (100m)、2L判 (127mm)、 A4 (210mm)、A3 ノビ (329mm)	対応する [用紙種類] を選択	

PX-7000/9000：単票紙（左右フチなし）の場合

単票紙は A4 サイズのみ、左右のみフチなし印刷が可能です（上下はフチなし印刷できません）。

用紙名 / A4 サイズ	用紙種類	用紙
上質普通紙	普通紙	カスタム用紙サイズ ● 幅、高さ： 21.6 × 30.3cm ● 用紙フィーダの大きさ に対するオフセッ ト：0cm
両面上質普通紙<再生紙>	普通紙	
MC 光沢紙 A4	MC 光沢紙	
マットボード紙	マットボード紙	
市販の単票紙	対応する [用紙種類] を選択	

* MC 画材用紙は A4 サイズがないため、フチなし印刷はできません。

PX-7000/9000：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ ^{*1}	用紙種類	用紙
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 光沢> 24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	カスタム用紙サイズ ● 幅：ロール紙幅+0.24 インチ (0.6cm) ● 高さ：任意のサイズ ● 用紙フィーダの大きさ に対するオフセッ ト：0cm
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 絹目> 10 インチ、24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 微光沢> 24 インチ、36 インチ、44 インチ	PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]	
市販のロール紙 PX-7000： 8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、 14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 インチ PX-9000： 8 インチ、210mm、10 インチ、12 インチ、 14 インチ、16 インチ、20 インチ、24 イン チ、36 インチ、44 インチ	対応する [用紙種類] を選択	

*1 PX-7000 で使用できるロール紙幅は、24 インチまでです。

PX-6000/6000S：単票紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
両面上質普通紙<再生紙> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)	普通紙	用紙サイズ： xxx（フチなし） （xxx は用紙サイズ）
スーパーファイン紙 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON スーパーファイン紙	
フォトマット紙 / 顔料専用 A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON フォトマット紙 / 顔料	
画材用紙 / 顔料専用 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 画材用紙 / 顔料	
写真用紙<光沢> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、 A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 写真用紙	
写真用紙<絹目調> A4 (210 × 297mm)、A3 (297 × 420mm)、A3 ノビ (329 × 483mm)	EPSON 写真用紙<絹目調>	
PX ブルーフ用紙<微光沢> A3 ノビ (329 × 483mm)	PX ブルーフ用紙<微光沢>	

PX-6000/6000S：ロール紙（左右フチなし）の場合

用紙名 / サイズ	用紙種類	用紙
PX マット紙<薄手>ロール 420mm ^{*1}	PX マット紙<薄手>またはPX マット紙<薄手>（線画）	用紙サイズ： xxx（フチなし） （xxx は用紙サイズ）
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙<厚手 光沢>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 半光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙 <厚手 半光沢>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 絹目> 10 インチ、16 インチ	PX/MC 写真用紙<厚手 絹目>	
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 微光沢> 16 インチ	PX/MC 写真用紙 <厚手 微光沢>	
PX/MC プレミアムマット紙ロール 17 インチ	PX/MC プレミアムマット紙	
PX/MC コットン画材用紙ロール 17 インチ	PX/MC コットン画材用紙	
MC マット合成紙 2 ロール 17 インチ	MC マット合成紙 2	
PX ブルーフ用紙ロール<微光沢> 329mm、17 インチ	PX ブルーフ用紙<微光沢>	
市販のロール紙 210mm、10 インチ、257mm、297mm、 300mm、12 インチ、329mm、14 インチ、 400mm、16 インチ、420mm ^{*1} 、17 インチ	対応する [用紙種類] を選択	

*1 420mm でフチなし印刷する場合は、420mm（16.5 インチ）ロール紙フチなし印刷用スペーサを使用してください。




ポイント

- エプソン純正専用ロール紙には、210mm、12 インチ、14 インチ、400mm の用紙はありません。
- ロール紙幅より狭い用紙サイズの画像データを作成した場合、右側はフチなしとなるように手動でカットしてください。

フチなし印刷の手順

フチなし印刷を行うには、以下の手順に従ってください。

 **ポイント**

- アプリケーションソフトによっては、連続のフチなし印刷ができないものがあります。
- PM-4000PX または PX-7000/9000 の場合、フチなし印刷は、フォトブラックインク（左端スロット）とグレーインク（左から 2 番目のスロット）の組み合わせで印刷してください。それ以外のブラック系インクの組み合わせで、フチなし印刷は行えません。
- ロール紙でのフチなし印刷の場合、プリンタドライバの設定（[フチなし] / [自動カッター]）と、操作パネル（パネル設定モード）の設定（[フチなし設定]）の組み合わせで、用紙カット動作が異なります。プリンタの「スタートアップガイド」、「こんなときは」の「フチなし印刷するには」を参照して、必要な設定をしてください。

- ① お使いのプリンタの機種に応じて、フチなし印刷可能な種類とサイズの紙（定形紙、ロール紙、単票紙）を用意し、プリンタにセットします。

📖 本書 158 ページ「フチなし印刷が可能な用紙とサイズ」

- ② アプリケーションソフトで、① で用意した紙サイズより 0.6cm 大きめに印刷データを作成します。

用紙サイズの設定方法やデータの作成方法については、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

- 定形紙、単票紙の場合は、縦 / 横の大きさを以下のように設定して印刷データを作成します。

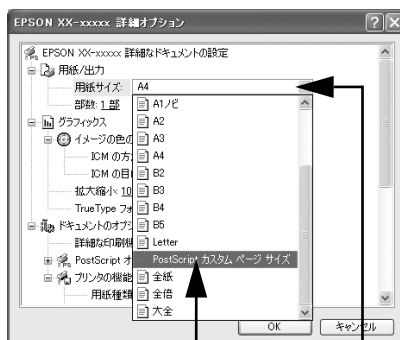
PM-4000PX：用紙サイズの縦 / 横それぞれ 0.6cm 大きな印刷データ。

PX-7000/9000/6000/6000S：用紙サイズより 0.6cm 横に広い印刷データ。縦（高さ）は任意のサイズ。

- ロール紙の場合は、ロール紙幅より 0.6cm 横に広い印刷データを作成します。縦（高さ）は任意のサイズです。

- ③ PM-4000PX または PX-7000/9000 の場合は [詳細オプション] ダイアログの [用紙サイズ] で、[PostScript] カスタムページサイズ] を選択します。

PX-6000/6000S の場合、[用紙サイズ] でも設定できますが、ここでは ⑤ に進みます。

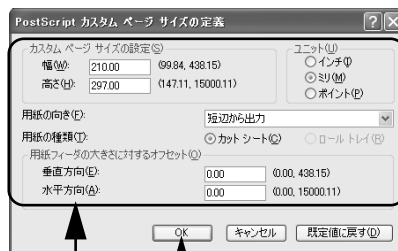


② クリックします ① クリックして

<例> 上記画面は PX-7000 の場合

- 4 [Post Script カスタムページサイズの定義] ダイアログで、フチなし印刷で使用するカスタム用紙サイズを作成して、[OK] ボタンをクリックします。

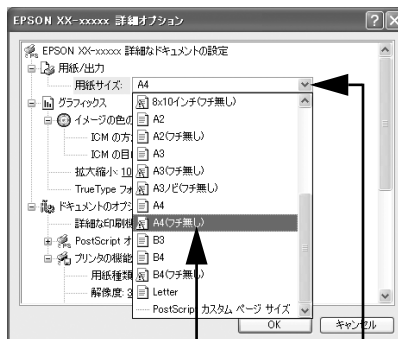
- カスタム用紙サイズは、②で作成した印刷データの寸法に合わせて作成してます。
- [用紙フィーダの大きさに対するオフセット] は [0] とします。



- ①作成して ②クリックします

- 5 [詳細オプション] ダイアログの [用紙サイズ] を選択します。

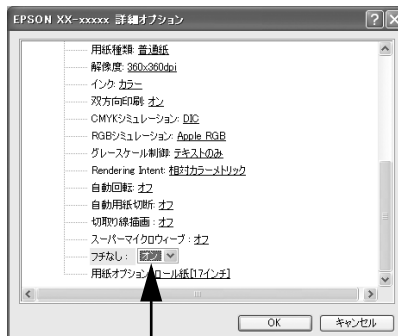
- PM-4000PXまたはPX-7000/9000の場合は、[PostScript カスタムページサイズ] を選択します。
- PX-6000/6000Sの場合は、[xxx (フチなし)] を選択します (xxx は用紙サイズ)。



- ②クリックします ①クリックして

<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合

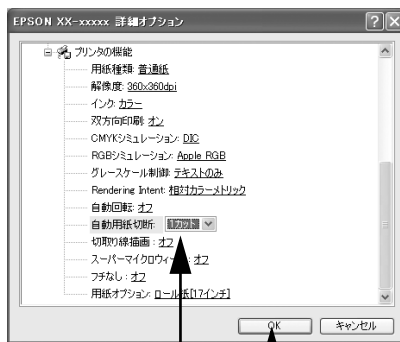
- 6 [ドキュメントのオプション] の [プリンタの機能] の [フチなし] を [オン] に設定します。



設定します

7 ロール紙をお使いの場合は [自動用紙切断] を設定し、[プリント] ボタンをクリックして [OK] ボタンをクリックします。

- 定形紙、単票紙をお使いの場合は、[自動用紙切断] を設定しないで、[プリント] ボタンをクリックして印刷を実行します。
- PM-4000PX にオプションのロール紙オートカッターを装着してロール紙を使用する場合は、[自動用紙切断] をオンにすると用紙上下端もフチなし印刷を行います。
- PX-7000/9000 の場合は、[自動用紙切断] をオンにすると用紙上下端もフチなし印刷を行います。
- PX-6000/6000S の場合は、[自動用紙切断] を [1 カット] または [2 カット] に設定すると用紙上下端もフチなし印刷を行います。



①設定して ②クリックします

<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合



ポイント

- ロール紙で四辺フチなし印刷を行う場合は、必ず [自動用紙切断] を [オン] (PM-4000PX、PX-7000/9000)、[1 カット] または [2 カット] (PX-6000/6000S) に設定します。
- ロール紙に左右フチなし印刷を行う場合は、[自動用紙切断] は任意に設定します (各ページは自動でカットするか、手動でカットしてください)。
- 単票紙をお使いの場合は、[自動用紙切断] は設定しません。
- PX-7000/9000 または PX-6000/6000S で [自動用紙切断] をオフにして [枠線描画] (PX-7000/9000) または [枠線印刷] (PX-6000/6000S) をオンにしている場合は、すべてのカット位置で自動カットしないで切り取り線を印刷します。
- PX-7000/9000 でロール紙を使ってフチなし印刷を行う場合は、AdobePS ドライバの設定 ([フチなし] / [自動用紙切断]) と操作パネルのパネル設定モードの設定 ([フチナシセッテイ]) の組み合わせによって、用紙カット動作が異なります。パネル設定モードの [フチナシセッテイ] については、プリンタ本体の取扱説明書をお読みください。

EPSON PS Server の使用方法

ファイルの直接印刷

本製品は、以下のファイルにネイティブ対応していますので、これらの形式のファイルはアプリケーションを起動することなく直接印刷できます。

- PostScript
- PDF Ver. 1.3 (Mac OS 8/9)、PDF Ver. 1.4 (Mac OS X、Windows 2000/XP)
- TIFF
- JPEG
- EPS

[ファイル] メニューから [開く] を選択します。印刷したいファイルを選択して、[開く] ボタンをクリックしてください。

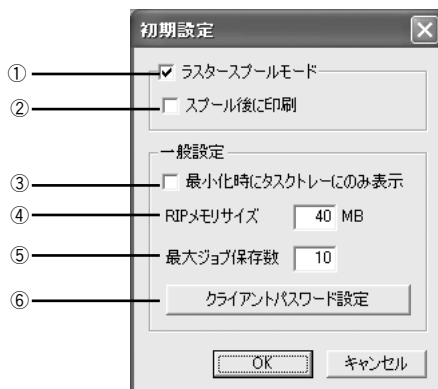


PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを直接印刷する場合の、印刷設定は [プリンタ初期設定] ダイアログで設定できます。

本書 167 ページ「プリンタ初期設定」

初期設定

EPSON PS Server が備える基本機能の初期状態を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [初期設定] を選択します。



① ラスタースプールモード

クリックしてチェックマークを付けると、ラスタースプール（高速コピー）モードが有効となります。部単位印刷を行う場合に、より高速に印刷することができます。

② スプール後に印刷

印刷データをハードディスクにスプールして印刷するタイミングを設定します。

- オフ（チェックマークなし）の場合は、1 部目の印刷データはハードディスクにスプールしながら印刷し、2 部目からはスプールしたラスタータデータを直接プリンタへ送って印刷します。ただし、部数指定が 1 の場合は、スプールしません。
- オン（チェックマークあり）の場合は、最初に印刷データをすべてハードディスクにスプールします。そして、1 部目からスプールしたラスタータデータをプリンタへ送って印刷します。



ポイント

[スプール後に印刷] をオフに設定した場合、1 部目の印刷データをスプールする途中でプリントヘッドが一時的に停止して印刷ムラが発生する可能性があります。印刷ムラが発生する場合は、[スプール後に印刷] をオンに設定して印刷してください。

③ 最小化時にタスクトレイにのみ表示

クリックしてチェックマークを付けると、EPSON PS Server ウィンドウを最小化したときに、タスクバー右側のタスクトレイにアイコンで表示します。

④ RIP メモリサイズ

PostScript インタープリタが使用可能な最大メモリサイズを設定します。20MB から設定できます。（工場出荷時の初期値＝ 128MB）

⑤ 最大ジョブ保存数

保存できるジョブの最大数を設定します。1～99まで設定できます。設定数を超えるジョブを受信した場合、古いジョブから順に削除されます。

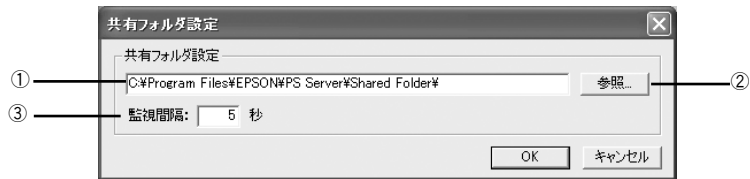
⑥ クライアントパスワード設定

クリックして表示される [PS Manager パスワード] 画面で、クライアントの EPSON PS Manager が接続するときに必要なパスワードを設定します。半角で 32 文字まで設定できます。

テキストボックスにパスワードを入力し、[OK] をクリックするとパスワードが設定されます。次回 EPSON PS Server を起動したときに、パスワードが有効になります。

共有フォルダ設定

EPSON PS Server が監視するフォルダを設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [共有フォルダ設定] を選択します。



①フォルダパス

共有するフォルダをフルパスで指定します。

初期設定では、「インストール先のフォルダ¥Shared Folder¥」が指定されています。

②参照

クリックすると、フォルダを指定するダイアログが表示されます。ここで指定したフォルダがフォルダパスに表示されます。

③監視間隔

設定した時間 (5 ~ 999 秒) ごとに共有フォルダを定期的に監視します。(工場出荷時の初期値 =5 秒)

プリンタ初期設定

EPSON PS Server が印刷を行うときの初期条件を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [プリンタ初期設定] を選択します。ここで設定した印刷条件は、アプリケーションソフトで作成した PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを、EPSON PS Server から直接印刷する場合 (アプリケーションソフトから印刷しない場合) に有効となります。なお、ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。

📖 本書 164 ページ「ファイルの直接印刷」

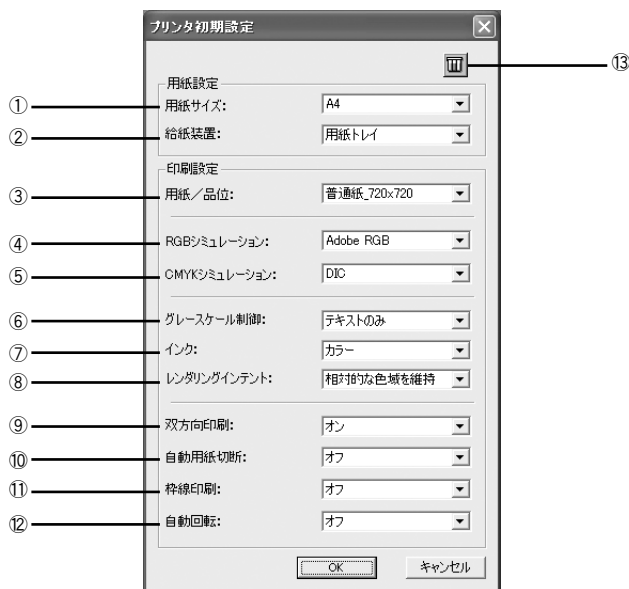


ポイント

- アプリケーションソフトから印刷する場合は、印刷時のプリンタドライバの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバを使って PS または EPS ファイルに出力して保存した場合は、出力時点でのプリンタドライバでの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- [プリンタ初期設定] ダイアログでは、スーパーマイクロフィードとフチなし印刷の設定はできません。[詳細オプション] ダイアログで設定してください。

📖 本書 135 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」

<例> PX-6000/6000S の場合



PM-4000PX の場合は、⑧ [レンダリングインテント]、⑪ [枠線印刷]、⑫ [自動回転] はご利用いただけません。

PX-7000/9000 の場合は、⑧ [レンダリングインテント] はご利用いただけません。

① 用紙サイズ

印刷で使用する用紙のサイズを選択します。選択できる用紙サイズはプリンタの機種によって異なります。

TIFF ファイルと JPEG ファイルの場合は、画像のサイズが用紙のサイズになります。

② 給紙方法

用紙の給紙方法を選択します。選択できる給紙方法はプリンタの機種によって異なります。

③ 用紙 / 品位

印刷で使用する用紙の種類と解像度の組み合わせを選択します。選択できる用紙 / 品位はプリンタの機種によって異なります。

④ RGB シミュレーション

RGB モニタの色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。

設定	シミュレーションする RGB 色
オフ	シミュレーションしません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色 (工場出荷時の初期設定)
CIE RGB	CIE RGB 色
ColorMatch RGB	ColorMatch RGB 色
NTSC	NTSC 方式のカラーモニタ色
PAL/SECAM	PAL/SECAM 方式のカラーモニタ色
SMPTE	SMPTE 色
sRGB	sRGB 色
Wide RGB	Wide RGB 色
カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

⑤ CMYK シミュレーション

オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。

設定	シミュレーションする CMYK 色
オフ	シミュレーションしません。
DIC	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色 (工場出荷時の初期設定)
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパの印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー (JMPA カラー)
カスタム	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

⑥ グレースケール制御

ブラックやグレーのテキストや画像を、ブラックのインクを優先的に使用して印刷する場合に選択します。

設定	説明
テキストのみ	テキストに、グレースケール制御を適用します。画像は、CMYK4 色のブラックで印刷されます。(工場出荷時の初期設定)
画像のみ	画像に、グレースケール制御を適用します。テキストは、CMYK4 色のブラックで印刷されます。
すべて	すべてに、グレースケール制御を適用します。
オフ	ブラックは CMYK 4 色のブラックで出力されます。

⑦ インク

カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。

設定	説明
カラー	カラーで印刷します。(工場出荷時の初期設定)
グレースケール	モノクロ(白黒)で印刷します。

⑧ レンダリングIntent

出力装置が再現できる色には限界があるため、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の属性を調整する必要があります。その属性に付けられる優先順位です

設定	説明
知覚的	見栄えを重視して色を再現します。
相対的な色域を維持*	光源と媒体の白色点(用紙の地色)を組み合わせで色を再現します。
彩度	彩度を保持または強調して色を再現します。
絶対的な色域を維持	光源だけで色を再現する。紙の地色のような白色点は補正されません。

⑨ 双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するかどうかを設定します。ただし、双方向印刷を行うと印刷品質が多少低下する場合がありますので、より高品質な印刷を行いたい場合は「オフ」を選択してください。

設定	説明
オン	双方向印刷を行います。(工場出荷時の初期設定)
オフ	双方向印刷を行いません。

⑩ 自動用紙切断

ロール紙をページごとに自動的にカットするかどうかを設定します。

設定	説明
オン(チェックあり) (PM-4000PX、PX-7000/ 9000)	1ページ印刷するごとに自動的にカットします*。 * プリンタの機種によっては、オプションのロール紙オートカッターが必要です。
1カット (PX-6000/6000S)	画像と画像の境界(ページとページの境界)をカットします。 ただし、カット位置が微妙にズレる場合があります。
2カット (PX-6000/6000S)	[詳細オプション] ダイアログの[用紙サイズ]を[xxx(フチなし)](xxxは用紙サイズ)に設定した場合のみ有効です。 [1カット]を選択して、カット位置の微妙なズレが気になる場合に選択します。 画像と画像の間を空けて印刷し、その前後2箇所をカットします。 なお、2箇所カットすることによって、80～130mm程度の切れ端が発生します。切れ端の長さは用紙の種類によって異なります。 本書185ページ「[2カット]でのロール紙の切れ端の長さについて(PX-6000/6000S)」
オフ	印刷したページを自動的にカットしません。オプションのカッターユニット*や市販のカッターなどを使って切り離してください。(工場出荷時の初期設定) * プリンタの機種によってはご利用いただけません。

⑪ 枠線印刷

ページの右端と下端に切り取り線(実線)を印刷します。

設定	説明
オン	切り取り線を印刷します。
オフ	切り取り線を印刷しません。(工場出荷時の初期設定)

⑫ 自動回転

縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に 90 度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。ロール紙を無駄なく使いたいときに [オン] を選択してください。この機能をご利用いただけないプリンタの場合は表示されません。

設定	説明
オン [XXX]	自動回転します。[XXX] はロール紙の幅です。使用するロール紙に合わせて選択してください。
オフ	自動回転しません。(工場出荷時の初期設定)

⑬ インク情報アイコン

クリックすると、[インク情報] ダイアログが表示されます。



<例>上記画面は PX-6000/6000S の場合
プリンタの機種によって画面は異なります

[カートリッジオプション] でプリンタにセットされているインクカートリッジを選択し、[OK] ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。

[カートリッジオプション] の選択肢は以下のとおりです。

プリンタ	設定	説明
PM-4000PX	フォトブラック + グレー	プリンタにセットされているブラック系インクカートリッジがフォトブラックとグレーの場合に選択します。
	マットブラック + グレー	プリンタにセットされているブラック系インクカートリッジがマットブラックとグレーの場合に選択します。
PX-7000/9000	フォトブラック + グレー	プリンタにセットされているブラック系インクカートリッジがフォトブラックとグレーの場合に選択します。
	マットブラック + グレー	プリンタにセットされているブラック系インクカートリッジがマットブラックとグレーの場合に選択します。
	マットブラック × 2	プリンタにセットされているブラック系インクカートリッジがマットブラック 2 本の場合に選択します。
PX-6000/6000S	フォトインクセット	プリンタにセットされているインクカートリッジが 8 色モードの場合に選択します。
	高速 4 色インクセット	プリンタにセットされているインクカートリッジが 4 色モードの場合に選択します。

カラーマネージャ設定

EPSON PS Server のカラーマネージャ機能を設定するには、EPSON PS Server の [編集] メニューから [カラーマネージャ] を選択します。



① CMYK

CMYK シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

② プロファイル名

①のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のCMYKシミュレーションプロファイルを表示します。各標準プロファイルに対応する特殊なプロファイルを選択する場合や、①で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] ボタンをクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。



ポイント

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [詳細オプション] ダイアログで選択する CMYK シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

③ 色調整

①のメニューで選択している CMYK シミュレーションプロファイルに対して、さらに色の調整をする場合はトーンカーブアイコンをクリックして [トーンカーブ] ダイアログを開きます。標準およびカスタムどちらのプロファイルに対しても、微調整することができます。トーンカーブで調整を行うと、[調整済み] と表示されます。

📖 本書 172 ページ [[トーンカーブ] ダイアログ]



ポイント

トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] ボタンをクリックしてから、[保存] ボタンをクリックしてください。

④ RGB

RGB シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

⑤ プロファイル名

④のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際のRGBシミュレーションプロファイルを表示します。各標準プロファイルに対応する特殊なプロファイルを選択する場合や、④で [カスタム] を選択した場合は、ここで [+] ボタンをクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。



ポイント

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの [詳細オプション] ダイアログで選択する RGB シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書をお読みください。

⑥ 用紙

印刷で使用する用紙種類と解像度の組み合わせを選択します。

⑦ プロファイル名

⑥のメニューで選択している用紙名に対応する実際の用紙プロファイルを表示します。

⑧ 用紙調整

各用紙に設定されている用紙の情報を表示します。[+] ボタンをクリックすると [用紙調整] ダイアログが開きますので、必要に応じて用紙関連の設定を行ってください。
 本書 174 ページ [[用紙調整] ダイアログ]

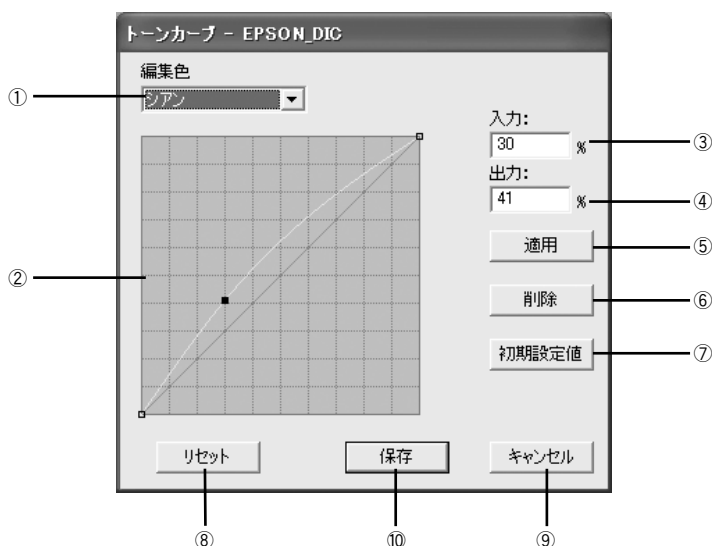
⑨ リセット

[カラーマネージャ] ダイアログで変更した設定を工場出荷時の設定に戻します。

[トーンカーブ] ダイアログ

[カラーマネージャ設定] ダイアログの [色調整] にあるトーンカーブアイコンをクリックすると、[トーンカーブ] ダイアログが開きます。選択している CMYK プロファイルで定義している色濃度に対して、さらに濃度調整を行えます。

本書 171 ページ [③ 色調整]



① 編集色

調整する色を [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]、[ブラック] の中から選択します。

② トーンカーブ

CMYK プロファイルが定義している色濃度（入力値）が実際にどの色濃度（出力値）で印刷されるかの相関関係を、最初は 45 度の直線で表示します（CMYK プロファイルで定義しているトーンカーブをそのまま再現しません）。任意の色濃度位置（入力値）をドラッグして、出力値を調整できます。また、[入力] と [出力] で指定した値をグラフィカルに表示することもできます。

③ 入力

調整対象となる色濃度（入力値）をパーセントで直接指定できます。

④ 出力

[入力] で指定した色濃度に対して、実際にどの色濃度で出力するかをパーセントで直接指定できます。

⑤ 適用

[入力] と [出力] で指定した値を、トーンカーブに反映させるときにクリックします。

⑥ 削除

トーンカーブでクリックして選択した入出力点を削除します。

⑦ 初期設定値

[編集色] で選択した色のトーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑧ リセット

すべての設定をリセットし、トーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑨ キャンセル

変更した設定値をキャンセルするときをクリックします。

⑩ 保存

調整したトーンカーブを記憶して、ダイアログを閉じます。トーンカーブが調整された場合は、[カラーマネージャ設定] ダイアログの [色設定] に [調整済み] と表示します。



ポイント

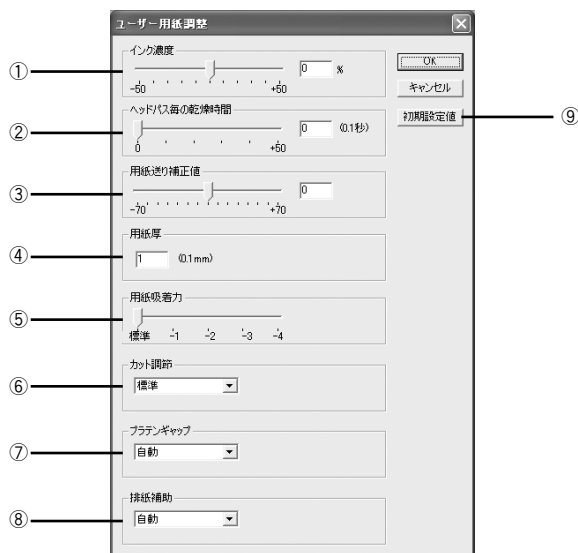
トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、[トーンカーブ] ダイアログで [リセット] ボタンをクリックしてから、[保存] ボタンをクリックしてください。

【用紙調整】 ダイアログ

【カラーマネージャ設定】ダイアログの【用紙情報】にある【+】ボタンをクリックすると、【用紙調整】ダイアログが開きます。ここで設定できる機能は、プリンタの機種によって異なります。

本書 172 ページ「⑧ 用紙調整」

<例> PX-6000/6000S の場合



PM-4000PX の場合は、①【インク濃度】以外のご利用いただけません。

PX-7000/9000 の場合は、⑦【プラテンギャップ】と⑧【排紙補助】をご利用いただけません。

① インク濃度

インク濃度（濃淡）を標準値からの割合で調整できます。インク濃度は、スライドバーを左（より薄い -50%）または右（より濃い +50%）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0%）。



ポイント

強い色調が求められる POP 印刷用にインク濃度を上げたり、ランニングコストを抑えた試し印刷用にインク消費量を減らすために濃度を下げたりできません。

② ヘッドパス毎の乾燥時間

インクが乾燥するまでプリントヘッドの往復移動を停止する時間（乾燥時間）を設定できます。インク乾燥時間は、スライドバーを左端（標準 0 秒）から右（最長 +50）へ動かすか、ボックスに直接秒数（0.1 秒単位）を入力して設定します（初期値：0 秒）。



ポイント

- インク濃度を上げたときなどインクが乾きにくいことがありますので、必要に応じて調整してください。
- 用紙によっては、乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。

③ 用紙送り補正值

用紙送りの補正值を調整できます。補正值は、スライドバーを左（より少なく -70）または右（より多く +70）へ動かすか、ボックスに直接数値を入力して設定します（初期値：0）。



ポイント

プリンタの個体差によって、エプソン純正専用紙を使っても用紙送りがずれる場合があります。また、エプソン純正専用紙以外の用紙に合わせて正確に用紙が送られるように調整する必要がある場合があります。これらの場合に、用紙送りを調整してください。

④ 用紙厚

用紙厚を設定できます。用紙厚は 0.1mm 単位で 1（0.1mm）から 16（1.6mm）までの間で直接数値を入力します（初期値は選択されている [用紙種類] によって異なります。また、実際に設定可能な値の範囲は、プリンタによって異なります）。



ポイント

エプソン純正専用紙以外の用紙を使う場合、その用紙の厚さを正確に設定することができます。

⑤ 用紙吸着力

用紙をプラテン上で安定させるための吸着力を標準値からの割合で設定できます。用紙の吸着力は、スライドバーを左端（標準 100%）から、-1（50%）-2（30%）-3（10%）-4（最小 6%）へ動かして設定します（初期値：100%）。



ポイント

用紙が薄いと、吸着力が強すぎてロール紙をセットしづらかったり、うまく紙送りされないことがあります。このような場合は吸着力を弱めに設定してください。

⑥ カット調整

用紙自動カット時のカッターの圧力を設定できます。カット調整の選択肢は、プリンタの機種によって異なります（初期値：自動）。

PX-7000/9000 : [自動]、[薄紙]、[極薄紙]

PX-6000/6000S : [自動]、[薄紙]、[厚紙、高速]、[厚紙、低速]



ポイント

薄い用紙を強くカットすると、カット端で用紙が破れることがあります。このような場合は用紙厚に合わせて [薄紙] または [極薄紙] に設定してください。

⑦ プラテンギャップ

プリントヘッドと用紙の間隔の広さ（プラテンギャップ）を設定できます。プラテンギャップは、メニューから [自動]、[より広め]、[広め]、[標準]、[狭い] のいずれかを選択して設定します。通常は [自動] を選択してください（初期値：自動）。

⑧ 排紙補助

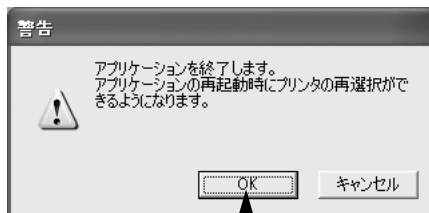
排紙装置を選択できます。エプソン純正紙を使用する場合は [自動] を選択します。エプソン純正紙以外の用紙の場合は、お使いの用紙に合わせて、[単票紙]、[ロール紙（カール強）]、[ロール紙] の中から選択します。

⑨ 初期設定値

[用紙調整] ダイアログの設定値をすべて初期設定値に戻します。

プリンタの再選択

プリンタを接続するインターフェイスを変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。[編集] メニューから [プリンタの再選択] を選択してください。以下のダイアログが表示されますので、[OK] ボタンをクリックし EPSON PS Server をいったん終了させます。



クリックします

次回 EPSON PS Server を起動すると、接続先を選択するダイアログが表示されます。同じプリンタを選択してください。

①プリンタを選択して



②クリックします



ポイント

- USB ポートまたは IEEE1394 ポートにプリンタを接続している場合、リストに機種名が表示されない場合は、プリンタの電源がオフになっている可能性があります。プリンタの電源と接続を確認してください。
- プリンタの再選択時に別のプリンタを選択すると、元のプリンタにインストールした市販のプリンタフォントは使用できません。

メッセージのクリア

メインウィンドウのメッセージをクリアしたい場合は、[編集] メニューから [メッセージのクリア] を選択してください。

メインウィンドウに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。必要に応じて [メッセージのクリア] を実行してください。

📖 本書 177 ページ「メインウィンドウ」

メインウィンドウ

EPSON PS Server が起動すると、印刷状況を表示するメインウィンドウが開きます。また、エラーが発生した場合などは、ウィンドウを広げてエラー状況を確認することができます。

印刷中のメインウィンドウ



エラー状況の表示



① ステータス

現在進行中のジョブの名称と印刷状況を表示します。

② キャンセル

印刷中のジョブを削除（印刷をキャンセル）するときをクリックします。

③ プログレスバー

印刷の進行状況の度合いを表示します。

④ メッセージを表示

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認するには、この [メッセージを表示] をクリックしてウィンドウを広げます。メッセージに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。メッセージの内容を消すには、[編集] メニューにある [メッセージをクリア] を選択します。

📖 本書 176 ページ「メッセージのクリア」

EPSON PS Manager について

EPSON PS Manager は EPSON PS Server のジョブを管理・コントロールすることができるユーティリティソフトウェアです。主な機能は以下のとおりです。

- 印刷済みジョブの再印刷、印刷設定の変更
- 印刷済みジョブのプレビュー（サムネイル）表示
- FTP を使用した EPSON PS Server へのファイル転送
- 印刷ジョブの印刷優先度の変更

EPSON PS Manager の使用方法については、PS Manager を起動して、PS Manager のヘルプを参照してください。



ポイント

- EPSON PS Manager は Mac OS X には対応していません。
- クライアントで、EPSON PS Manager を使用して Mac OS X のプリントサーバ機に接続することはできません。



付録

- 特定ソフトウェアについて.....180
- [2 カット] でのロール紙の切れ端の長さについて (PX-6000/6000S)185
- ブラックインク交換・インクチェンジ実行後のインク情報更新について.....186

特定ソフトウェアについて

本製品は、さまざまなアプリケーションソフトで使用できます。ここでは、いくつかの代表的なアプリケーションソフトを選んで、使用していただく上での注意点を簡単に説明します。

Acrobat 4.0/Acrobat Reader 4.0

Acrobat 4.0 や Acrobat Reader 4.0 から印刷を行うと、「-8993 エラー」が発生して印刷できない場合があります。その場合は、印刷実行時に [プリンタ] ダイアログの [バックグラウンド印刷] ダイアログを開き、[印刷方法] を [バックグラウンド] に設定してください。[フォアグラウンド (スプールしない)] が選択されていると印刷できません。

PageMaker 6.0J 以降

■ [プリント-ドキュメント] ダイアログの [形式] について

本製品には、対応プリンタの専用の PPD ファイルが添付されています (セットアップ時に所定のフォルダにインストールされています)。印刷実行時 [プリント] ダイアログの [形式] で、お使いになるプリンタの PPD ファイルを選択してください。

■ [プリンタ特性] について

プリンタの機能を設定するには、[プリント] ダイアログの [プリンタ特性] ボタンをクリックしてください。設定できる項目の詳細は、以下のページを参照してください。
📖 本書 26 ページ「[プリンタの固有機能] ダイアログ」

■ ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行う場合

PageMaker 6.5J 以降では、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行うことができます。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。
📖 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

QuarkXPress 4.0J 以降

■ バックグラウンド印刷について

[プリント] ダイアログの [バックグラウンド印刷] ダイアログを開いて、[印刷方法] を [バックグラウンド] に設定してください。[フォアグラウンド (スプールしない)] に設定すると、印刷できない場合があります。

■ プリンタフォントの検索について

プリンタフォントの検索機能を使用して、プリンタフォントを検索してください。[ファイル] メニューから [印刷] を選択し、印刷ダイアログの中にある [プリンタフォント] タブをクリックします。[検索開始] ボタンをクリックすると、プリンタフォントの有無を検索できます。

■ プリンタ記述ファイルについて


本製品には、対応プリンタの専用の PPD ファイルが添付されています (セットアップ時に所定のフォルダにインストールされています)。印刷実行時 [印刷] ダイアログの [設定] タブをクリックすると、プリンタ記述ファイルを選択する項目があります。お使いになるプリンタの PPD ファイルを選択してください。

■ ハーフトーン処理について

ハーフトーンの指定をすることはできません。アプリケーションソフト側で特定の線数と角度を指定しても、常に本製品の高精細ハーフトーンで印刷されます。


■ ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行う場合

QuarkXPress4.0J 以降では、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行うことができます。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

Adobe Illustrator 7.0J 以降



Adobe Illustrator 7.0J 以降では、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行うことができます。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

Adobe Photoshop

■ 画像の「モード」について

Photoshop で印刷する場合は、次の点に注意してください。

- CMYK モードの画像を印刷する場合
本製品の CMYK シミュレーション機能を使用して印刷できます。プリンタドライバの [プリンタの固有機能] ダイアログで、シミュレーションの対象となるオフセット印刷機のプロファイルを選択してください。詳しくは以下のページを参照してください。
 本書 39 ページ「カラーシミュレーション機能について」
- RGB モードの画像を印刷する場合
本製品の RGB シミュレーション機能を使用して印刷できます。プリンタドライバの [プリンタの固有機能] ダイアログで、シミュレーションの対象となる RGB プロファイルを選択してください。詳しくは以下のページを参照してください。
 本書 39 ページ「カラーシミュレーション機能について」
- Lab モードの画像を印刷する場合
Lab モードの画像を使用してモニタとのカラーマッチングを行う場合は、プリンタに標準添付のプリンタドライバを使用して印刷することをお勧めします。(オフセット印刷機色のシミュレーションを行う場合や RGB モニタ色のシミュレーションを行う場合は、Photoshop の [モード] メニューで [CMYK カラー] または [RGB カラー] を選択してカラーモードを変換して、上記「CMYK モードの画像を印刷する場合」や「RGB モードの画像を印刷する場合」の印刷を行ってください。)

■ ハーフトーン処理について

[用紙設定] の [ハーフトーンスクリーン] ダイアログでスクリーン線数の設定が行えますが、この設定はすべて無効となります。常に本製品の高精細ハーフトーンで印刷されます。

■ ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行う場合 (Adobe Photoshop 4.0J 以降)

Adobe Photoshop 4.0J 以降では、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定を行うことができます。この機能を使用する場合は、以下のページを参照してください。

📖 本書 182 ページ「ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意」

ソフトウェア上でカラーマネージメント機能を設定する場合の注意

以下のアプリケーションソフトは、ソフトウェア上でカラーマネージメント機能の設定が行えます。

- Adobe PageMaker 6.5J 以降
- Adobe Illustrator 7.0J 以降
- QuarkXPress 3.3 + HELIOS 社製 ColorSync2 XTension
- QuarkXPress 4.0J 以降
- Adobe Photoshop 4.0J 以降

これらのアプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を使用する場合は、本製品の [CMYK シミュレーション] と [RGB シミュレーション] を必ず [オフ] にしてから印刷を実行してください。ソフトウェアのカラーマネージメント機能と本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能を同時に使用すると、正しい色合いで印刷することができなくなります。

📖 本書 41 ページ「設定と印刷の手順」

各プリンタ用 ICC プロファイルについて

本製品には、お使いのプリンタで使用できるエプソン純正専用紙ごとの ICC プロファイルが添付されています。アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を使用する場合は、使用する用紙種類に対応する ICC プロファイルを選択してください。



ポイント

- ICC プロファイルは、本製品をインストールする際に、自動的に起動ディスク内の [ColorSync™ 特性] または [ColorSync プロファイル] フォルダ* 内にインストールされます。
* フォルダ名は Mac OS のバージョンによって異なります。
- アプリケーションソフトによっては、リストに表示されるプロファイル名が下記の ICC プロファイル名とは異なる場合があります。
- ソフトウェア上でのカラーマネージメント機能の設定方法、ICC プロファイルの選択方法などについての詳細は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本製品に含まれる一部の ICC プロファイルは、GretagMacbeth ProfileMaker で作成されています。

PM-4000PX 用の用紙種類と、その対応 ICC プロファイル名

下表の ICC プロファイルは、フォトブラックとグレーインクの組み合わせで印刷するためのプロファイルです。

用紙種類	ICC プロファイル名
普通紙	CPS PM-4000PX Generic
スーパーファイン専用紙 2	CPS PM-4000PX SF2
MC マット紙	CPS PM-4000PX MCMP
MC 画材用紙	CPS PM-4000PX MCWP
PM/MC 写真用紙 (半光沢)	CPS PM-4000PX MCRC
MC 光沢紙	CPS PM-4000PX MCGP
PX ブルーフ用紙 < 微光沢 >	CPS PM-4000PX PSM



ポイント

上記以外のブラック系インクの組み合わせ用 ICC プロファイルはありません。

PX-7000/9000 用の用紙種類と、その対応 ICC プロファイル名

下表の ICC プロファイル名の末尾に付く「PK」または「MK」は、対応するブラック系インクの組み合わせを示します。使用するインクの組み合わせに応じて、正しい ICC プロファイルを選択してください。

- PK：フォトブラック+グレー
- MK：マットブラック+グレーまたはマットブラック+マットブラック

用紙種類	PX-7000 用 ICC プロファイル	PX-9000 用 ICC プロファイル
MC 厚手マット紙ロール	CPS PX-7000 DMP PK CPS PX-7000 DMP MK	CPS PX-9000 DMP PK CPS PX-9000 DMP MK
MC 光沢紙ロール	CPS PX-7000 GPPW PK	CPS PX-9000 GPPW PK
PX ブルーフ用紙 < 微光沢 >	CPS PX-7000 EPSM PK	CPS PX-9000 EPSM PK
MC 写真用紙ロール < 半光沢 >	CPS PX-7000 PSPP PK	CPS PX-9000 PSPP PK
MC 写真用紙ロール < 光沢 >	CPS PX-7000 PGPP PK	CPS PX-9000 PGPP PK
PX/MC 写真用紙 (厚手 光沢)	CPS PX-7000 PGPP25 PK	CPS PX-9000 PGPP25 PK
MC フォトスタンダード紙ロール < 半光沢 >	CPS PX-7000 PSP PK	CPS PX-9000 PSP PK
MC フォトスタンダード紙ロール < 光沢 >	CPS PX-7000 PGP PK	CPS PX-9000 PGP PK
PX/MC 写真用紙 (厚手 絹目)	CPS PX-7000 PLPP PK	CPS PX-9000 PLPP PK
PX/MC 写真用紙 (厚手 微光沢)	CPS PX-7000 PMPP25 PK	CPS PX-9000 PMPP25 PK
MC 画材用紙ロール	CPS PX-7000 WPRW PK CPS PX-7000 WPRW MK	CPS PX-9000 WPRW PK CPS PX-9000 WPRW MK
光沢フィルムロール	CPS PX-7000 GF PK	CPS PX-9000 GF PK
MC マット合成紙 2 ロール	CPS PX-7000 ESP PK CPS PX-7000 ESP MK	CPS PX-9000 ESP PK CPS PX-9000 ESP MK
MC マット合成紙 2 ロール < のり付 >	CPS PX-7000 EASP PK CPS PX-7000 EASP MK	CPS PX-9000 EASP PK CPS PX-9000 EASP MK
MC マット塩ビロール < のり付き >	CPS PX-7000 CV PK CPS PX-7000 CV MK	CPS PX-9000 CV PK CPS PX-9000 CV MK
MC/PM クロスロール < 防災 >	CPS PX-7000 HPB PK CPS PX-7000 HPB MK	CPS PX-9000 HPB PK CPS PX-9000 HPB MK
普通紙ロール	CPS PX-7000 Generic CPS PX-7000 Generic MK	CPS PX-9000 Generic CPS PX-9000 Generic MK
MC バックライトフィルムロール	CPS PX-7000 MCBF	CPS PX-9000 MCBF

用紙種類	PX-7000 用 ICC プロファイル	PX-9000 用 ICC プロファイル
PX/MC プレミアムマット紙	CPS PX-7000 EMP PK CPS PX-7000 EMP MK	CPS PX-9000 EMP PK CPS PX-9000 EMP MK
マットボード紙	CPS PX-7000 MB PK CPS PX-7000 MB MK	CPS PX-9000 MB PK CPS PX-9000 MB MK

PX-6000/6000S 用の用紙種類と、その対応 ICC プロファイル名

用紙種類	ICC プロファイル名
普通紙	CPS PX-6000 Generic
フォトマット紙_顔料専用	CPS PX-6000 AMP
スーパーファイン紙	CPS PX-6000 PQP
PX マット紙 (薄手)	CPS PX-6000 SMP
PX/MC 光沢紙	CPS PX-6000 GPBW
写真用紙 [光沢]	CPS PX-6000 PGPP
写真用紙 [絹目調]	CPS PX-6000 PSPP
画材用紙_顔料専用	CPS PX-6000 WPRW
PX_MC コットン画材用紙	CPS PX-6000 TFA
MC マット合成紙 2	CPS PX-6000 ESP
PX_MC プレミアムマット紙	CPS PX-6000 EMP
PX_MC 写真用紙 [厚手 光沢]	CPS PX-6000 PGPP25
PX_MC 写真用紙 [厚手 半光沢]	CPS PX-6000 PSPP25
PX_MC 写真用紙 [厚手 微光沢]	CPS PX-6000 PMPP25
PX_MC 写真用紙 [厚手 絹目]	CPS PX-6000 PLPP
PX ブルーフ用紙 [微光沢]	CPS PX-6000 PPS

[2 カット] でのロール紙の切れ端の長さについて (PX-6000/6000S)

PX-6000/6000S で、[プリンタの固有機能] ダイアログと [プリンタ初期設定] ダイアログの [自動用紙切断] で [2 カット] を選択した場合、ロール紙印刷時に 2 箇所切断するため、切れ端が発生します。

切れ端の長さは、下表のとおり用紙種類によって異なります。

用紙種類	切れ端の長さ
PX マット紙<薄手>ロール	80mm
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 光沢>	80mm
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 半光沢>	80mm
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 絹目>	80mm
PX/MC 写真用紙ロール<厚手 微光沢>	80mm
PX/MC プレミアムマット紙ロール	80mm
PX/MC コットン画材用紙ロール	80mm
MC マット合成紙 2 ロール	100mm
PX ブルーフ用紙ロール<微光沢>	80mm
エプソン純正専用紙以外	130mm

ブラックインク交換・インクチェンジ実行後のインク情報更新について

ブラックインクの交換 (PM-4000PX、PX-7000/9000) やインクチェンジ (PX-6000/6000S、インク 8 色モードと 4 色モードの切り替え) をした場合、インク情報を更新する必要があります。更新しないと、正常に印刷されません。

また、PX-6000S でスターターセットのインクカートリッジをセットして使用する場合も、インク情報の更新を行ってください。

インク情報の更新方法

Mac OS 8/9 と Mac OS X

EPSON PS Server を終了し、もう一度起動します。

起動時に、プリンタにセットされているインクカートリッジの情報を自動的に取得します。取得した情報は、EPSON PS Server の [インク情報] ダイアログに表示されます。

☞ Mac OS 8/9：本書 55 ページ「⑬ インク情報アイコン」

☞ Mac OS X：本書 119 ページ「⑬ インク情報アイコン」



ポイント

- EPSON PS Server からインク情報を手動で変更することはできません。
- Mac OS X の場合、インク情報アイコンをクリックすると、「プリンタに挿入されているカートリッジが設定と異なります。設定を変更しますか。」とメッセージが表示されます。このメッセージに対して [OK] をクリックすると、インク情報が更新されます。

Windows

Windows では、EPSON PS Server と PS ドライバでインク情報を更新する必要があります。

EPSON PS Server

EPSON PS Server の [インク情報] ダイアログで、プリンタにセットされているインクカートリッジに合わせて [カートリッジオプション] を選択します。詳しくは以下のページを参照してください。

☞ 本書 170 ページ「⑬ インク情報アイコン」



ポイント

プリンタのインクカートリッジと、[カートリッジオプション] の設定が異なっている場合、印刷時にエラーが発生します。プリンタにセットされているインクカートリッジを確認し、選択してください。

Adobe PS ドライバ

プリンタドライバでインク情報を更新する場合は、Adobe PS ドライバで行ってください。

PS ドライバの画面で、[デバイスの設定] タブをクリックし、[カートリッジオプション] でプリンタにセットされているインクカートリッジを以下のとおりに選択します。

プリンタ	インクの組み合わせ	カートリッジオプション
PM-4000PX PX-7000/9000	フォトブラック、グレー	フォトブラック+グレー
	マットブラック、グレー	フォトブラック+グレー
	マットブラック 2本 (PX-7000/9000 のみ)	マットブラック×2
PX-6000/6000S	8色モード	フォトインクセット
	4色モード	高速4色インクセット



ポイント

EPSON PS Server の [インク情報] ダイアログで [カートリッジオプション] を設定しても、PS ドライバの [カートリッジオプション] を設定しなければ、アプリケーションからの印刷実行時にエラーが発生します。

インク情報更新時の注意

EPSON PS Server で印刷処理やサーバの設定値の変更などを行ったプリンタで、インクチェンジをした場合、以下の点に注意してください。

- EPSON PS Manager からプリントサーバ機に接続しているとき、プリントサーバ機の EPSON PS Server でインク情報を更新した場合は、EPSON PS Manager を終了し、もう一度起動して接続しなおしてください。接続しなおさないと、印刷設定が正しく更新されません。
- スプールされているジョブはすべて削除されます。
- [用紙調整] ダイアログの各設定項目の設定値はすべて初期設定値に戻ります。

索引

A

Adobe RGB..... 39, 101, 154
Apple RGB 39, 101, 154

C

CIE RGB 39, 101, 154
CMYK 56, 119, 171
CMYK シミュレーション
53, 86, 91, 96, 117, 138, 144, 149, 168
CMYK シミュレーション機能
..... 39, 101, 154, 182
ColorMatch RGB 39, 101, 154

D

DIC 39, 101, 154

E

Euro 39, 101, 154

I

ICC プロファイル 182

J

JMPA 39, 101, 154

M

Mac OS 8/9 での使用方法 1
Mac OS X での使用方法 65

N

NTSC 39, 101, 154

P

PAL/SECAM 39, 101, 154
[PostScript オプション] ダイアログ ... 15
[PostScript 設定] ダイアログ 24
PostScript レベル 24
PPD ファイル 4

R

RGB 56, 120, 171
RGB シミュレーション
53, 86, 91, 96, 117, 138, 144, 149, 168
RGB シミュレーション機能 39, 101, 154

S

SMPTE 39, 101, 154
sRGB 39, 101, 154
SWOP 39, 101, 154

T

TOYO 39, 101, 154

W

Wide RGB 39, 101, 154
Windows での使用方法 127

い

[一般設定] ダイアログ 18, 81
色調整 56, 120, 171
インク
..... 27, 29, 32, 54, 86, 91, 95, 117, 138,
143, 148, 169
インク残量アイコン 55
インク情報アイコン 119, 170
インク濃度 59, 122, 174
印刷時間 19
印刷状況を表示 62, 125, 177
[印刷設定] ダイアログ 84, 87, 133
印刷の向き 133
印刷方法 19

う

ウィンドウを非表示 62, 125
ウィンドウを表示 62, 125
[ウォーターマーク] ダイアログ 13

え

エラー状況を確認 62
エラー状況を表示 125, 177
[エラー処理] ダイアログ 83
[エラー設定] ダイアログ 23

お

オートカット 139

か

解像度
..... 26, 29, 32, 85, 90, 94, 138, 143, 148
拡大縮小 77
[カスタムページ設定] ダイアログ 16, 78
カット調整 60, 123, 175
カラー 21
[カラー設定] ダイアログ 21, 82
[カラー品質] ダイアログ 86
カラーマネージメント機能 182
カラーマネージャ 171
カラーマネージャ設定 56, 119
環境設定 113

き

給紙装置 116

給紙方法	18, 53, 134, 168
切取り線描画	150
く	
クライアントパスワード設定	51, 165
グレースケールコントロール	53, 168
グレースケール制御	86, 91, 95, 117, 139, 144, 149
け	
形式	24
さ	
最小化時にタスクトレイにのみ表示 ..	165
最大ジョブ保存数	51, 165
し	
シートごとのページ	133
自動回転	
30, 32, 55, 90, 95, 118, 144, 149, 170	
自動用紙切断	27, 30, 33, 54, 85, 90, 95, 118, 145, 150, 169
出力先	17
[詳細オプション] ダイアログ	135
詳細設定	133, 134
初期設定	50, 165
す	
スーパーマイクロフィード	30, 33, 92, 97, 145, 150
スプール後に印刷	50, 113, 165
せ	
製本	12
設定	77
[設定を保存] ボタン	17
そ	
双方向印刷	27, 30, 32, 54, 85, 90, 94, 118, 138, 143, 148, 169
た	
ダイアログ	134
対象プリンタ	77
ダイレクトキューを使用	50
ち	
丁合い	81
直接印刷	49, 112, 164
つ	
[追加オプション] ダイアログ	19, 82

と	
[トーンカーブ] ダイアログ	57, 121, 172
ドラッグ&ドロップ印刷	38, 99, 153
トレイの切り替え	83
ね	
ネットワーク名	50, 114
は	
倍率	12
[バックグラウンド印刷] ダイアログ ...	19
ひ	
ビジュアル効果	15
表紙	20
[表紙] ダイアログ	20
表紙の給紙方法	20
ふ	
ファイルとして保存	36, 83, 151
フォーマット	24, 83
フォントデータ	25
部数	18, 81
部単位で印刷	18
フチなし印刷	27, 30, 33, 43, 87, 92, 97, 105, 139, 145, 150, 158
フチなし印刷 (Macintosh)	46, 108, 161
プリセット	80
プリンタ	12, 17, 80
プリンタ初期設定	52, 116, 167
プリンタのカラー調整	34
[プリンタの固有機能] ダイアログ	26
プリンタの再選択	61, 124, 176
プリンタプロファイル	21
プリントオプション	15
[プリント] ダイアログ	17, 80
プレビューウィンドウ	12, 133
プロファイル名 (CMYK)	56, 119, 171
プロファイル名 (RGB)	57, 120, 172
プロファイル名 (用紙)	57, 120, 172
分割印刷	22, 82
へ	
ページ	18, 81
ページ / 枚	22, 82
[ページ属性] ダイアログ	12, 77
ページの順序	133
ヘッドパス毎の乾燥時間	59, 123, 174
ほ	
方向	12, 77

PostScript エラー	83
ま	
待ち時間	50, 114
Macintosh 起動時にバックグラウンド印刷を可能にする	113
め	
メインウィンドウ	62, 125, 177
メッセージのクリア	62, 125, 176
メモリ	113
よ	
用紙	12, 57, 77, 120, 172
用紙 / 品位	53, 116, 168
[用紙 / 品質] ダイアログ	134
用紙厚	60, 123, 175
用紙送り補正值	60, 123, 175
用紙吸着力	60, 123, 175
用紙サイズ	52, 116, 135, 140, 145, 167
用紙サイズ (カスタム)	16, 78
用紙種類	26, 28, 31, 85, 88, 93, 137, 141, 147
[用紙設定] ダイアログ	12, 77, 85
用紙設定メニュー	12
用紙調整	57, 120, 172
[用紙調整] ダイアログ	59, 122, 174
ら	
ラスタープールモード	50, 113, 165
り	
リセット	57, 120, 172
RIP メモリサイズ	165
両面に印刷	22
れ	
[レイアウト] ダイアログ	22, 82
レイアウトの方向	22
レイアウト方向	82
レンダリングインテント	54, 118, 139, 144, 149, 169
わ	
枠線	22, 82
枠線印刷	33, 55, 95, 118, 169
枠線描画	30, 90, 145
割付印刷	22

Appleの名称、ロゴ、漢字Talk、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、Macintosh、Power Macintosh、PowerBook、ColorSync、FireWire および TrueType は米国その他の国における米国アップルコンピュータ社の登録商標または商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker、PostScript、Adobe Type Manager、ATM、Font Porter、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）およびその子会社の各国での登録商標または商標です。

FreeHand は、マクロメディア株式会社の登録商標です。

PowerPC は米国 IBM コーポレーションの商標です。

Quark、QuarkXPress は Quark 社の登録商標です。

GretagMacbeth は GretagMacbeth Holding AG. Logo の登録商標です。ProfileMaker は LOGO GmbH の商標です。

本書に記載したその他の製品名は、その所有者の登録商標または商標です。

ご注意

- ①本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- ②本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- ③本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- ④運用した結果の影響については、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。